安江仙弘著

ユダヤ民族の世界支配?

東京古今書院發行



ユダヤ國建設途上にあるパレスタイン地圖（圖上黑色の部分は全世界ユダヤ人の共有財産としてシオン團が購入せし土地）

序

ユダヤ民族の世界に於ける勢力は、吾々の想像以上に偉大である。彼等は國家を持たない分散寄生民族であるが爲め、國家的に吾々の眼前に、直接其の活動や勢力が觸れて來ないから、全く吾々は彼等を路傍の人の如く考へて居るが、決してそんなものではない。

米國は其の勢力上から見て、半ユダヤであつたのが、最近汎ユダヤ國になつたといはれて居る。ソヴェート聯邦は、スターリンがレーニンに代つてから漸く其の主權をユダヤ人の手から取り戾した。獨逸は今や、ユダヤの羈絆から脫れやうとして、ナチス團があせつて居る。英佛は、ユダヤ人と協調を保ちつゝ今兎に角進んで居る。國際聯盟は、完全にユダヤ人に占據されて居る。

日本人はそれと爭つて十三對一になつた。

世界の經濟界は誰がリードして居るのか、我々は誰の手を通じて綿花を買

つて、誰の手で生糸や人絹を賣捌いて居るのか、日露戰爭當時日本の外債を一手に引き受けてくれたのは誰か、續いて東清鐵道を一手に買收せんと策動したのは誰か、現時歐米の言論通信機關の支配者は何國人か、又一方左傾思想の發案者及び此が實行者の主なる人々は、何民族に屬して居るのか、以上は皆ユダヤ人ではないか。更に又、我が國のみならず、世界的に供給さるゝ活動寫眞のフイルム、トーキーは、ユダヤ・トラストのものではないか、又近頭流行するジヤズの家元は何處か、米國ユダヤではないか。

ユダヤ民族は、軍艦や飛行機を直接持つて居ないが、確かに世界の隱然たる一大勢力である。從つて我々に對する影響も、現在並に將來に互つて甚大である。

今世界を向ふに廻して、崇高なる使命の下に、活動しつゝある非常時日本人に取つて、ユダヤ民族に關する正當なる認識を持つことは、無用であらうか？

私は國民がユダヤ民族に就いて觀察し、更に我が國内を顧みることが現下の

急務であると思ふのである。此の意味で本書が、多少讀者の參考とならば幸甚である。

本書は、私が各所で講演した謂はゞ原稿集である。過般私が某所で講演した際、我が教育界に活動せらるゝ橋本福松氏が、痛く感動せられ、本問題は、我が教育界に是非普及するの必要ありとし、其の場で私に原稿を懇望された、私は氏の熱誠に感じ、原稿に更に筆を加へ、氏の需めに應じた。それが氏の手によつて、印刷裝禎されて、一本を爲したものが、卽ち本書である。

私が原稿を加除訂正するに當つて、あれも入れたい、之も加へたいと、色々私の頭に湧出したが、結局私の時間が之を許さない、加之本書の目的が難しいユダヤ問題を論ずるのではなく、ユダヤ民族の實相を、一般に理解して戴くのが目的であるからして、此の位にして思ひ止めた、從つて讀者が一讀されて、多少物足りなく感ぜらるゝ所もあらうと思ふが、此の點を豫め御諒承願度い。

尙ほ本書完成に當り、同憂の士風間又四郞先生が、原稿整理に多大の援助を與へられたることを深謝す。

昭和八年秋

著者識

目次

目次

目次

ユダヤ民族の世界支配？

一、ユダヤ民族は我々日本人と沒交渉か

ユダヤ民族は我々日本人と同様に、世界最高の文明を有する民族でありまして、其の人口は千五百四十五萬九千、改宗及び混血ユダヤ人を合しますと、凡そ五六千萬、之が世界到る處に分散居住し、而も各國に於て牢乎として拔くべからざる勢力を掌握して居りますが、今やシオニズムに依つて皆明瞭なる民族意識に醒め、各々民族的强烈なる自覺のもとに、其の理想に生き其の使命に向つて邁進して居るのであります。此のユダヤ人と、今方に世界の巨人として東洋の一角より、全世界に臨みつゝあります處の我々更生の日本人とは、果して沒交渉なもので

ありましやうか。

亞米利加の資本の八五%、獨逸の全資産の七五%を占め、佛蘭西に於て佛蘭西人の財産の二倍強を所有し、又全世界の商業利得の二分の一を日々其のポケットに收め、今や全世界の資本の約三分の二を掌握してゐると言はれるユダヤ民族は、我々日本人の經濟生活並に之に關聯して無關係であり得ましやうか。

黃金力に於て世界をリードし、從つて有らゆる方面に於て、世界第一を以て誇つてゐた亞米利加が、最近一朝にして經濟的パニックにより名實共に顚落せんとしつゝある其の原因は、巨額の金貨が一部に偏在したのに原因して居ることは周知の事實でありますが、其の金の偏在は、謂はゞ總ての資本がユダヤ人の手に掌握され、其の金をユダヤ人が自分の金庫に死藏密閉したのがもとであります、然らば我が對米關係に於て、此の偉大なる黃金力を有する米國ユダヤ人と日本人とは、密接な關係なしにすみましやうか。

共產社會主義の所謂赤化思想なるものは、今日まで全世界に如何なる影響を齎したでありましやうか。英吉利も伊太利も獨逸も、自由なる亞米利加及び佛蘭西さへも共產主義の浸潤に惱まされ、東洋に於ては支那の赤化益甚しく、特に此の思想に對して最も堅固なるべき筈の我が日本人さへ、其の各階級より共產主義者續出しつゝある有樣でありますが、其の主義の本尊たるマルクス、ラッサール並に之が實狀に着手しましたるトロツキー、ジッノウィエフ、ヨッフェ、リーブクネヒト、ベラ・クン等、此の主義の唱導者並に實行者中主なるものは、何れもユダヤ人であることを、世人は果して御存じでありましやうか。之等の思想を產み、之等の主義の宣傳實行に努めました所のユダヤ民族に就て、我々日本人は果して何等研究する必要がないでありましやうか。抑ゝ斯の如き思想が、何に故にユダヤ民族の間に生じ、又ユダヤ人は如何なる目的で、此の主義の實行に努めるのでありましやうか、此等の主義の分析檢討批判よりも、先づ此の根本問題に就て、日本人はハッキリトした認識を持つことが、必要ではないでありましやうか。

獨逸に於ては、ヒットラーがナチス團をして、或は經濟界より或は學藝界よりユダヤ人を追放し、到る處大彈壓を加へ、甚しきはユダヤ人の手に成りましたる所の獨逸に取つて有害と認むる著述さへ、遠慮なく焚書を爲しつゝありますが、獨逸のナチスは何が故に斯くもユダヤ人壓迫を爲し、彼等を獨逸の各方面から逐放せねばならぬのでありましやうか。

歐米の有らゆる言論機關にして、ユダヤ人が直接經營するか、或は又直接經營せざるまでも、ユダヤ資本の這入らざる言論機關なしと申して居りますが、獨り我が日本の言論界のみは、全くユダヤ資本に拘束されずに居りました。然るに最近は日本の言論界にさへユダヤ資本の侵入を耳にする次第であります。

又日々數百萬の觀客に、偉大なる衝動を與へ、大なる感化を及ぼして居ります所の一般活動寫眞並にトーキーは、全然ユダヤ人の世界的獨占事業でありまして、今や其の勢力は我が一流劇場の經營に迄及び、日本人は毎日彼等に莫大の金を支拂ひつゝ、青年男女はスクリーンの變

轉に伴ひ、其の形容より心情に至る迄、其の跡を追ふて居りますが、我が一般の人々は此のことを認識して居らるゝでありましやうか。

此等言論宣傳力の侵入に對し、吾々日本人はユダヤ人に感謝すべきでありましやうか、それとも無關心に看過すべきでありましやうか。

世界に六億八千餘萬の教徒を有するキリスト教の本源たる舊約聖書は、ユダヤ人に依つて書かれ、又救世主キリストはユダヤ人の中から生れたのであります、此のユダヤ民族は經濟力其の他に於て、隱然支配的勢力を振つて居るのでありますが、此の古き謎の民族に就て知ることは、吾々日本人に無意味なことでありましやうか。

世界の革命、卽ち佛蘭西大革命、露西亞革命、獨逸革命、洪甸利革命、西班牙革命より青年土耳古黨の革命さへ、殆んど革命といふ革命に大なる役割を演じたものはユダヤ人でありますが、此のユダヤ人なるものは、現代の吾々日本人と果して無關係でありましやうか。

ジュネーブに於ける日支交渉は、日本を如何なる立場に導いたかと云ふことは、敢て申すまでもないことでありますが、國際聯盟に於て活動せる有名なる人々を、民族的に觀察致しましたならば、夫れはドラモンド事務總長以下殆んどユダヤ人でありまして、日支交渉は全く日本人對ユダヤ人の對抗であつたと見ることが出來るのでありますが、尙且つ之等の人々を有する處のユダヤ民族は、果して吾々日本人と沒交渉と申すことが出來ましやうか。

將來滿洲國に外國の資本が侵入するものとすれば、それは外面に於て、英吉利資本であり亞米利加資本であるかも知れませんが、其の實質はユグヤ資本であるべきであると當然觀察されるのであります、事實に於て彼等の投資計畫が既に完成されてゐるのでありますが、此のユダヤ人の活動を、果して我々日本人は無關心で濟みましやうか。

シオニズムとはユダヤ國復興の意味でありますが、此のシオニズムの思想が、全世界ユダヤ

人に浸潤しつゝある今日、此の地上に新たなる一國が生れ出でんとしてゐる事實は、世界に於ける我々日本人として、交渉のないことでありましやうか。

ユダヤ人に對する觀察に就いては、我が日本に於ては、各種各樣の觀察をして居りますが、我々日本人が世界に臨む上に於ては、之を正當に觀察して行く事は極めて必要なことであると思ひます、卽ち圓いものは圓い樣に、四角のものは四角の樣に、正確な觀察と認識とをユダヤ民族の上に持つことが、大國民として緊要なことであります。

此の意味に於て私は、私のユダヤ民族に關する研究を、善惡共に憎愛の念を放れて御紹介しやうと思ひます。從つて之に關する觀察並に對策は讀者に一任致します。素より私は私としてのユダヤ民族に對する意見を持つてゐるのでありますが、今それに就て述べることは本書の本旨でもなく目的でもありません。要は讀者がユダヤ民族に對する關心を喚び起し且つ之を正當に理解し、而して更に我が國内を省みて、我が大和民族の現況と使命とに想到せらるれば足りるのであります。

二、平和戰とユダヤ民族

列强の利害關係が益錯綜し、國際關係が愈〻複雜となり行く今日に於きまして、一國が戰爭に訴へて、事を決することは容易なことではありません。火蓋を切つたが最後、一か八かそれこそ興亡を賭しての戰爭となり、ことに依れば其の戰爭は、直に世界戰爭を惹き起すに至るのでありまして、昔の樣に、戰爭が一國對一國では終末はつきません。從つて戰爭惹起者の責任は、更に重大となつたのであります、即ち滿洲事變や、メキシコの內亂等は別として、苟も世界の列强同志が、必要上からも、自己の野望からも、國家間の紛爭を戰爭行爲に訴へることは容易でなくなりました。

併し大戰爭が輕易に出來なくなつたから、各國の野望は消滅し、利害關係は均等を得て、戰爭原因が減少したかといふに、決して左樣ではなく、戰爭原因が益〻根を張りつゝ、人類の眞

の世界平和に對する理想には、愈〻遠ざかりつゝある感があります。玆に於きまして列强は、銃砲戰に代ふるに、外交戰、經濟戰、宣傳戰及び思想戰に依つて、或は協調し或は征服し、或は侵略を爲すやうになつたのであります。卽ち此の大砲や軍艦を用ゐないところの、眼に見えない戰爭を稱して、私は平和戰と名づけます。平和戰には背後に、國家の實力が、大なる役割を演じて居ることは申すまでもありません。

彼の平和戰たる華府會議及び倫敦會議に於て、米英は如何に我が海軍に戰勝を博し、我が帝國は死傷こそなけれ、幾多の軍艦を擊沈して、如何に屈辱的條約を締結したことでありましやう。又日支交涉に關しまして、國際聯盟の外交並に宣傳戰に於て、如何なる苦惱を吾々は體驗したでありましやうか。又現に帝國は、對英對米對支の經濟戰に於て、如何に血の出るやうな苦鬪を續けて居ることでしやう。又ソヴェート聯邦よりする思想戰には、獨り勞働者のみならず、我が社會の各層を擧げて、如何に侵略され、國民國家が如何に惱まされて居ることでありましやうか。

從つて國防なるものも、今日に於きましては、非常に廣義のものとなりまして、此の平和手

段の侵略に對する國防が緊要になりました。平時には此の平和戰爭が、或は各種同時に重複錯綜して行はれますのは勿論、戰時になりますと、更に濃密繁劇に行はれるのでありまして、此の平和戰に準備なき國家は、平時は勿論實際の戰爭に當りましても、戰勝國たることは、絕對に至難なことと信ずるのであります。

私が今、斯樣な平和戰に就て、特に御話致すのも外ではありません、ユダヤ民族は、優秀なる文明と、特に强烈なる民族意識と鞏固なる團結とを有するに拘らず、國家を有せず又隨つて軍備を持たざる關係上、各〻國籍を思ひ々々の國に置き之を背景としつゝ、自己民族の生存と天帝より受けたる使命を果すべく、彼唯一の手段たる各種各樣の平和戰の準備を完成して、世界に臨みつゝあるものでありまして、世界中最も巧妙なる平和戰の大家は、實にユダヤ民族であるからであります。

事實に於きまして、世界大戰の結果、各國は勝者も敗者も非常な傷手を蒙り、今猶ほ苦しんで居りますが、其の中で獨りユダヤ民族のみは、世界の富の大半を握り、故國パーレスタインに建國の保障を得て益〻繁榮し、或は仇敵露西亞大帝國を倒して、其の支配權を掌握し、或は

獨逸に、將米國に、牢固たる勢力を打ち立て、之に事實上君臨したのでありまして、今日獨逸のナチス團のユダヤ人排斥、一九二四年ソヴェート聯邦に於ける、スタリンのユダヤ幹部の排擊など、皆その反動に外なりません。抑〻世界大戰を惹き起したのが、ユダヤ民族の計畫的陰謀であつたとさへ見做されて居る程、彼等は平和戰に巧妙なのであります。然るに我々日本人は、ユダヤ人と反對に、平和戰にかけては最も拙劣でありまして、私は拙劣といふよりは寧ろ平和戰法を知らない正直な國民だといつた方が適當な位と思ひます。從つて吾々は平和戰に備へると同時に、ユダヤ民族の戰法を知り、尙ほ一旦事のあつた場合には、彼等が非常な破天荒の隱れたる力を現はすことを考へ、それに對し十分注意を拂ふことが必要であると思ふのであります。

何にも私が斯う申したからとて、スタリンやヒットラーの眞似をして、ユダヤ排斥を鼓吹するのではありません、それは吾々が米國の東洋策戰を論じ、露國の軍備を考察し、又は英國の商略を探究したからとて、反米排露抗英主義を宣傳するのでないと同樣でありまして、私は對手の備を知らずして、徒らに或は反米或は親露を爲さんとするものは、杖なき盲目の歩行の如

く、危険極まりなきのみならず、其の親反何づれの目的をも達することが出來ないものと思ふのであります。

況や國家なくして、民族的優越觀を有し、民族愛に燃え團結強固なるユダヤ民族、或る意味に於て世界の大勢力を有する見えざる國家の民族、平和戰の勝利者たるユダヤ民族、特に我々日本人と全く沒交涉の如くにして、將來愈〻交涉多かるべきユダヤ民族に就て、多少とも認識を深め置くことは、世界の日本人として、極めて緊要なことゝ思ひます。

三、ユダヤ人の特性

一、ユダヤ人の家庭と子女教育

支那人には支那人臭い處があり、ユダヤ人にはユダヤ人臭い處がありますが、之れは卽ち其の民族の謂はゞ特性の發揮に外なりません。

そこで我々はユダヤ人を理解する爲めに、ユダヤ人臭い處をハッキリと摑んで、其の特性を認識して置くことは、彼等に依つて生ずる種々な問題を、正當に理解する上に必要なる大切な條件であると存じます。

ユダヤ人は一般歐米人と違ひまして、非常に强い家族的の意識を持つて居ります。この家族的なる點に於ては、殆んど我々日本人の家庭と大差ありません。

家庭内に在りましては、男尊女卑でありまして、家の主人が家族の尊崇の中心となり、主婦

は主人の言附けに依つて、恰も我々日本人のやうに孜々默々として働いて居ります。又子供の教育には全力を注ぎ、子供は又よく親の命に從ひ、成長してからもよく孝養を勵みます。

槪して歐米人は、一人前になりますと老人を蔑しろにし、甚しきは邪魔者扱ひさへするのを見受けますが、ユダヤ人は我々同樣に老人を非常に尊び且つ大切に取扱ひます。

子弟の教育に就ては、我が國に於ては家庭と言はず社會といはず、一般に歐米化して參りますが、ユダヤ人は其身歐米に在りながら、尙ほ堅固なるユダヤ教的家庭精神を以て進んで居ります。今私は之に就ての實見を御紹介致しませう。

私が嘗て墺太利のウィーンに於て、或るユダヤ人の家庭を訪問した時でした。恰度主人が不在でありましたので、主婦の饗應する色々の果物のジャムを匙で嘗めながら紅茶を啜り、よもやまの話を致して居りましたが、其時に私は突然次の樣な質問を發しました。

「この墺太利と云ふ國は以前帝政國家でありましたが、今では社會主義共和國に變つたので、反ユダヤ主義も消滅し、ユダヤ人壓迫もなく、貴女方は愉快に暮らすことが出來ませう」

と申しますと、其婦人は手を振つて

「どうして〱、そんなことがあるものですか。此のウィーンの街に於てさへ、我々ユダヤ人に對する排斥は相變らず行はれ、我々に對する侮蔑は依然として耳目に映じて居ります」

と、私の言葉を打消しますので私は

「それは變ですね、歐洲の帝政國家に於てこそ、そんな事もあつたでありませうが、こんな共和國になつて尙ほ反ユダヤ主義が消滅しないといふことは、日本人としてはどうしても理解が出來ません」

と申しますと、婦人は之に答へて

「唯今ウィーンに於ける第一流の人物、第一流の學者、第一流の金持、第一流の辯護士、第一流の醫者、之等は殘らず我々ユダヤ人です。然し之れには原因が御座います。

一體ウィーンの一般子弟の有樣を御覽なさい。中學にでも行くやうになれば忽ち煙草を吹かし酒を飲み、大學生にでもなると夜は遲くまで女と一所にダンスに耽り、外に出る時は女の腕を抱へて歩くのを以て自分の誇りとして居る樣な有樣です。それで大學を卒業すると、もう一人前になつた氣でそれ以上勉强するものはありません。

然るに我々ユダヤ人の子弟は、大學を卒業するまで一杯の酒も飲みません。たゞ學業に向て一生懸命で勉强して居ります。從つて他の歐羅巴人達に比べて、成績のよいことは勿論であります。而かも大學を卒業してからも、ノラクラと遊んでゐる者は一人もありません、學生當時と同樣に皆眞面目で、一生懸命勉强を續けます。從つて我々ユダヤ人が現在ウィーンに於て、總べての方面に第一流の位置を占めてゐることは當然ではありませんか。

然るに彼等は自分の怠けて居ることを棚に上げて、我々の地位を怨み、ユダヤ人はクリストを殺した人間の子孫であるから排斥しろと、所謂反ユダヤ主義を叫ぶのは果して正當でありませうか。我々は共和國に在つても彼等から受ける侮辱は同じことで、非常に不愉快に過ごして居ります」

と物語りました。讀者は此の一婦人の言葉に依つて、私と同樣ユダヤ人に關する幾多の事實を發見されたでありませう。

二、非ユダヤ人は墮落、ユダヤ子女は純潔

自働車王のヘンリー・フォードが「ユダヤ人に關し米國人に對する警告」として次の樣なことを述べて居ります。

「今日非ユダヤ人の青年を浮薄放縱に導いて居る處の種々なる勢力の根元は、悉くユダヤ人關係のものであると云つても過言ではない。若き人々よ、今日諸君に多大の弊害を與へて居る處のかのスポーツ服なるものを考案したものは何人であらうか。このスタイルは、ユダヤ人の洋服商に依つて考案されたものである。彼等ユダヤ商人は技術の前には規則もなく、又道德上の觀念もない。

更に又幾多の觀衆を驅つて、慨嘆すべき道德上の危機に至らしめつゝある處の映畫フィルムの墮落に對しては、何人が責任を負ふべきであらうか。

又かの演舞場、騷々しき公衆飲食場、安價なる寶玉商及び强き衝動と放縱の中心たる快樂の巷、歐米に於ける斯樣なる場所の經營者は果して何人であらうか。

更に諸君よ、今試みに責任觀念に乏しく平凡なる容貌の持主で、虛飾に憂身をやつしてゐる青年男女を捉へ來り、其の衣服裝飾品から其の思想希望に至るまで、全部に正札を附けるものとしたならば、その札には「ユダヤ人に依つて作られ、其の宣傳を受け、皆奪ひ盡さる」と記さねばならぬであらう。

現代の青年にして、映畫館に暇潰しをしてゐる者は、既にユダヤ人の宣傳に依る主義及理論を甘受して居るものであり、又上流の青年にして「性の自由」や「産兒制限」に耳を傾けるものも亦、ユダヤ人の主義及理論を體得しつゝあるものである。

この主義及理論に附きものゝ放縱性は非ユダヤ人の家庭、教會又は非ユダヤ人經營の職業から來るものではない、主としてユダヤに依つて考へられる處の理論、運動、職業から由來して居るのである。然し此樣な慨嘆すべき事柄は、恐らく將來に於ても跡を絕つことは困難であらう。そして又此の主なる犧牲はユダヤ人の青年でなくして、寧ろ非ユダヤ人の青年である。勿論ユダヤ青年中にも、極めて一部の者は、斯樣な社會的害毒を受けるものもあらうが、然しながら非ユダヤ人青年の蒙る大害に比する時は、實に微々たるものである。

ユダヤ人は斯の如く非ユダヤ人の神經を麻痺させるばかりでなく、其の麻痺の經過中から既に利益を收めつゝあるのである。而かも彼等は此の行爲の爲め、自身は勿論其の子女と雖も犠牲となることはない。之れが彼等の特長であつて、ユダヤ人青年は非ユダヤ人青年の大部分に比し、遙かに誇り高く、而も純潔に其の青年期を經過するのである」

現在日本に於ける青年男女は、以上のユダヤ人子弟に關する物語に就て、大に顧る必要がないでありませうか。兎に角何れも大に味ふべき言葉だと思ひます。

三、强烈なる同族愛

次に彼等ユダヤ人は强烈なる同族愛に燃えて居ります。今ユダヤ人が世界中に、散り〳〵バラバラに、分散居住して居るにも拘らず、彼等は其の强烈な同族愛卽ち民族愛に依つて堅く結びつけられて居るのであります。

其の證據には「ユダヤ人に乞食なし」と謂はれるほど相互扶助がよく行屆き、獨逸に於てナ

チス團がユダヤ人を壓迫すれば、滿洲のユダヤ人は起つて直に之に應じ、獨逸製品の不買同盟を宣言し、ジエルサレムに於てアラビア人との民族爭鬪を惹起すれば、英米のユダヤ人は直に各〻其の政府を動かして、軍艦軍隊を派遣して貰ひ、同族の庇護をなさしめる等、此の世界に於て、其の事件がユダヤ人に關する限り、大小を問はず全世界の大問題として其の掌中にある言論機關に依つて、全世界に喧傳せられるのであります。

日露戰役の際、英米のユダヤ財團の巨頭は、日本に對し財政的に援助を與へたのでありますが、之れはユダヤ人は日本人を露西亞侵略主義の魔手より救はんとして動いたのではありません。結果はユダヤ人に依つて財的に助けられ、露西亞に戰勝を博したのでありますから、日本人としてはユダヤ人の動機如何に拘らず、其の援助に對し感謝しなければならぬ處でありますが、其の援助の根本精神は、ユダヤ民族の最大多數を居住せしめて居る處の、露西亞帝國に於ける歴史的ユダヤ人排斥に對し、ユダヤ人等は日本の兵力を藉りて、露西亞帝國に復讐し、露西亞に在住する同族を、露西亞帝國主義より解放せんとしたのでありまして、ユダヤ人ヤコブ・シッフ等の日本に對する財的援助は、謂はゞユダヤ人の同族愛に其の根源を發して居るのであります。

四、ユダヤ人は宗教的民族

ユダヤ人は宗教的民族であります。ユダヤ民族は宗教的に起り、宗教に依つて國家を喪ひ、宗教に依つて民族が存續して居ります。此のことは其の歴史を一瞥すればすぐ解るのでありますが、ユダヤ人がユダヤ敎を棄てた時、卽ちユダヤ族籍より除去せられるといふ特殊な民族であります。

從つてユダヤ人は武の精神に缺乏し、昔から武人として有名な人は殆んど稀であります。ソヴェート露西亞に於て、革命以來ユダヤ人は各方面に非常な勢力を獲得しましたが、軍隊だけには良い地位を占めることが出來ませんでした。ユダヤ人は軍人になつて戰死したり、飛行機に乘つて犧牲者となるやうな、馬鹿な眞似は出來ないと云つて居るさうであります。こんな氣持の民族でありますから、モーゼやキリストのやうな大宗敎家は出ても、一人のナポレオンも秀吉も現はれません、之がまた亡國の民たる所以でありましやう。

五、靭强なる忍耐性

ユダヤ人は非常なる忍耐力を有し、よく至難なる境遇に耐へる力を持つて居ります。これは彼等の歴史並に環境が自ら斯くあらしめたのでありませう。又一方から見れば此の艱難に耐へる力を持つて居ればこそ、今日までの境遇に耐へ得たのであると見ることも出來ます。兎に角ユダヤ人は、個人としては忍耐力に富み、民族としては實に根强い民族であります。

六、ユダヤ人は開拓の天才

次にユダヤ人は個人たると團體たるとを問はず、開拓の天才であります。卽ち現在の亞米利加はユダヤ人に依つて發見され、ユダヤ人に依つて開拓されたと云つても過言ではありますまい。現在の亞米利加の文化は醇化されたるユダヤ文化であるとまで申されて居ります。

過去三十年來、英國に於ける印度總督は、レージング卿を初め一人殘らずユダヤ人であつたのであります。更に又、英國が土耳古軍を追ふて、パレスタインを占領した時、其の第一代の

總督は矢張りユダヤ人のサムエル卿でありました。

又、上海、香港等の土地を開發したのは何人でありませうか。之れは英國人ならぬユダヤ人であることは、それ等の土地の草分けの外國人として、又現在最大の富豪となつて居る香港のサー・チェルチェーター、上海のエヅラ、ハードン等を見れば解るのであります。

七、金錢と投機的營利事業

投機的營利事業殊に金錢に就ては狡猾で拔目がありません。ユダヤ人と言へば直に金の問題が連想される位でありまして、之れに就ては敢て說明をする必要もない位であります。

ユダヤ聖典「タルムード」に

「非ユダヤ人の黄金は我等の所要なり」

と教へ、又ユダヤ教「トーラ」には

「海の富は悉く爾の方に向ひ
　諸國民の金庫は爾の許に集められむ」

と述べてあり、又一八六〇年全世界イスラエル同盟創立に際し、其の創設立の一人にして當時の佛國大臣アドリフ・クレミエは

「若しも金が第一の力なれば出版物は第二の力である。」

と論じて居りますが、現在彼等の理想の如く、倫敦の取引所も伯林の取引所も、紐育の取引所も、將又哈爾賓に於ける取引所さへも既に其の鍵はユダヤ人の握る處であります。

又、日本の輸出貿易の王座を占める絹の相場は、我が財界をして一喜一憂せしめて居りますが、其の騰落は、亞米利加に於けるシルク・アッソシエーションのユダヤ人チァーリーに依つて思ひの儘に左右されて居るのであるといふことであります。兎に角ユダヤ人に遭つては、金に懸けては全世界如何なる民族も之れに敵ふものはありません。既に世界の金の三分の二が彼等に握られて居るといふことに依つて、此のことは如實に説明されて居るのであります。

八、最も不得手は農耕

ユダヤ人は自ら耕作する事を嫌ひます。ユダヤ人に取りまして農業は最も不得手とする處で

あります。
其の第一の證據は、ユダヤ民族が各國に於て農村に居住するもの尠く、殆んど各國の首府、若くは之に次ぐ大都會に集中居住して居ることに依つて明かであります。
勿論パレスタインのユダヤ建國は「農は國家の基なり」との主張の下に、ユダヤ人に對して農耕開拓を奬勵して居りますし、又事實に於てミクウェーイスラエルには、早くからユダヤ農學校を建設し、農事の奬勵に努力して居ります。從つてユダヤ移民が自ら鋤鍬を手にして居ることを見ることが出來るのでありますが、然しながら之れは貧弱なる移住民の仕事でありまして、パレスタインとても農業に從事する處のユダヤ人が、耕作其のものにはアラビア人を使つてゐるものが尠くないのであります。之れが爲めに或る歐洲人は私に
「シオン團の農業本位は結局アラビア農夫を使用することである」
と惡口を申したことがありました。又現在米國に於て、ユダヤ人の農業に携はるものは非常に多いのでありますが、之も農耕者としてではなく、農産物取引者或は其の仲買人として、農事に關して居るのでありまして、目下亞米利加に於ける農村の窮乏は、是等の農業に携はるユダ

ヤ人の限りなき搾取の結果に外ならぬのであります。

今やアメリカの農村は、是等ユダヤ人に依つて、農産物は勿論其の種子より土地に至るまで彼等の手に收められ、一般農民はユダヤ人の巧妙なる金縛りに依つて、殆んど農奴の如き狀態にあるといふことは在米日本人の親しく私に報じて居る處であります。

又、嘗て波蘭に於て、現在の亞米利加同樣の現象が生じて、獨り農民が困窮したばかりでなく、其の農產物の需要者たる一般波蘭人が、ユダヤ人に依る農產物獨占並に之に伴ふ物價吊上げにほと〳〵閉口し、遂に波蘭の憂國者に依つてユダヤ人に對抗する購買組合を組織し、ユダヤ人の搾取壓迫より逃れたと云ふ歷史を持つて居ります。

斯樣なことで、兎に角ユダヤ人は、縱令農業に關係しても、自から農夫となることなく、他を使役してゆくのでありまして、彼等が農業に不得手であるといふよりは、寧ろ彼等に取つて鋤鍬を持つてコツ〳〵働いて居ることは、まだるこくつて堪へられないらしく、耕作は彼等の性格に適してゐないのでありませう。

九、權力の尊重

ユダヤ人は權力を尊重し、社會的地位の優越を誇りとすると申します。之れは、彼等が永い間外國に在つて、ユダヤ特殊部落（ゲットー）の生活を營み、永らく社會的に解放せられざる生活を營んだ爲めに、解放された後は、神の選民たる優越感と共に、社會的に優越者たらんとする焦慮の念が、斯くならしむるのではないかと思はれます。之れを惡く言へば一種の成上り根性を發揮するのではないかと思ひます。

十、ユダヤ人は東洋人

ユダヤ人の性格は、東洋的色彩を帶び、且つ非常に派手好みの民族であります。我々は一般にユダヤ人を西洋人として眺めてゐますが、西洋人はユダヤ人を東洋人として取扱つて居ります。然し之れが本當でありまして、彼等の故鄕は西洋でなく、東洋の一部小亞細亞から出發したのであります。

我々が西洋人の中にユダヤ人を見ても、よく其の特徴が、服裝や裝飾品に依つて一見區別されるほどであります。卽ちネクタイなども非常に濃厚な派手やかなものを結び、指輪なども相當のユダヤ人は、大抵ダイアの素晴らしいのを輝かして居りまして、中には指輪全體を大粒のダイヤで包んで居る極端な連中も居ります。

十一、ユダヤ人の能力と勢力

ユダヤ人は一般に知的能力が非常に秀でゝ居ります。從つて昔から有名なる宗敎家、學者、藝術家、思想家等無數に輩出して居ります。

ルロア・ボーリユー氏は

『ユダヤ民族がアリアン文明に對し、偉人を供給した數は、アリアン種族それ自身よりも遙かに高率である。卽ち英人、佛人又は獨人の一千人の中から發見する學者、技術家、其他卓越したる人物よりも、西歐ユダヤ人の一千人中から、是等の人物を發見することは、其の三倍乃至四倍である』と

ジョン・フォスチール・フレザー氏は

『ユダヤ人の平均腦力は統計に依ると、英人よりも四％、スコットランド人より二％だけ多いことを示し、但し農事に對してユダヤ人に何等見るべき處はない』

次ぎに嘗て大阪毎日新聞に報ぜられた處に依ると

『在英ユダヤ人は英吉利全人口の百分の五であるのに、英國に於ける知名のユダヤ人は、英國の知名の士中百分の六を占めて居る』

又、獨逸に於て獨逸人約六千萬人中、ユダヤ人は凡そ六十萬人の人口を有し、其の割合は百分の一に相當して居ります。然るに之れは數年前の統計ではありますが、最高學府の教授數が三千百四十人中ユダヤ人は九百三十七人を占めて居ります。人口比率から云へば獨逸人教授三千百四十人に對し猶太人教授三十一人位が相當でありますが、それが九百三十七人でありますから、獨逸人に比べて約三十倍の多數に上つて居る譯であります。然るに最近は獨逸のユダヤ教授百分の六十に達しましたから、其の比率は更に驚く可きものであります。

元來醫者はユダヤ人の得意とする處でありますが、ドイツの醫師は人口一千に對し獨逸人醫

師一名、ユダヤ人醫師八名の割合であります。若しユダヤ人と獨逸人とが同率とすれば、獨逸人醫師百名に對しユダヤ人醫師一名でよい譯でありますが、それが反對に獨逸人醫師一名、ユダヤ人醫師八名でありますから、其の人口の割合から申しますとユダヤ人醫師は獨逸人醫師の八百倍になつて居る譯であります。

尙ほ辯護士の數もユダヤ人の方が遙かに比率高く、獨逸の辯護士總計三千五百名中、二千五百人はユダヤ人でありますから、獨逸人の約七十一倍に達して居ります。更に大工業、大會社の取締役たるもの猶太人の方が十數倍、同じく監査役たるものが猶太人二十數倍に相當して居ります。

此の狀況から考へますと、獨逸人は獨逸人の獨逸であるやら、ユダヤ人の獨逸であるやら解らぬことになります。

十二、露西亞革命後のユダヤ支配力

帝政露西亞に於きまして、恰度今の波蘭にあるユダヤ人も、其の帝政下にありましたので、

露西亞總人口約一億五千萬人中、ユダヤ人が概略六百萬人ほど居つたのであります。此の帝政露西亞の革命に當つて、在露ユダヤ人は、露西亞人に比しまして、如何に大なる役割を演じ、又如何に大なる支配力を獲得したでありませうか。之れは次の表が明らかに物語る處であります。

露西亞支配するは何人か（千九百二十二年調）

主なる國家機關	代表的役員總數	役員中の猶太人
人民委員會	二二	一八
軍事委員會	四三	三五
内務省	六四	四五
外務省	一七	一二
大藏省	三〇	二六
司法省	一九	一八
文部省	五三	四六
新聞及雜誌記者	四二	四一
國民經濟會議	五五	四四
地方コムミサール	三三	二一
赤十字代表者	八	八
社會救護委員會	六	六

職業委員會	八	八
舊制度國家事業調査委員會	二七	五
都市復興委員	二二	二〇
第四回全露勞兵代表者會議	三四	三三
第五回全露勞兵代表者會議	六一	四二
SR社會國家勞働中央委員會	一二	一〇
計	五四五	四四七

備考　五百四十五名中露人は三十一名に過ぎず、而して露猶兩人種以外六十七名は波蘭、チェック、獨逸等の外人なり

以上の表に依つて、少くも革命後暫くの間、露西亞が何人に依つて支配されたか、といふことが明かでありまして、元來ユダヤ人は革命のオーソリチーとは申しながら、其の露西亞人に比して革命的活動能力の卓越して居る處が又窺はれると思ひます。

四、ユダヤの著名なる人物

次ぎに此のユダヤ人から、どんな人物が出てゐるか、極めて一部ではありますが有名な人々を列擧して見ませう。

宗教及思想界

モーゼ（舊約全書記述者、十戒を神より授けられた）

イエス・クリスト（耶蘇教の救世主）

スピノーザ（大哲學者）

ハイネ（大詩人）

カール・マルクス（説明の必要もありません）

ラッサール（之れも同様です）

モーゼス・メンデルスゾーン（晩年ドイツのソクラテスと謳はれた大哲學者）

ベルグソン（フランスに於ける大哲學者）

ポルト・ラウィン（イタリーに於ける大詩人、思想家として寧ろガブリエル・ダヌンチオの雅號を以て有名であります）

言論界

ロイテル男（世界的通信界の權威、ロイテル通信に依て聞こゆ）

ウォルフ（之れもロイテルと竝んでウォルフ通信として世界的に有名であります）

ハースト（米國ハースト系新聞の親玉）

エセフ・フリッツァー（ニューヨーク・ウォールド新聞創設者）

マキシミリアン・ハルデン（辛辣なる筆にカイゼルを苦しめた有名なる記者）

アドルフオックス（紐育タイムス社長）

藝術界

サラベルナール（世界一と謳はれたフランス女優）
ベラスコ（アメリカの有名なる劇作家）
フルダ（ドイツの劇作家）
ワグネル父子（ドイツの大音樂家）
メンデルスゾーン（大哲學家の孫、大作曲家）
ジンバリスト（ロシアの大提琴家）
ヨセフ・ソロモン（英國畫家）
マックス・リーベルマン（ドイツ畫家）

探檢家

ダウィッド（ニューヨーク高等法院判事、有名なる法學者）

コロンブス（アメリカ發見者）
ヴァムベリー（アジア大陸探検者）
エミンパシア（アフリカ探検者）
スタイン博士（支那、トルキスタン探検者）
オッペンハイム（中部メソポタミアに於てヒッタイト帝國の首府を發掘した人）
ナンセン博士（北極探検者）

法律界

トビアス・アスサー（和蘭國際法學者）
ヨセフ・ウンゲル（墺太利國際法學者）
ジェリング（獨逸國際法學者）
リョンカーン（佛國際法學者）
ルイス・マーシャル（米國辯護士、米國猶太人協會々長）

醫學界

エールリヒ（ドイツ醫學者、六〇六號發見者）

ナイッサー（ドイツ醫學者、癩菌及淋菌發見者）

ロンブロゾー（伊太利の法醫學泰斗）

フランケ（肺炎球菌研究者）

ワッセルマン（黴毒血液診斷ワッセルマン反應創始者）

數學界

ミンコスキー（數の原理に關する指導的大家）

シュワルツチルド（ポッツダム天文臺長、數理大家）

ハダマルト（ハダマルト法の創設者）

アインシュタイン（相對性原理發見者）

ハーバー（毒瓦斯發明者）

ヘルツ（ヘルツ光線發見者）

財界

ロスチャイルド（英及び佛の兩家、既に十九世紀に於て、歐洲の諸帝王はロスチャイルド家と相談なしには戰爭を開始することは出來なかつたと申します）

ヒルッシュ（獨逸財界巨頭）

ホフマン・シュタール（墺太利財界巨頭）

クーンロェプ・シッフ（日露戰役に際し日本の外債五億を一手に引受けた米國の富豪）

サー・チェルチェーター（香港第一の富豪）

ハードン（上海第一の富豪）

エヅラ（同上）

ソスキン（哈爾賓第一の富豪）

政界

米國

ストラウス（勞働商務卿）

モルゲントー（大使）

ゴンパース（勞働黨首領）

ボーラー（上院議員、排日巨頭）

英國

ビーコンスフィールド・ヂスレリー伯（ヴィクトリア女皇時代の大宰相）

レーヂング卿（印度總督、外相）

モンターギュ（藏相、印度事務大臣）

ヘンダーソン（内相）

スノーデン（藏相）
モンド（勞働大臣）
サムエル（パレスタイン總督、自由黨巨頭）
サイモン（現外相）

佛國

ミルラン（大統領）
パンルベー（首相）
クロック（藏相）
ドラモンド（國際聯盟事務總長）

獨逸

エーベルト（ドイツ共和國第一代大統領）

ラッサール（社會民主的大政治家）
リーブクネヒト（社會黨首領）
ラーテナウ（外相）
ゾルフ（前日本駐在大使）

露國

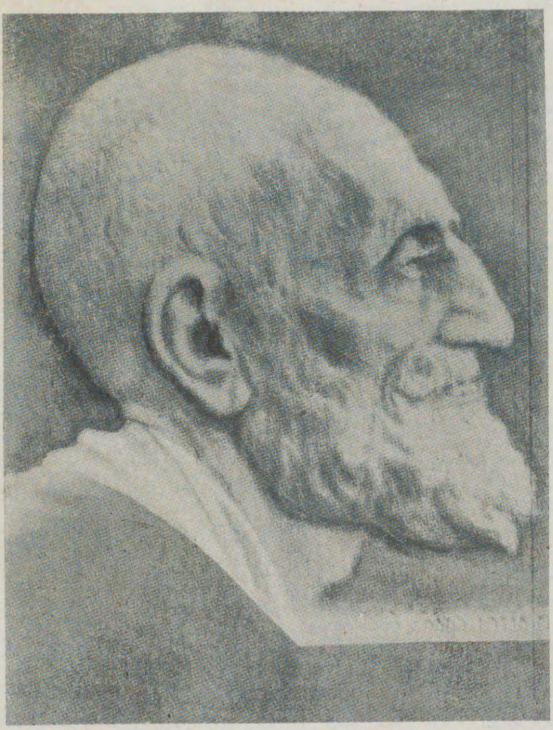
トロッキー、カーメネフ、ジノヴィエフ、ヨッフェ、クラスーシチョーコフ等

五、ユダヤ人の外貌的特徴

以上に依つてユダヤ人の特性は、概略會得されたと思ひますからして、之れ位にして置きまして、序でにユダヤ人の外貌的特徴に就て簡單に御紹介致しませう。

ユダヤ人は一般に露西亞人や亞米利加人ほど丈けが高くありません。日本人に比べて僅かに大きいと云ふ位の程度であります。一言にして云へばヅングリしてゐます。中年以上のものに非常に猫脊の者が多く、正面から見ては一寸解りませんが、側面から見ると此の特徴がよく現はれてゐます。

鼻は一般に鷲鼻でありまして、所謂ユダヤ人鼻としての特徴を發揮し、特に男子に甚しく女子は差程ではありません。耳は大きく正面を向いてゐるものが多く、口は山羊の口を偲ばせる様な趣があります。



ユダヤ人の一タイプ　　　　יהודי מסלוניקה

婦人は割合に小柄でありますが、髪の毛も眼も東洋式な處がありますから、日本人の目から見るユダヤ婦人は非常に美人であります。歐米で日本人が見て非常な美人だと思はれる婦人は、先づユダヤ婦人であると見て差支へない位であります。

然しユダヤ婦人の特徴として、中年以上になつてから非常に肥滿して、四斗樽の様な形になるものが尠くありません。

以上述べました外貌上の特徴は、勿論ユダヤ人に依つて顯著に現はれてゐる人と然らざる人がありますから、一概には申せません。中には支那人に似た日本人がある様に、アングロサクソンに似たユダヤ人もあります。

然しながら宗教傳統風俗は勿論、其の根本の血液がもと〱セム族で、アリアン人でないのでありますから、少し接すれば、それがユダヤ人であるかどうかと云ふことは明瞭致します。

殆んど大部分の歐米人は、一見して其のユダヤ人たる事を判別致します。之れが判別が出來ない様では、日本人にして支那人か日本人かを區別することが出來ないと同様に鑑別力に缺けた人間であります。

六、名士のユダヤ人觀

曩にユダヤ人の特性竝に特徴に就て述べましたから、今度は外國の名士がユダヤ人に對して如何なる觀察を下して居るか、謂はゞ彼等のユダヤ人觀を紹介することは、吾人の參考になる事と思ひます。

(ドリウモン)……ユダヤ人は飽くまでタルムードを信仰せり。從つて其の信仰上彼等は非ユダヤ人に對して敵愾心を抱く義務ありとなし、道義の缺乏と惡德の横行とに依りて各種の善を滅亡する義務ありと確信せり。然れども之等の義務は彼等獨特の心理狀態に過ぎず……何人が共產黨の音頭取りなりしか、何故到る處に於てユダヤ人の財產のみは掠められざりしか。卽ちパリ市にある百五十軒のロスチャイルド家は、一軒と雖も共產黨の攻擊を受けざりしにあらず

や、皆是れユダヤ人なりしが故なり。

（**ヴィクトル・ユーゴー**）……現代に於ても、自分の名稱を誇りとしてゐるユダヤ人は、地獄の直接の産物である。其の年代記は戰慄すべき行爲に滿されてゐる。ユダヤ獨立國であつた間は野蠻行爲に專心し、其の征服さるゝや、ファクセイ式神政に狂氣してゐる。

（**ウェスパシヤン**）……黄金革命は此の忌憚すべき人民の目錄なり。

（**ゴーメル**）……ユダヤ人は陰險なる僞瞞者、不良なる會計官にして之れが爲め多くの人は苦しめり。

（**コーラン**）……絶えずイスラエルの家を發ばけ。凡て彼等は僞瞞者なり。

（**マルチン・ルーテル**）……予は彼等の文書に依りユダヤ人を判斷せん。彼等は我等をゴイ（豚の意にしてユダヤ人が非ユダヤ人を指す侮蔑の稱號）と憎めり。而してユダヤ人は學校に於て、教會に於て、家庭に於て、吾人に有らゆる不幸を神より降さんことを祈禱せり。又彼等は我等の所有物を掠奪し、我等の支拂ふ利子に依て我等を破産せしめ、而かも我等を慘酷なる嚴刑に處せんとせり。斯かる行爲は古しへの偶像信者と雖も試みざの處にして、現今彼等の外

かゝる悪徳を敢てするものなし。之れ悪魔は自らユダヤ人を造りたるが故なり。ユダヤ人は愚昧慘酷にして往時より財物を惜しみ、嫌悪すべき迷信に耽り以て富を得、而かも彼等の罪悪を寛容し來れる非ユダヤ人を悪くみ、總べての民族中、最も破廉恥なる民族なり。之れを獰猛なる米國のヒューロン人及び野蠻なるイロコン人に比較する時は、之等の民族は寧ろ人道の教師、深遠なる哲學者なり。ユダヤ人は不幸に遭遇する時は意氣消沈し、幸福を獲得する時は勇氣百倍す。

(リハルドゥ・ワグネル)……ユダヤ人は生活に對し利己的意志を代表し、利益の打算に強き狡猾なる動物の典型にして、人生の悪化に勝誇りたる悪魔の化身なり。

(コストマーロフ)……ユダヤ人はフランスを食ひ盡す毛蟲や蛆蟲である。

(アポローニ)……國家國民の利害はユダヤ人に關する範圍に於てのみ存して居る。ユダヤ人が悪事に誘惑することの出來ない高潔の人と交際する時は、出來得る限り眞面目に交際する。然し其際善事を奬める事もある。然し其の善事から何か落ちこぼれを利用しやうと狙つてゐる。然し不德義漢に遭ふならば其の企てを利用すべく益〻奬勵助長する。南部及北部諸縣の住民はユ

ダヤ人が地方民に飲酒酩酊の弊風を鼓吹し、ウォッカを與へ、愛飲者の財産が居酒屋に注ぎ込まれる様に仕向けることをよく知つてゐる。又地方民に窃盗を煽り盗品を質に取り淫蕩を手傳ひ、婦女子を誑かし、人の弱點を是認して自分等の利益になる如く導き、遂に滅亡に引入れて頓著しない。

(ナポレオン第一世)……ユダヤ人の支配する官署、ユダヤ人が金庫及び家政の鍵を握つて居る家庭、或る一課をユダヤ人に委ねてある行政廳、或は學生として、又は學者の融資者として彼等を收容する大學等は、是非とも乾燥を要するポントの泥澤である。神の選民は地球上癩病よりも恐ろしく、他民族の體に附着せる寄生蟲である。

(ゲーテ)……ユダイズム(ユダヤ主義)は、全人類に對する敵愾心を根據として建てられたものであるから恐るべきものである。

(ペートル大帝)……朕は我が露國に於て、ユダヤ人よりも寧ろ異教徒或はマホメット教徒を見度きものなり。ユダヤ人は詐欺師にして詭計家なり。彼等が如何に努力し、如何に朕の隣人に贈賄するとも、我が國內に於ては彼等の爲めに住家を建て商業を營ましむる能はざるなり。

（ビスマーク）……宗教上の信仰を無視し、國家の基礎を發掘し、不法手段に依りて所有權を脅迫し、破産を以て貿易を平定し、農業の健全を侵害して輿論を惑亂し、而かも自己の幾多の教義的習慣に依りて國民の動亂を助長したる彼等は、一般生活の總べての教義上に於て、決して默認し難き亂民となれり。

（トルストイ）……ユダヤ人は棒を以て諸君の脊中を打たん。されど諸君はユダヤ人に叩頭頓首すべきなり。

（ドストイエフスキー）……ユダヤ人及び其の長老會は卽ち露國に對する陰謀團なり。

（カント）……彼等に好意を有する國家の市民たる事を名譽とせず、却つて其の國民を欺くことを好める商人のみにて、其の全民族が組織せられたりとせば甚しき奇怪なり。

（ポンタン）……ユダヤ人の說教は常に呪咀の聲に滿ちたり。彼等は軍人としては卑劣なれども兇惡にして慘忍なり。……彼等に哲學あるも淺薄なり。商業を營むも詐欺なり。

（ドーリング）……ユダヤ人は寄生蟲の形狀を以て他國民の體內に居住を定め、地上の到る處に利己主義と慘忍主義とを發揮せり。……彼等の出現せる地は場所の何たるを問はずユダヤ人

に關する問題を惹起せり。

（カント）……世界各國民の中に一の民族が雜居してゐる。彼等は自己の法律上、他の民族を敵視し、又國王の命令を無視し、又此の民族は我等の法律を度外し、我等の處置に反抗し、我國が幸福を得られぬ樣に最大の奸謀をめぐらしてゐる。

（ヒフテ）……ユダヤ人は神に選ばれたる民族であるから、非ユダヤ人に比べて一頭地を拔き、心身共に非ユダヤ人より秀でゝ居ると考へ、從つて他民族は地上より吹き拂はるべきものと思ふてゐる。

（フランツ・リスト）……ユダヤ人に取つて、好ましからざる人を罰したり殺したりすることは、卽ち彼等の所謂「獨立自由」なるものである。

次にユダヤ人自身の觀るユダヤ人は何んなでありませうか、ユダヤ人が神の如く尊崇するヘルツル博士は、自己氏族に就て次の樣に觀察して居ります。

（ヘルツル）……吾人ユダヤ人は下方に對してプロレタリアと化し、社會の覆滅者となり、あらゆる革命黨の下士團を造り、之れと同時に上方に對しては恐るべき我等が黃金力を增大せし

むるのである。

（ヘルツル）……多數のユダヤ人の居る處にはどこにでもユダヤ問題が發生する。問題のない處には、移住するユダヤ人が問題を持つて行く。吾人は素より我々を排斥しない處に行くのであるが、吾人が出現すると問題が起つて來る。この事はユダヤ問題を政治的に解決しない限り到る處、文化の發達せる國土（佛國を見よ）に於てさへ事實であり、叉事實として現存するのは必然である。憐れむべきユダヤ人は今や反ユダヤ主義を英國に持つて行く。既に米國には持ち込んだ……。

以上の諸文句を後章にある「ユダヤ聖典の內容」に照しますと、誠によき對照であります。

七、フリーメーソン結社の話

一、フリーメーソンは祕密結社か

我々がユダヤ問題に關聯して、フリーメーソンのことを承知することは、頗る重要なことゝ思ひます。

「フリーメーソン」とは英語の稱呼でありますが、露語及び佛語で「マッソン」と呼ぶのも同樣なものを指して居るのであります。

數年前まで日本の所謂學者と云はれる連中まで、フリーメーソンはあるがマッソンなどゝ云ふものはないとか、實に認識不足のつまらぬ議論を堂々と新聞雜誌に發表し、又甚しきに至つては其の存在さへ否定した學者もありましたが、現在に於ては之を否定する樣な人は一人もなく、フリーメーソンに關する注意が一般に眞面目に向けられる樣になつたことは國家の爲めに

誠に喜ばしき事と思ひます。

過般ジュネーブに於ける日支問題以來、ユダヤ問題と同時にフリーメーソンのことが非常に論議されましたが、之等の議論を見ますと大概は一方に偏して居て、其の全貌を明らかに論じたものは極めて少ない様に思はれます。

卽ち或る人はフリーメーソンを以て全世界を攪亂する大陰謀結社であると主張し、又或る人はユダヤ人の陰謀的祕密結社であると決し、又或る人はフリーメーソンは一部の人が云ふ樣な陰謀的祕密結社では全然ない、極めて平和な而も人道的な、社交的の結社であると反駁して居ります。

一つのものに對して斯ういろ〳〵に論ぜられては、讀者がどれが本當であるか、其の去就に迷ふのは勿論、其の誤れる認識は結局、不認識よりも却つて有害な結果になりはしないかと思ふのであります。

そこで之れを私の研究から見ますと、このいろ〳〵な議論は何れも間違へては居らぬけれども、フリーメーソンの楯の一面を論じたものに過ぎないものであると思ひます。依つて今から

フリーメーソンに關する私の研究の一端を、簡單に御紹介致しまして其の全貌を明らかにし、御參考に供し度いと思ひます。

第一フリーメーソンは祕密結社であるかどうかと云ふ問題でありますが、所に依りましては祕密結社でなく單に公開せざる結社であると稱して居る處もありますが、單に公開せざる結社と申しましても、之は程度問題でありまして、公然たる結社でないことだけは明らかであります。

上海に參りますと、或る店では公然フリーメーソンの持つ處の三角定規とコンパスのぶつちがひの徽章を賣つて居り、又私がジェルサレムで時々買物に行た店でも、フリーメーソンの徽章を店頭に陳列してゐたばかりでなく、其の店員が私に向つて

『あなたはフリーメーソンに何故入らないのか』

と平然質問しフリーメーソン・メムバーの利益を說いて入會を勸めたことがありました。

併しながら其の內容に至つては、何處も同樣祕密でありまして、祕密の中にフリーメーソンの眞價があるのであります。

二、フリーメーソンの起源

フリーメーソンの意味に就ては、人に依つて種々なる説がありますが、今二三の比較的首肯し得る説を參考に述べませう。

フリーメーソンの起原に就ては、從來メムバー等が之れを誇大的なものにしやうと試みた結果、一般に神話的で、其の起原はハッキリして居りません。或はピタゴラスやユークリットなどもフリーメーソンに關係があるとも云ひ、或はローマ時代の建築組合が其の前身であると云ひ、又或る人はソロモン殿堂の建築者と稱せらるゝ技師ヒラムがフリーメーソンの創設者であると主張し、又中には十四世紀頃にあつた聖堂騎士の組合が其の濫觴であると申して居るものも居ります。現にスヱーデンの大地方組合の如きは、自ら聖堂騎士組合の直系であると主張して居りますが、さうかと云つて之に對する證據は別にない樣であります。

三、ソロモン殿堂建設技士ヒラムとフリーメーソン

茲でヒラムといふ名が出ましたから、ヒラムに就て一寸お話しを致しませう。ヒラムはソロモン王の時に榮華の殿堂を建築した有名な技師であります。此の殿堂を建築する際には王が自ら建築費を投じてヒラムに建造させたと云ふよりは、當時の人々に其の職業及び身分に應じて技術竝に材料を寄進させたのであります。

例へば石工は石を運び之を刻み、材木屋は材木を寄附し、彫刻家は其の彫刻技術を寄進してヱホバの殿堂に獻じたのであります。ヒラムは其の當時の大技術家で、今で申せばソロモン殿堂の建設技師長であつたのであります。

このヒラムがフリーメーソンの創設者だと信じて居る人もありますが、ヒラムは殿堂建築落成後、其の建築祕傳のことから四人の弟子に殺害されてしまひましたが、四人の内の一人は逃走し三人は逮捕されたのであります。現在フリーメーソン結社員のドアのノックは「三ツ」を用ゐ、又フリーメーソンの用ふるあらゆる表徵は「三」の數を用ゐますが、之は此の逮捕された三人に起因するのだと申して居ります。これとても古い話であり又確たる證據もありませんから、眞僞のほどは解りませんが、或る一部の結社員は之をフリーメーソンの起原と信じ、私

に說明して呉れたことがありました。

四、昔のフリーメーソンと其の遺業

そこでフリーメーソンなる名稱はどこから出たかと申しまするに、昔の職工メーソンから出たものであると云ふことだけは、今日に於て何人も疑はない處であります。

この職工メーソンは謂はゞ石工、大工、左官などの組合でありまして、他の總べての組合の樣に其の棟梁は建築術の祕訣を其の職人や徒弟共に傳授したものであります。

昔、棟梁は其の職人や弟子共を引連れ、其の特有なる技術を以て全歐洲を遍歷し、仕事のある處に滯在し、常に仕事から仕事へと移動してゐました。

建築技術のまだ一般に進步して居なかつた當時の歐州諸國に於て、諸帝王の壯麗なる大宮殿を造るには、普通の平大工には到底出來なかつたのでありまして、此の建築祕術を傳へて居る處のフリーメーソンの團體のみが之をよくしたのであります。

彼等は恰度昔日本の職人に職人氣質があり、又俠客仲間や之れに加はる仕事師などの間に、

所謂仁義なる獨特の道義的風習があつた様に、職工フリーメーソンの仲間には彼等特有の風習、合圖、記號竝に技術の祕密を持つて居りました。

そして普通の平大工や、田舍の教會堂を建てる程度の平職人に對して「自由なるメーソン」と云ふ名の下に彼等と區別されて居りました。

又一方、此の「自由なるメーソン」なる名が、彼等が自由に歐洲に仕事を辿つて遍歷したからばかりでなく、中世紀に於て彼等の技術は各國帝王や法王に認められ、特別に自由及び特權を與へられたのにも因るのであります。

英國では此の種の組合の最初のものは、既に紀元九三六年に於て、第一の大組合がヨークに集會を催して居ります。又佛蘭西では一二五八年パリにあつたことが記錄に殘つて居ります。

歷代の英國王は建築術を奬勵したので、フリーメーソンを「王の技術」と稱する様になりました。從つて今日に於ても巍々たる古城や、大きな石橋や宏壯な大寺院等が、フリーメーソンの遺業として殘つてゐるものが尠くありません。

この職工メーソンはイングランド、スコットランド及び獨逸に於て隆盛を極めましたが、第

十七世紀の初め建築術の衰退に伴ひまして遂に消滅しました。

然し英國だけは其後も繼續しまして、段々身分のある素人が此の組合に入る樣になりまして、英國のフリーメーソン組合に、新たなる傾向を生ずるに至つたのであります。

當時毎月行はれたフリーメーソンの儀式には市民、貴族並に學者が參加して其の組合員たることを認可されました。然し之等の人々は職人でないので之を擬會員と稱したのであります。是等の中にはフリーメーソンの派手な宴會や組合の祕密に好奇心を起して引きつけられたものもありましたが、新人會者があると其の出費で大宴會を催し、又多額の入會金を出させたことも、此種の新人者を歡迎し其數を增加せしめた原因でありました。こんな調子で遂には英國のフリーメーソン組合は、眞の會員よりは擬會員の數が段々多くなつたのでありました。

五、職工フリーメーソンより精神的フリーメーソンへ

斯くて、一七一九年フリーメーソンの爲めに記念すべき大變動が起りました。卽ちロンドン及びウェストミンスターにある四つの古き職工フリーメーソン組合は、相合して一の大組合を

組織し、一人の大棟梁を選定し、同時に若干の學者、神學者の援助を得て組合の儀式及び憲法を改造し習慣を整理しました。

當時牧師のヤコブ・アンダーソンは其の憲法を起草し、一七二三年之れを印刷に附しましたが、之れが今日に至るまでフリーメーソンの爲めに重要なものになつて居ります。

斯くて本來の職人フリーメーソン結社は、精神的のフリーメーソン結社に變つたのでありまして、要するに今日のフリーメーソンは英國が本家本元であります。從つて現世界に於けるフリーメーソンの元首は英國のコンノート殿下であります。

元來フリーメーソン結社の第一の義務とされてあつたものは、服從でありましたが、此の精神的フリーメーソンに變つてから、全人類は一致の宗教を奉ぜねばならぬといふことが、第一の義務となりました。卽ち其の意義は結社員は善良にして忠實、名譽を重んじ公明正大でなくてはならない。そして其の民族及び信仰の如何に拘らず、此の全人類一致の宗教を奉することに依つて、互に相離反せんとする人類の間に於ける一致の中心となり、且つ忠實なる友誼を造り上げる手段となすことになつたのであります。

茲に於て今まで極めて明瞭であつた結社員の義務は、非常に不明瞭となり、之れに對し種々なる解釋を下す樣になりました。

例へば結社員は一定の前提の下に於て、謀反及び革命を煽動する權利を有す。場合に依ては謀反を實行する義務を有する、とさへ云ふものがあるに至つたのであります。卽ちフリーメーソンの機關新聞フリーメーソン・クロニクルは次の樣なことを發表してゐます。

『若しフリーメーソンは如何なる狀況に於ても反抗してはならぬといふならば、それは彼等の最高にして又最も神聖なる市民としての義務を毀損することになる。謀反は一定の場合に於ては一つの神聖なる義務である』と。

なほ多數の權威あるフリーメーソン新聞は、略々之れと同樣なる意見を述べて居ります。

この英國に於けるフリーメーソンの大組合が出來上りまして後、フリーメーソンは全歐洲に亙つて非常な發達を遂げましたが、屢々謀反の權利を實行した爲めに、治安維持上壓迫を蒙りナポリでは一七三一年、波蘭では一七三四年、和蘭では一七三五年、佛蘭西では一七三七年、

墺太利では一七九四年に夫々禁止されました。然しながらそれにも拘らず是等各國の組合の數は次第に増加したのであります。各國のフリーメーソン結社は更に合して大組合を組織し、更に之れが世界的大組合に編入されて居ります。

組合員は通常・見習、職工、棟梁の三階級に分れてゐますが、此の區分は職人フリーメーソン時代に起つたもので、其後各國のフリーメーソンは各〻種々なる階級を設けて居ります。卽ち十一階級あるもの、二十五階級あるもの、三十三階級あるもの、更に九十五階級のものもあります。通常はスコットランド式の三十三階級が廣く行はれてゐる様であります。

六、規定と義務

各フリーメーソン結社に共通する規定は、フリーメーソン結社員は死を以て其の規定と祕密とを遵守するの義務を有し、又上級結社員に對して絕對の服從を要求すると共に相互扶助と連帶責任の義務を持つて居ります。之れがフリーメーソンの極めて重要なる條件であります。そしてフリーメーソンは表面上は慈善事業を以て其の使命であると稱して居るものもあります

が、元來其のモットーとする處は、自由平等博愛でありまして、卽ちフランス革命の思想は此の自由平等博愛を實行したものであると申されて居ります。

是等から觀察しますと、此のフリーメーソンの唱へる自由平等博愛も、表現の方法に依ては非常に恐ろしい結果を招來するものと云はねばなりません。

玆に於てフリーソーソンの目的に就て、之を明瞭ならしむる必要があると思ひます。

フリーメーソンの最高幹部の一人であるカールチェ・ラ・タントは一九〇〇年八月三十一日パリに開設された萬國フリーメーソン事務所の目的に就て次の如く言つて居ります。

『萬國フリーメーソン事務所開設の目的は

一、全世界フリーメーソンの力を合一せしむること

二、世界を紛亂に陥るゝ爲め必要なる據點となること

而して其の最後の目的は世界共和國の建設である』

と說明したのであります。

尙ほ一八八九年七月十六、十七兩日開催されたパリの第一回フリーメーソン會議は、フラン

ス大革命百年記念に開かれたものでありますが、此の席上に於てカルチェ・ラ・タントと同様なる意見が發表されました。卽ちフリーメーソンの目的は無神論的世界共和國の建設でありまして、當時の演說者フランコリンは、次の様に其の目的を率直に述べて居ります。

『十八世紀も一七八九年（卽ち佛蘭西革命）をも有しなかつた各國に、君主政治及び宗敎の沒落する時が來るであらう。この日は最早や遠くはない。吾人は此日を期待してゐるのである。此日に於てフリーメーソン的四海兄弟なる實が擧げられるのである。之れ卽ち吾人の將來に對する理想である、そして此日の一日も速かに來らんことを努めることは吾人の責任である」と。

尙ほ匈牙利のフリーメーソンの有力者ヘベジーが、フリーメーソンの目的に就て、次の様に述べて居ります。

『世界マッソン同盟に依つて世界を動かすが如き重大問題に對しては、全世界のフリーメーソンは合一せる偉大なる勢力を及ぼし、フリーメーソン的の意義卽ち共和政體に有力なる如く時事問題を解決すべきである』と。

以上に依つて、フリーメーソンの終局の目的といふものが、世界共和國の建設にあることが、明瞭でありませう。

七、終局の目的と世界大戰

之れが爲めに民衆を煽動して權威ある支配者、卽ち彼等の所謂「暴君」に反抗せしむるの必要があつたのであります。又君主政治を消滅し、各國民は精神的に開放され改造され、且つ支配權を國民の手に掌握すべきであつたのであります。其際に於て各國民の上に立つべきものは何人でありませうか。言ふまでもなくフリーメーソン以外に此の任に當るものはないといふことを彼等は申して居ります。

事實に於て過去に於ける世界大戰は、フリーメーソン結社員に依て計畫され、フリーメーソン結社員に依つて口火を切られたと申されてゐます。卽ち一九一四年六月二十八日墺國皇儲フランツ・フェルヂナンド大公は、サラヴォエに於て、セルヴィアのフリーメーソン結社員の爲めに暗殺されたのであります。

尚ほ私が匈牙利に於てフリーメーソンのロッヂを見學しました際、その管理者マードク氏は『墺國皇儲の暗殺者は、此のロッヂに於て相談され、結社員は玆で夕食を共にして、暗殺者を送つた』と私に語りました。然し他の一人は之を否定しましたが、兎に角故墺國皇儲の暗殺がフリーメーソン結社員の手に依つてなされたものであることは疑ふ餘地がありません。

註　フリーメーソン・ロッヂとはフリーメーソン座と飜譯するが、フリーメーソン結社員の會合する會堂である。其の內部は結社員以外は絕對祕密で何人も入ることが出來ない。

八、フリーメーソンとユダヤ關係

フリーメーソンとユダヤ人との關係に就ては、ソロモンが其の創設者であるといひ、或は曩に申した通り殿堂建設技師ヒラムが始めたとも云ひますが、此事はハッキリして居りません。然し結社員の用ふる言葉には非常にヘブライ語が多く、又ユダヤ式の形式が多分にあるので、フリーメーソンは卽ちユダヤの結社でないかと一寸考へられないでもありませんが、其の歷史

は前に述べた通り、ユダヤ人とは全く無關係に職工フリーメーソンから發達し、其のユダヤ臭い處は舊約全書を信じてゐた基督教徒に依つて挿入されたものであると申して居ります。

此のフリーメーソン結社の創立當初に於ては、ユダヤ人は此の結社に入る事に努めましたけれど、當時ユダヤ人は絶對に入ることを拒絶されました。

初めてユダヤ人のフリーメーソン結社が出來たのは、一七八〇年頃でありまして、フランクフルト・アムマイン市に二つの組合が設立されたのであります。然し此のユダヤ結社は他の結社からは承認されませんでした。

其内に段々ユダヤ人の入社に贊成する意見が現はれる樣になりまして、遂に一七八三年フランクフルト・アムマインの結社がユダヤ人を採用することになりました。

然し一八一一年に至りまして、非基督教徒を排除する樣になつたのでありますが、其後一八四四年に至りまして再び該結社はユダヤ人の加入を許すに至りまして、今日では該結社の重要なる地位は殆んどユダヤ人を以て占むる樣になりました。

匈牙利に於ては一八九〇年代に新たにユダヤ人を採用する樣になり、其後十年にしてユダヤ

人で指導的地位に就くものが出來た爲め、基督敎徒の此の組合を去るものが續出しました。遂に歐洲大戰當時に於ては、匈牙利のフリーメーソン結社の有力者は、殆んどユダヤ人に依て占められる有樣となつたのであります。

佛蘭西の雜誌アカシアは一八二三年に、

『ユダヤ人なき組合なし』

と報告して居ります。

フリーメーソン結社は一名贅澤結社と呼ばれるほどで、貧乏人は入らうとしても入ることが不可能であります。莫大な入會金を納め、更に年々數百圓の會費を納めなければなりません。此點から申しますと、金に惠まれたユダヤ人はフリーメーソンに入ることが極めて容易なことでありまして、而も國家なく、又何等の國民的背景を持たぬユダヤ人が、社會のあらゆる有力者をメムバーとし、而も强固なる世界的連繫を有する大祕密結社に入籍することは、彼等の活動上最も便利であり又望ましい處でなければなりません。

從つて各國の結社が、ユダヤ人を入社せしむる樣になりまして以來、ユダヤ人が續々として

入社すると同時に、入社後は最も熱心なる結社員となり、又他の結社員と違つて道樂半分でなく眞劍に此の團結を利用しやうと努力したのは當然なことであります。

其の結果どこの國でも、結局ユダヤ人が最も出世し、内部に勢力を張り、遂にはフリーメーソン結社をユダヤ主義化して、之れを左右する大勢力を獲得するに至つたのであります。

フリーメーソンが其の歴史に於てユダヤ陰謀と何等關係がなかつたに拘らず、フリーメーソン結社卽ちユダヤ陰謀團であるかの如く、人が考へる様になつたのは以上の次第からでありまして、又其の結果から考へて見ますと無理からぬことゝ思ひます。

九、結社數と結社員

フリーメーソンの階級に就ては前に述べましたが、主なる國の結社數竝に結社員は概要次の如くであります。

英吉利	結社數　三一五五	結社員　四十萬人
佛蘭西	結社數　四七〇	結社員　三萬三千人

獨逸　結社數　五五九　結社員　五萬八千人

米國は特にフリーメーソンの大なる發達を遂げ大結社一百個、小結社一萬六千、結社員約二百萬を算すると申します。

以上の外、西班牙、波蘭、露西亞、支那、日本を初め各國にあります。

次にフリーメーソン結社員で有名な人々を擧げて見ませう。

米國ではワシントン、マッキンレー、タフト、ルーズヴェルト、ウイルソンなど殆んど代々の大統領にしてフリーメーソン結社員ならざるものはありません。又結社員ならざるものは大統領となる資格がないとまで申されてゐます。なほ有名なランシング、ハウス大佐、パーシング將軍、ゴンパースなどもフリーメーソンです。

歐洲ではボルテール、ナポレオン、ポアンカレー、マッチニ、ソンニノ、ダヌンチオなど、尚ほ支那では孫逸仙が世界的有力者でありました。

以上はほんの一部に過ぎませんが、現在歐米に於て有名なる政治家、外交官は先づフリーメーソン結社員ならざるものなしと斷定して誤りないでありませう。

我國に於ては勿論、祕密結社は法律上嚴禁されて居りますから、東京其他にロッヂがあるといふことを耳にして居りますが、勿論之は日本人の入社してゐるものでなく、外國人の結社でありせう。然し日本人の有力者でフリーメーソン結社に入つてる人もないではないといふことであります。

十、帝國とフリーメーソン國家との對抗

今まで説明したことに依つて、フリーメーソン結社なるものが、如何なるものであるかといふことが、大體お解りになつたことゝ思ひますが、尙之を結論的に申上げます。

フリーメーソン結社は非ユダヤ人に依て創設され、叉發達したものである。

而して近世紀に於てユダヤ人が之に入社を許され、現在に於ては該結社の中心勢力は殆んど各國共ユダヤ人に掌握さるゝと共に、該結社はユダヤ人に依つて指導されつゝあります、叉現在は、ユダヤ人のみを以て成る處の結社が設立されて居りまして、之に對しては絕對に非ユダ

ヤ人を入れないといふことであります。卽ちフリーメーソン結社には、非ユダヤ人の設立したものと、ユダヤ人のみを以て設立したものとがあるのであります、私が嘗てスタンブールに滞在中、或る土耳古人が、

『今の土耳古共和國の大臣連は殆んど結社員である、そして此の結社の中にユダヤ人は勿論入つてゐる。然るにユダヤ人の創設した結社がまた別にあつて、之れには一人の土耳古人をも入社せしめない、實にユダヤ人は勝手なものです』

と私に話をしたことがありました。

フリーメーソン結社は表面、人道主義特に自由平等博愛をモットーとし、其の事業として慈善事業を爲すものであり、結社員の相互扶助を目的とする社交團體であり、職工、徒弟と稱する下級メムバーは事實斯の如く思惟し、又實行して居るのでありますが、然しながらフリーメーソンの目的は民族及び國家を超越した處の世界的團結であつて、フリーメーソンに依つて支配する世界共通の共和國を建設すると云ふことが、其の理想であり、其の目的である處から考へて見て、國家的でない事が明らかであります。殊に共和國建設の爲めに最も障害となるもの

は帝國であり王國であるのであります。

更に又、フリーメーソンの死を以て誓ふ處の誓約は、絶對服從であり、連帶責任（ソリダリテイー）であり、祕密嚴守であります。故にフリーメーソンの最高幹部が或る方策實行のために命令を發する時は、其の結社員たるものは、其の好むと好まざるとに拘らず、其の四肢の如く働かねばならぬことは明らかなる處であります。

之れを過去の各國に於ける歷史に鑑みまするに、佛蘭西革命を初めとして、又世界大戰を合圖として各國のフリーメーソンが如何に活動し、其の結果各國の帝冠が如何に墜落したか、今やフリーメーソンの目的に副はない國家は世界中に日本帝國あるのみであります。

英國は帝國であるけれども、其の實際政治は共和國と同樣であり、而も其の皇室自體が既にフリーメーソンであり、英國の政策卽ちフリーメーソンの政策であるとさへ稱せらるゝに至つてゐるのでありますから之は問題にはなりません。

今や大日本帝國は、世界フリーメーソン國家の中に、唯獨り毅然として彼等と相對峙してゐるものと私は考へるのであります。

此の意味から考へて、今帝國はフリーメーソン的意味から、之に對抗する非常時であると云つても過言ではありますまい。

但し世界列强中に於て伊太利はムッソリーニに依つて、フリーメーソンの危機より救はれ、歐洲の一角に毅然としてフリーメーソンを睥睨して居ります。

又獨逸はヒットラーに依つて「ユダヤ人の獨逸」より眞の獨逸に還元すべく救はれつゝあると同時に、フリーメーソンの災害より逃れつゝあるのであります、卽ち先般ヒットラーは獨逸に於ける最も有力なるフリーメーソン結社「三ッの地球」に大彈壓を加へユダヤ人結社員は逐放され、其の結果「三ッの地球」は純粹の慈善團體に變化するに至りました。然し獨逸のナチス團の活動は未成品であります。果してうまく行くでありましやうか、どうでありましやう。

今まで私はフリーメーソン結社が、現在ユダヤ人の侵入に依つてユダヤ化され、其の重要なる位置はユダヤ人に依つて占められる樣になつた事を述べましたが、兎に角フリーメーソンは表面は人道的社交的結社であり、或は單に公開せざる結社であると稱するものもありますが、徒弟、職工階級はいざ知らず、其の最高統帥部の策謀により、フリーメーソンの最終目的達成

の爲めには、平和の天地に大禍亂を巻き起し得る、世界一帶に至る大祕密結社であるのであります。

八、國際聯盟とユダヤ人並にフリーメーソン

一、國際聯盟と日支問題

昭和八年二月二十一日の貴族院本會議祕密會に於て赤池濃氏は内田外相に對してユダヤ國際聯盟の内幕を曝露し、ユダヤ人乃至フリーメーソンに對して鋭く外相に質問を發して居りますが、新聞に報ぜられた其の質問應答の一部を次に掲げて見ます。

赤池濃君――國際聯盟の蔭にはユダヤ人の祕密結社が暗躍してゐる。ドラモンド事務總長も支那に厚く反日傾向が著しいではないか。是等の陰謀を何故阻止しなかつたか。我國側として聯盟當局の背後の實體を認識してゐたか。

外相――外交上公然と是等ユダヤ系の運動を阻止することは出來なかつた。

赤池君――ユダヤのフリーメーソン結社は日本が國際聯盟脱退後更に我國の經濟上社會上に兇惡なる魔手を伸ばして壓迫を加へて來るであらう。之が用意ありや。

外相――有益なる忠告である。目下の處何等之に對する具體的對策はないが考慮する。

と答辯し赤池君の聯盟内幕曝露は多大の衝動を與へた。（東京日々新聞二月二十二日夕刊所載）

然らば一體國際聯盟とユダヤ人とはどんな關係がありませうか。抑國際聯盟は米國大統領ウィルソンに依て唱導提議されたものでありますが、此のウィルソンの祕書役としてウィルソンに大小となく進言し、裏面に於て大活動を演じた人物は誰れでありましたらうか。之れは有名なヂスレリーといふ亞米利加ユダヤ人でありまして、米國人は彼を稱して超ユダヤ人と申して居ります。亞米利加あたりの噂さでは、ウィルソンは此のヂスレリーのロボットであつたとさへ言はれ、國際聯盟なるものはもと〳〵ヂスレリー等のユダヤ人並にフリーメーソンの人々に依つて提言されたものであると言はれてゐるのであります。

そこでユダヤ人に依つて提言された國際聯盟に對して、ユダヤ人は如何なる解釋をしてゐる

でありませうか。

次に一九二五年十一月十五日發行のヴュー・ジュネーヴ紙に掲げられた「ユダヤ人と國際聯盟」と題するユダヤ人に依つて書かれた記事を研究して見ませう。

『……その指導精神からして國際聯盟はイスラエルの運命に二重の關係がある。國際聯盟は國際問題の平和的解決の機關であるからして、國際民族たる此のユダヤ民族より以上の確固たる支援を受けることは出來ない。而してユダヤ民族の國際主義はイデオロギーではなくして現實の問題であり死活問題である。……吾人は國際主義の最初の具體的提案者であつた……國際聯盟は、ユダヤ民族が其の全世界へ離散以來、民族生活の根底をなして居る事柄を、政治的に實現するのである。』

以上の記事に依りまして其の成立の如何を問はず、少くもユダヤ民族の國際聯盟に對する根本觀念は明瞭であると思ひます。

又事實に於て、國家を有せず而も世界に分散居住するユダヤ人が、ユダヤ政策實行の爲めに、此の國際聯盟が如何に便利なものであり、ユダヤ人が之を利用せんとすることは、彼等として

當然のことであらねばなりません。

そこで此の國際聯盟成立以來ユダヤ人等は、此の國際聯盟に確固不拔の地盤を築くべく、不斷の努力を拂つて來たのであります。卽ち其の結果として、最近に於ける聯盟の內外は次に述べます樣に殆んどユダヤ人を以て充たされるに至つたのであります。

先づ第一に、日支問題勃發以來我々日本人の腦裡に深き印象を與へた處の聯盟事務總長ドラモンドは佛國ユダヤ人であります。事務次長の一人は杉村陽太郎氏でありましたが、今一人の事務次長はアブノールといふ佛蘭西ユダヤ人であります。

最近ドラモンドが事務總長を勇退致しますと、又もや事務次長であつたユダヤ人のアブノールが事務總長に就任し、依然として國際聯盟の元締はユダヤ人に依つて占められてゐるのであります。

國際聯盟は四つの部から成立してゐますが、一人の部長はリツトン調查團の祕書長となりました佛蘭西ユダヤ人のハースであり、今一人の部長はかの有名な波蘭ユダヤ人ライヒマン博士であります。

更に聯盟の經濟部長は獨逸ユダヤ人ソルターであり、宣傳情報部長は同じくユダヤ人なるコンメンであります。

日支交渉の大詰に活躍したチェッコスロバキヤ代表ベネッシュは、矢張りユダヤ人でありまして、彼はチコェッスロバキヤ建國以來の外相であり、又聯盟創設者の主なる一人であります。今回日支交渉事件に彼が小國側のリーダーとして、如何に活躍したかは我々の記憶に新たなる處であります。

尚、西班牙の代表マダリアーガも亦、ユダヤ人でありまして、彼の活動も素晴らしいものであります。

更に最後の總會に於て議長をつとめた伯耳義代表イーマンスもユダヤ人でありまして、ベネッシュとは無二の親友であります。

此の外に聯盟の外廓に於て我々は大なるユダヤ人を見るのであります。卽ち英國外相サイモン氏もユダヤ人であることは有名なる事實でありますが、其の前任の外相レーヂング卿も亦ユダヤ人であります。

なほ事件の當初活動し、其後間もなく死んだ佛蘭西の有名なるブリアンの祕書官長は、誰れでありませうか。支那通にして而も親支主義者であつた處の、之れもユダヤ人であるレーゼであります。

更に又、支那本國に在りまして滿洲事變、上海事變に大なる交渉を持つた處の英國公使ランプソン、米國公使シムプソンは何れもユダヤ人、上海工部局長（市長）として有名なるフッセンデンが、之れ亦米國ユダヤ人であることは周知の事實であります。

以上列擧致しました人々の個人々々に就て、ユダヤ人であることを御存じの方も少くないでありませうが、斯の如く系統的に集めて見ますと、今更ながら國際聯盟の内外に於ける活動役者の、殆んど大部分がユダヤ人であつた、といふ事實に一驚を喫する次第であります。

そこで私は、日支交渉の論議は民族的に見て結局、日本人對ユダヤ人の論爭であつたと云つて決して過言でないと思ふのであります。

以上申述べました處を一層明瞭ならしむる爲め一表にしてお目にかけませう。

國際聯盟の内外に活動せるユダヤ人並びにマッソン團員一覽表

ドラモンド	聯盟事務總長	英國ユダヤ人	マッソン	
アブノール	同 事務次長（次回事務總長）	佛蘭西ユダヤ人	一般にマッソンを目せらる	
ハース	同 交通部長	佛蘭西ユダヤ人	マッソン	リットン卿書記官長、リットン報告起案者、支那政府交通顧問
ライヒマン	同 衛生部長	波蘭土ユダヤ人	マッソン	支那政府衛生顧問
ソルター	同 經濟部長	獨逸ユダヤ人	一般にマッソンを目せらる	
コンメン	同 宣傳情報部長	ユダヤ人	一般にマッソンを目せらる	
マダリアーガ	西班牙代表	西班牙ユダヤ人	マッソン	
イーマンス	十九ヶ國委員會議長	白牙義ユダヤ人	マッソン	
ベネシュ	チェック代表	チェックユダヤ人	マッソン首領	イーマンスの親友、チェックの外相、聯盟創始者
レーゼー	故ブリアン祕書官長	佛蘭西ユダヤ人	一般にマッソンを目せらる	
レーヂンク卿	英國前外相	英國ユダヤ人	マッソン	
サイモン	英國現外相	英國ユダヤ人	マッソン	
フェッセンデン	上海工部局長（市長）	米國ユダヤ人	一般にマッソンを目せらる	

顧維鈞	支那代表		一般にマッソンを目せらる
顔恵慶	同		一般にマッソンを目せらる
王正廷	外交部長		一般にマッソンを目せらる

右の表に依て聯盟のユダヤ勢力なるものがハッキリ致しましたが、更に進んで日支問題以來の彼等の活動振りに就て一瞥致しませう。

二、ユダヤ人の國際的活動の周到なる準備

如何なる仕事を爲す上にも、之れが準備といふことが殆んど其事の成否を支配する大切なる事でありますが、殊に戰爭であるとか國際會議であるとか、いふ様な重大問題に關しては、實行そのものよりも、先づ第一に周到なる計畫準備の必要なることは申すまでもありません。

例へば我々は、今回の滿洲事變勃發當初竝に熱河討伐の疾風迅雷的なる日本軍の行動に就て驚嘆措かざる處でありますが、此の疾風迅雷的行動を爲し得たといふことは、之れに對する周到緻密なる計畫準備にあつたのでありまして、如何に日本軍が勇敢機敏であると申しましても

何等の計畫なく漫然と敵に向つたのでは、到底今日の如き痛快なる活動は出來る筈のものではないのであります。

例へば滿洲問題が次第に險惡となりまして、或は滿洲に於て日本軍と張學良軍との衝突が免かるべからざるものであると察するや、在滿日本軍は之れに對する處の準備を日夜怠らず、聞く所に依りますと、若し〇〇中隊が奉天城攻撃に向けられた場合には、〇〇小隊はどの門から向ひ且つ〇〇上等兵は此の城壁を昇り、其際は石垣の何れの處に右手を掛け、どの石に左足を掛けるかと云ふ處まで準備してゐたと云ふことであります。九月十九日午後十時柳條溝より事件が突發した爲めに、之が實行には至らなかつたのでありますが、斯の如き準備、少なくとも精神的準備と覺悟とがあつてこそ克く勇猛果斷、僅かに十分の一にも足らざる寡兵を以て、疾風の秋の木の葉を捲くが如く、大敵に殺到して之を席巻し得たのであります。

熱河の戰勝に於ても、其の戰勝の原因は同樣であると思ふのであります、それを單に支那軍が弱くて、日本軍が強いのだと簡單に片附けるのは餘りに單純な考へであります。

話は、ひどく横道に這入りましたが、ユダヤ民族は世界唯一の國際民族であり、而も其の策

謀に於ては世界無比の民族でありますから、各種の重大問題に臨むに當りましては、勿論之が準備を怠つたことはないのであります。

今、之を歴史的に觀察し、若干其の例を擧げて見ませう。

『既に一九〇三年シオニスト第六回會議に於て、世界大戰は豫言せられ、其の推移と結果が告げられ、尙ほユダヤ人が平和會議に於て執るべき態度さへ大體に於て決定せられて居た』

と云ふことが、亞米利加に於ける唯一のユダヤ對立者として、ユダヤ人の活動に關する忌憚なき意見を發表し、之が爲め遂にユダヤ財閥の忌諱に觸れ、徒らに四十億の巨財を擁して沒落に瀕しつゝある處の自動車王ヘンリー・フォードの著書に明記されてあります。

又、ユダヤの學者として有名なドクトル・エス・ベルンシュタインのシオニズムの書に次の如く述べてあります。

『露國に革命勃發するや、シオニズムは啻に壓迫されなかつたばかりでなく、更に勝利の行進を開始した。一九一七年五月に於ける露國シオンズム主義者會議は、意味深長なる政治上の一大示威運動であつた』

世界大戰後、平和會議が開催せられんとする其の一週間前パリに於て、ユダヤ會議が開催せられたといふことであります。

今回の日支事變が勃發しジュネーヴの國際聯盟に於て日支問題が討議せらるゝや、昨年八月ジュネーヴに於て、全世界ユダヤ人會議が開催せられ、本問題に對するユダヤ民族の執るべき方針が決定せられました。

尙ほユダヤ人と密接なる關係を有するフリーメーソンの會議が、聯盟開催中屢〻催されたことは、當時ジュネーヴに居つた日本人の知つて居る處であります。

之に依つても、ユダヤ人が今回の日支問題に對して、如何に周到なる準備を以て向つたかが明らかなることと存じます。

三、第二次世界戰爭への近迫

國際聯盟とは單なる國際會議ではなく實は國際議會である、即ち國際聯盟と稱する國際議會を中心として、國際政治が行はれて居ると見ることが、聯盟に對する至當なる觀察であるとは、

我が代表顧問の實話であります。

既に之れが議會である以上は、そこに黨派が必要であることは勿論であります。從つて大國は各〻小國を率ゐ、小國は大國をパトロンとして、各〻其の意見を遂行することを考へてゐるのであります。

國際聯盟の此の情況を看取した處の支那は、既に四五年前から聯盟に地盤を築くべく大なる努力を拂つて來たのであります。之が爲めに聯盟事務局を第一に利用する事を怠らなかつたのであります。卽ち支那側は聯盟に對し支那の文化的開發を委託したのであります。

國際聯盟としては、支那の大なる信頼を受けたのでありますから、非常に喜んだことは申すまでもありません。そこで彼の上海事變の際に、國際聯盟は其の衞生部長たるドクトル・ライヒマンを支那衞生施設改善といふ名目の上に支那に派遣したのであります。

このライヒマンは眞如の無線電信所に寢臺を持込んで、三百餘通の日本に不利なる電報を刻々聯盟に報道したことは御承知の通りでありまして、ライヒヤンは全く支那の傀儡となり、支那を呼ぶに「我が支那」と申すほどの支那贔負でありますから、日本に對して有利なる電報を

打つ筈はありません。

國際聯盟は、次ぎに支那交通施設改善といふ名目の下に、交通部長ハースを支那に派遣しました。彼も亦、支那を呼ぶに「我が支那」といふ代物であります。ハースが支那にやつて來てからどんな活動をしたかは、諸君の既に想像し得る處でありませう。

一體四十二對一の結果を齎し、遂に日本が聯盟を脫退しなければならぬ様な破目に陷れた處の、日本に非常に不利にして支那に非常に有利なるリットン報告書なるものは、誰の執筆に成つたものでありませうか。

これぞ卽ち、今申しました國際聯盟交通部長で、且つリットンの祕書官長となりました此の佛蘭西ユダヤ人ハースが起案したものでありまして、ハースがリットン調査團の中に於て、如何に横暴な勢力を振つたかと云ふことは、フランス代表クロデル將軍が

『自分は他國人と戰ふよりも、自國のハースと戰ふ方が遙かに骨が折れる』

と浩歎したことに依つても明らかなことであります。

聯盟脫退の是非は別問題として、兎に角日支問題に於て、日本が如何に不利なる情況にあつ

たかと云ふことは、之に依つて十分會得される處と思ひます。

尙又、特に聯盟內で大に活動し、我々の腦裡に深く印象されてゐる處のチェック代表ベネッシュも、今申したハースもライヒマンもスペイン代表マダリアーガも是等何れもマッソン團員であります。

尙聞く處に依りますと、顏惠卿も顧維鈞も亦此の結社員であると云ふことでありますから、其の間互に機微なる聯繫があつたであらうといふことは、聯盟開催中屢〻其の祕密會議が行はれたことに徵して看取し得る處であります。

然らば國際聯盟を左右するユダヤ人竝にフリーメーソンが、日支を紛亂に陷れ、我が帝國を孤立に陷れたのは果して如何なる目的がそこに藏せられてゐるのでありませうか。

此のことに就ては、フリーメーソンの最終最高の目的に照らして御判斷に任せ度いと存じます。

我々は第二次世界戰爭の一刻一刻接近しつゝある事を感得せずに居られないのであります。

九、映畫に依るユダヤ侵略

一、現代の流行と我が傳統の破壞

現代の我國に於て、映畫といふものは、旣に藝術的趣味的の鑑賞範圍を超えて、一般民衆の生活必需品の域にまで進んだと云つても差支ありますまい。

この映畫に依る人心の推移、殊に靑年男女の心に反映する影響はどんなでありませうか。實際映畫は是等民衆に對して如何なる影響を與へてゐるでありませうか。

第一に現代のモードを仔細に檢討したならばどうでありませうか。例へば男子の服裝に於て、肩の張りやズボンの形に至るまで、殆んどスクリーンに映ずる亞米利加俳優の著想に依つて流行は次第に變化して行きます。之れが爲めに氣の利いた洋服屋は、映畫の封切り每に之れを覗いて、注文者の先手を打て流行の先驅けをやらねば、食つて行けないと云ふ有樣でありま

す。

殊に若い婦人に至つては、ディートリッヒの映畫を見ては、直にディートリッヒの容貌に扮し、シルヴィアシドニーがスクリーンに現はれますと、之れ亦世を擧げてシルヴィアシドニーたらんとする有樣でありまして、近頃では銀座などを歩いて見ましても、殆んど眉毛に毛の生えてゐない女が少くない有樣であります。

極端なる連中は、我が民族獨特の黑髮を赤く縮らし、自分の眼玉が靑くならぬのを嘆つてゐる有樣であります。是等のものは旣に化粧の範圍を超えて、全く映畫的扮裝に變身をやつしてゐるのであります。

又我が第一流の新聞は、如何にジャーナリズムの風潮とは云へ、態々貴重なる紙面に映畫欄を設けて映畫の紹介に努め、又幾多の月刊雜誌は、此の映畫の記事に依つて、其の販賣高を增加せんと努力して居ります。

此の映畫の勢力たるや、誠に偉大なるものでありまして、目下の日本の若き靑年男女が、有形無形に映畫に依つて受くる影響は、蓋し甚大なるものがあるのであります。遂には此の影響

が家庭より道徳にまで及び、我が尊き傳統を破壞してスクリーン化しつゝあります。
然らば此の映畫なるものは、何人に依つて製作され、何人に依つて販賣され、而して映畫に依つて收められたる利益に對し、ひそかに微笑んでゐるのは果して何人でありませうか。之れは言ふまでもなくユダヤ人であります。
茲に今からユダヤ人の映畫支配に就て、少しく御紹介することに致しませう。

二、ユダヤ・トラストの劇場占領

そもそも演劇は、ユダヤ人が、民衆に對する趣味の指導及び精神轉換の利器として、彼等が最初から重要視した處でありまして、ユダヤ人に依る劇國の支配と云ふことは今初まつたことでなく、歐米に於ては既に顯著なる事實となつて居ります。卽ちユダヤ人は劇場を支配することに依つて他民族を指導し、同時に之に依つて莫大の黃金を集めつゝあるのであります。
米國に於ける劇界は西暦一八八五年までは、非ユダヤ人の支配下にありましたが、同年以降

漸次にユダヤ人の手に歸しました。

それから以後、ユダヤ人經營者の增加するに伴ひまして、舞臺上の技藝並に劇的精神は非常な加速度を以て墮落し、劇は鑑賞的藝術より遂に商品と化し、同時に觀客も若き人々を本位とするに至りました。從つて天才的名優の古典的優雅なる藝術より肉感的喜劇、滑稽劇が盛んとなり、時代を追うて、ユダヤの宣傳に依るスターがもてはやされる樣になりました。殊に今まで下等なものであり、下品なものであるとされてゐた處の淫蕩極まりなき非道德的な演劇が、無遠慮に演ぜられる樣になりました。

米國に於て、斯くユダヤ人が劇界に進出すると同時に、ユダヤの演劇トラストなるものが企てられ、僅に約十年間にして全米國の重要都市に於ける三十七大劇場を支配し、更に彼等の結束に依り、逐次に非ユダヤ人經營の獨立劇場を侵蝕し、其の獨立劇場の經營難に陷るに乘じユダヤ・トラストは悉く之を買收し盡したのであります。彼の紐育に有名なるオペラハウス、メトロポリタンはオト・カンといふユダヤ人の支配する處でありまして、彼オト・カンは目下米國劇界に於て絕對的勢力を掌握して居るのであります。

三、活動寫眞の出現とユダヤ獨占

斯くて今より三十數年前、活動寫眞なるものが現はるるや、此の拔目ないユダヤ人は劇場支配の延長として、又莫大なる金儲けの材料として、之れに着目した事は申すまでもありません。アメリカ新聞の報ずる處に依ると、一九二一年の頃にニューヨークで活動寫眞館主大會が開かれました時に、其の出席者五百名中、ユダヤ人ならざるものはドクトル・ジェームス・エム・ブリンガム一人であつたと云ふことを同博士の談として傳へて居ります。

現代映畫に就て或る私の友人が非常によく私に說明してくれましたので、以下此の友人の御研究を土臺として御紹介申します。所謂人口に膾炙されて居ります處の映畫會社は悉くユダヤ人經營でありまして、パラマウント會社はユダヤ人アドルフ・ツーカーに依つて經營され、メトロゴールドウィンメーヤーは、ユダヤ人マーカス・リュー、ルイズメーヤー、カールレムール等、又ユナイテッド・アーチスツ社は、ジョセフ・エム・スケンク等のユダヤ人に依つて支配されて居ります。

是等の活動寫眞に著手したユダヤ人は、何れも巨萬の利益を獲得しました。例へばアドルフ・ツーカーは、佛蘭西のユダヤ名優サラ・ベルナール主演の「椿姫」及び「イサベラ女王」並に伊太利のチネス社の大作「クォヴァヂス」の全米興業權を買受けて、數十萬弗の巨利を博しました。そこで此の莫大なる利益の記念として、映畫會社フェーマス・プレーヤースを設立し、友人エル・ラスキー製作會社と合併して、フェーマス・プレーヤース・ラスキーなる會社を設け、ツーカー自ら共の社長となり、ラスキーを副社長として映畫製作機關を確立すると共に、一面にはパラマウント・シアター・チェーンを組織し之を擴大し、映畫劇場支配に成功しました。即ちフェーマス・プレーヤース・ラスキー會社が、世界第一の映畫會社パラマウント・パブリックスの母體なのであります。

斯様な譯でありまして、米國に於てはユダヤ・トラストの進出と共に、一般劇場は皆活動寫眞館に改變され、而もフィルムの製作より切符賣りに至るまで、總べてユダヤ人の獨占となり、更に俳優もユダヤ人ならざるものは、如何に天才があつても所謂スターとなることが出來ないといふ程度にまで進みました。

日本の鐵道省が、特別列車まで仕立てゝ彼れを優遇したに拘らず、彼れが一顧をも與へなかつた處のチャーリー・チャプリンは實にユダヤ人であります。

又日本のフアンをして熱狂せしめ、往來止めの盛況を演ぜしめたダグラス・フェヤバンクス及びメリー・ピックフォードは夫妻共にユダヤ人であります。

其他ロイド、キートン、シトローハイム等何れもユダヤ人でありますし、又監督は例外なしにユダヤ人で有名なるルビッチ、スタンバーグ、グリフィス等何れも然りであります。

此の亞米利加映畫は獨り我が日本を風靡したばかりでなく、歐洲諸文明國より南洋の端まで之を風靡し盡したのであります。

私が先年パリーに於て佛蘭西の映畫を見度いと思つて友人に話した處、どこの映畫館も佛蘭西物でなく矢張り亞米利加映畫でありましたので、私は佛蘭西まで來て米國映畫を見る必要はないと思つて止めたことがありました。

四、トーキー並に我が映畫界

活動寫眞も最近非常な進步を遂げまして、トーキーの時代に入りましたが、此のトーキーは從來の映畫を逐次に驅逐して、今やトーキーならざるものは映畫に非ずといふ位にまで進出して參りました。勿論このトーキーの特長をユダヤ人が見逅す筈がありません。之も今まで同樣全く彼等に依て完全に掌握されました。

目下國際的トーキーとしましては W. E. と R. C. A. 及び Tobis の三種に限られて居りますが、W. E. 式はウェスターン・エレクトリック會社の專賣であり、R. C. A. 式はレヂオ・コーポレーション・オブ・アメリカと稱するヴィクター蓄音器會社の姉妹會社の獨占で、共にユダヤ人の經營に依り全世界に手を伸して居ります。又 Tobis（トービス・クラングフィルム・システム）はトービス會社が、シーメンス及びアルゲマイネの二會社の特許權を結合し、ベルリンに根據を置く新會社を創設したもので、此のトービス會社もシーメンスやアルゲマイネと同樣に和蘭在住の一ユダヤ人の獨占的支配下に置かれてゐます。

従つて今日トーキーに關する限り、其の機械より消耗品に至るまで、總べてユダヤ會社から供給を受け、ユダヤ會社に對し莫大の金を我々は支拂つて居るのであります。

日本に於ては帝都に於ける帝國劇場、邦樂座、大勝館、武藏野館等を初めとし、日本全國殆ど無數に映畫館が設立せられ、又は劇場が映畫館に改造せられましたが、之等の映畫館に於て用ふるフィルムの使用權利金、賃借代より器械に至るまで巨萬の費用は毎日毎夜ユダヤ人に向て支拂はれつゝあるのでありまして、甚しきに至りましては劇場そのものゝ支配權まで、ユダヤ會社に掌握された處もあるといふことであります。

更に又、亞米加利映畫の特色として我々の特に注意すべきは、インターナショナリズムの宣傳と同時に非愛國的の皷吹をなし、國家を否定する如き言動を以て却つて英雄的の誇りを感ぜしむるが如く仕組み、甚しきは帝王の奢侈傲慢に對照して農民の困窮を表はし、又警官の傲慢非常識を巧妙に表はして帝王竝に官憲を呪咀するの觀念を起さしめ、又人道主義を楯に戰禍を誇張して反戰反軍の思想を皷吹し、更に恩義を否定して金錢第一、成功第一を表はしイゴイズム

つて彼等の欲する世界流行を作成し、更に露骨なるものに至つては、ユダヤ民族を以て世界に於ける最も優秀なる神の選民であるとの宣傳を、遠慮なくフィルムに織込んで居るのであります。

然しながら之等映畫の一%は、以上と全く正反對の映畫、卽ち忠君愛國或は家族主義、國家主義のものを作成して民心に投じ、金儲けをすることを怠らないのであります。

以上の事柄は、我々が過去に於て見物した處の各種輸入映畫に就て靜かに考へましたならば其の何れのフィルムが結局如何なる影響を民衆に與へて居るであらうかといふことを、明らかに觀取することが出來ませう。殊に近代日本映畫も、多くは此のユダヤ品の飜譯燒直しであるといふことでありますから、其の影響は更に大きくあります。

斯くて一般民衆は、此のユダヤ・フィルムのテキストに依つて、彼等の思ひの儘に指導されつゝあるのであります。卽ちユダヤ人は、我々日本人より莫大の利益を搾取すると同時に、日本人の風俗より其の精神に至るまでユダヤ化しつゝあるのであります。

此のユダヤ人の資本的日本侵略に就ては、單に此の映畫ばかりでなく蓄音器、自動車、電氣

事業等の方面に、或は完全に或は部分的に、手が伸びて居るのでありますが、果して之等の事に就て承知して居られる人はどの位ありませうか。私は多くの人々が全く之等の事に就て無關心に映畫館に入り、マツダ電燈を點じ、コロンビアやビクターの蓄音機を樂しみ、ペガサスのガソリンを以てシボレーを奔らせたりして居るのであると思ひます。

斯くて我々日本人は、無意識の裡に生活費の何プロセントかを、ユダヤ人に支拂つて居るのであります。

然し之れに就て、考へ方に依つては、我々はユダヤ人のお蔭で安い自動車にも乘れ、ビクターの音を聽くことも出來るのであるから、之に對して多少の金を拂ふのは當然であると、斯樣に考へられる人もありませうが、然しながらユダヤ人の黄金に依る世界支配は前にも申しました通り、ユダヤ人が神より受けたる使命であると同時に彼等の計畫的進出なのであります。

我々日本人には日本人の使命があり、又帝國は自給自足を以て、立國の精神として居るに鑑みますれば、滔々乎として息むことなき彼等の財的進出に對し、單に隨喜の涙を流して歡喜して居ることは果して適當でありませうか。

聞く處に依りますと、世界に於てユダヤ映畫の影響下より解放され、其國獨自の立場より國產映畫を莫大な費用を以て奬勵し、眞の其國獨自の映畫に更生しました國は、ムソリーニの伊太利だけださうであります。

十、ジャズの家元と其の供給

一、ジャズの源泉

近時ジャズが我が國にも大流行を來しまして、青年男女は勿論、無邪氣な小學校の生徒までが口ずさむやうになり、我が國民音樂に非常な影響を與へますと同時に、之を風靡しつゝある觀がありますが、此のジャズなるものゝ起原は、米國の基督教會で、西印度の土人が喜んで歌ふやうに、土人の音樂や歌を、宣教師が取り入れたのが元であるとか申します。

併し現代ジャズの流行は、映畫や豚ダンス同樣、亞米利加ユダヤ人の一事業でありまして、ユダヤ人の組織ある計畫的準備の下に、日々新しいプログラムが世界的に供給されて居るのでありま す。西印度土人の音樂に源を發しました所の此のジャズの音樂的奇聲は、元來猛獸の聲や猿の叫びを、激越な二三の音符で、巧妙に裝ひましたものであり、其の音律の中には、放逸

なる感覺性が多分に盛られてあることは御承知の通りであります。

最初此のジャズが、米國に於きまして、一般國民的音樂として取扱はれました其の最初の試みは、昔の俗謠音樂家でありましたところのユーリアス・ウィッドマルクといふ男によつてなされ、此に一連の紐育ユダヤ人が追從しました。其の中で一番活動したのは、イルビング・ベルリンデといふユダヤ人と、今一人露西亞生れのイストア・ベルリナーといふユダヤ人でありました。

此等ユダヤのジャズ供給者達は、當初同じやうな歌を二ツ三ツのテクストにして供給しましたが、上調子の青年達は、自ら時代の尖端を切らんと、夢中になつて歌ひ初めますと、更に下品な第二のテクストが發行され、次に第三のテクストが流行するといふ具合でありまして、魔窟からは深い意味のないメロデーは、少しく哀調を帶びてひゞき出し、やがて此の限界は破られて、街頭に進出し、更に一般家庭に侵入しました。勿論當時米國の一般家庭ではジャズを下等な音樂として嫌つたのでありますが、次第にジャズの潮は全家庭を侵し、更に遠く海を渡つて、全世界の流行にまで進みました。我が國も現時其の影響下に入りまして、ダンスホールは

申すに及ばず、家庭の音樂に或はラヂオの放送に於てまで、日常ジヤズの音律が、吾々の耳底に響くやうになつたのであります。

二、ジヤズの支配と流行

斯くてジヤズの通俗化と普及に伴ひまして、ユダヤのジヤズ計畫は大當りとなり、米國の某州の如きは、此の俗歌の出版所の八十八パーセントは、トラストを成形して居りますところの七ツのユダヤ音樂出版所に屬し、殘りの二十パーセントは、此のトラストに關係のないユダヤ人に屬して居ると申しますから、ユダヤならざるもの僅に二パーセントといふ譯であります。今米國ジヤズの大家は、先きに映畫の處で申しました紐育の、メトロポリタン、オペラハウスの支配者たるオト・カーンの次男のカーンで、彼は作曲家として又指揮者として、其のユダヤ式天才を發揮し、該方面をリードして居るのであります。

斯様な次第でありますから、我が國もジヤズの侵入に依つて、國民音樂が侵蝕されつゝあるのでありまして、ジヤズ其のものゝ善悪利害は別問題と致しましても、兎に角無邪氣な我が青

年中には、名實共にユダヤ人の吹く笛に踊り、其のタクトの指示の如くに歌ひつゝ、ユダヤ化されて行くもの尠くないことは拒むことが出來ないと思ひます。

歌や音樂や踊りは、人間自然の感情が、其の心琴に觸れて發するものでありますから、各民族各地方各〻違つた特徴を持つて居りまして、殊に音樂は國民性や民族性を如實に表現して居ります。又同一國民に於きましても、亡國には亡國的歌が唱はれ、革命前には革命的歌が聞え、興隆の國に士氣盛んな元氣の滿ちた歌が流行するのであります、從つて近頃我が國に於けるジヤズ、ダンスの流行は、青年が西印度土人的ユダヤ的な、而も放逸的氣分にひたりながら、何時とはなしに、我が獨特の國民精神を消磨されて行くのであります。

ジヤズの本場米國に於きましては、既に心ある米人は、其の流行によりまして、眞の國民的音樂は、次第に姿を沒し、青年は日に增し下等輕薄となり、果ては道德的廢頽を來しつゝあるを嘆じて居りますが、晝夜を問はず浸々呼としておしよするジヤズの勢には抗することが出來ず、唯徒らに慷慨するのみであります。

併し聞く所に依りますと、伊太利のムッソリーニは、ジヤズの流行によつて、伊太利精神の

不純となるを看取し、遂に斷呼として外國ジヤズを嚴禁するに至りました。之に依つて兎に角ユダヤジヤズの侵入は防止されましたが、今度は伊太利製ジヤズが、流行し出したといふことであります。日本でも和製ジヤズが次第に現はれて居りますが、之でジヤズ流行の底力の强さがよく解ると思ひます。

私が斯のやうな御話を致しますと、中には君は舊式で時代の尖端を行くジヤズの味が解らないとか、或はジヤズとはそんなものか、何にもジヤズ位でユダヤ人を攻擊しないでもいゝだらう、君もナチスか、などゝ言はれる人もありましやうが、併しユダヤ人を好むと好まざるとに拘らず、又ジヤズを理解すると否とに拘らず、心靜に以上の事實を考ふる時、何人もユダヤの見えざる支配力の如何に大なるかを感得せざるを得ないでありましやう。我々日本人は、縱令音樂でも歐米人の如く、ユダヤ化さるゝことは決して名譽でも光榮でもないと思ひます、況や國民性に影響する所大なるに於きましては、我が識者は、ジヤズは一部若いものの流行だなどと看過せずに、流行の本源と影響とを認識すべきであろうと思ひます。

十一、ユダヤ人の人口と分布

國際聯盟に於けるユダヤ勢力に驚いて以來、續いて獨逸ナチス團のユダヤ人壓迫から近頃屢〻ユダヤ人のことが、新聞雜誌上などに論議されてゐますが、一體ユダヤ人の人口といふものは、世界にどの位あるのでありませうか。

ユダヤ人は御承知の通り、全世界各地に分散して居つて、人間の住んで居る處でユダヤ人の住んで居ない處はないといふ位に擴がつて居りまして、其の總人口はユダヤ人側の統計によればば千五百四十六萬人といふことであります。

此のユダヤ人側の統計はユダヤ教を奉ずるユダヤ人であつて、ユダヤ人の間ではユダヤ教を奉じないユダヤ人、即ち基督教を奉ずるもの或は回々教に改宗したものはユダヤ人と認めないと云ふことになつて居るのであります。之れは宗教民族たる處の誠に面白い處で、吾々日本人

の考へとは非常に違つてゐるのであります。從つて兩親がユダヤ人であつても、其の子供が基督教に改宗すれば最早やユダヤ人仲間では、之をユダヤ人と稱しないばかりでなく、其の人口の中にも數へられない譯になるのであります。

嘗て米國に於て、一部のユダヤ人が米國人から差別待遇を受けたことを憤慨して『吾々は米國に國籍を有する眞の米國人である。ユダヤ人とは民族の名稱でなく單なる宗教的名稱に過ぎない。然るに米國人が吾々を特殊民族扱ひにするのは怪しからん』など〻自分に都合のよいことを言つて、米國政府に突込んだこともあります。

然しユダヤ人は種族としてはセム族でありまして、人類學上アングロサクソンとは全然其の發生を異にしてゐるのであります。

そこで此のユダヤ教を奉ずる處の眞のユダヤ總人口の、世界分布狀態を表を以て示しますと次の通りであります。

ユダヤ民族大陸分布狀態

大陸名	人口
歐羅巴	一〇、九〇三、八六四
亞細亞	五七〇、五八五
亞米利加	三、五七二、四一九
濠洲	一九、四一五
亞弗利加	三九二、七三六
總計	一五、四五九、〇一九

主なる諸國に於けるユダヤ人口

國名	人口	主要都市	の人口
波蘭	三、七一六、〇一〇	ワルソー	三〇〇、〇〇〇
北米合衆國	三、三〇〇、〇〇〇	紐育	一、五〇〇、〇〇〇
露西亞	二、九七〇、二三四	モスコー	五〇〇、〇〇〇
		キエフ	一四四、五二四
羅馬尼	九五〇、〇〇〇	ブカレスト	四二、〇〇〇
獨逸	五四〇、〇〇〇	伯林	一四二、〇〇〇
洪牙利	四九八、九一三	ブダペスト	二〇三、六八七
墺太利	三五〇、〇〇〇	維納	三〇〇、〇〇〇
英吉利	二九七、〇〇〇	倫敦	一七五、〇〇〇
土耳古	一五八、〇〇〇	君府	六五、〇〇〇
佛蘭西	一五〇、〇〇〇	巴里	六〇、〇〇〇

和蘭	一〇六、四〇九		
伊太利	五七、〇〇〇		
白耳義	四四、〇〇〇	ブラッセル	二〇、〇〇〇
印度	二〇、九八〇		
支那	一、〇〇〇		
日本	一、〇〇〇		

前表以外にユダヤ教を奉じないユダヤ種族卽ち改宗ユダヤ人、混血ユダヤ人等廣義の意味のユダヤ人は更に多くありまして、前表に示した純粹ユダヤ人に之を合算致しますと、世界に約五六千萬人の人口に上るユダヤ人が存在する譯であります。卽ち凡そ吾々日本人と同じ位の人口があるのであります。

ユダヤ人自身から見れば、改宗者はユダヤ人として數へられぬのでありますが、然し吾々が考へますと、たとひ改宗したとしても、ユダヤ人の本質に大なる變化がある譯ではないのでありますから、たとひ昨日までユダヤ教を奉じて居て今日から同教徒になつたとて、肉體的には勿論のこと、其の傳統的の精神、其の民族的の習癖に於ては、俄かにアングロサクソン同樣にな

る譯のものではありますまい。而かもユダヤ人は其の習癖に於て非常に强い爲めに混血ユダヤ人でさへ寧ろユダヤ習癖を濃厚に持つてゐると一般に認められてゐる樣な有樣であります。

近頃ソヴェートロシアに於ては、ユダヤ人でロシア美人を妻君にしてゐる者も尠くない樣でありますが、之れは例外で宗敎上ユダヤ男子は、一切他民族の婦人を娶ることを禁ぜられて居るのであります。但しユダヤ婦人にはユダヤ民族の利益を齎す場合に限つて、異敎徒との結婚を許して居ります。從つてソヴェートロシアの例外を除いては、大體に於て混血ユダヤ人と申すのは、ユダヤ婦人を母とし、非ユダヤ人を父としてゐる者である譯であります。

此點から考へますと、今申しました混血ユダヤ人がユダヤの習癖を濃厚に持つて居ることは尤もな次第で、家庭に於て母たるユダヤ人の敎養を多分に受けますから、自らユダヤ式習癖を持つ譯になります。

是等の事實は決して偶然の結果ではなくして、ユダヤ人がユダヤ式傳統に依り、如何に其の種族を保持する爲め忠實であるかと云ふことを窺ふことが出來ると思ひます。

以上に依つてユダヤ人自ら、ユダヤ人位種族的純潔を保持するものは世界にないと誇つて居

るのも、充分首肯される次第であります。

土耳古のスミルナ及び希臘のサロニカには、回教に改宗したユダヤ人が澤山居りますが、之れを調べて見ますと、回教徒に改宗した以上は、土耳古人でも希臘人でも相手かまはずドシドシ結婚しさうなものですが、ユダヤ人に限りそんなことはないのでありまして、依然として回教ユダヤ人の結婚は、ユダヤ人仲間に限られて居ります。

之等のことを見ても、ユダヤ人がたとひ改宗したとて、他宗教民族と融合した譯ではなく矢張りユダヤ人は依然としてユダヤ人でありまして、改宗したことに依つて單にユダヤ人が此の改宗者に對しユダヤ人として數へないといふに止まつてゐるのであります。從つて吾々がユダヤ人を觀察する時には、ユダヤ人等がユダヤ人として數へる人々ばかりを、ユダヤ人として敎へる事は適當でないのでありまして、改宗ユダヤ人も混血ユダヤ人も、同じくユダヤ人として吾々が觀察する方がより適當と信ずるものであります。

前表に就きまして一寸說明して置き度いことがあります。

大陸別の表を見ますと第一番が歐洲で、第二番目が亞米利加になつてゐます。從つて混血ユダヤ人なども、此に比例して歐米に多いものと見て差支へありません。

次に第二表に於て下の方に都會に於ける人口を示して置きましたが、之れを上の方の其の國のユダヤ人總人口に比べますと、非常に面白い事實が發見されるのであります。

例へば英吉利に於ては二十九萬七千の人口の内で、十七萬五千はロンドンに住んでゐます。佛蘭西に於ては、總人口十五萬の内で六萬はパリに住んで居ります。亞米利加に於ては、三百三十萬の總人口の内の百五十萬はニューヨークに住んでゐます。

四五年前に私がモスコーに參りました時には、モスコーのユダヤ人の總人口は三十萬でありましたが、最近の調査に依ると僅か數年間に二十萬を增加して、唯今モスコーには五十萬のユダヤ人が住んで居ります。

卽ちユダヤ人はどこの國に於ても、決して偏僻な片田舍には住まないで、其の大部分は其の國の首府及び其他の大都會に住んで居るのであります、從つてユダヤ人の活動は人口に比して非常に偉大なものであります。

要するにユダヤ人といふものは、どこの國でも都會集中主義を執てゐるのが統計上の事實であります。

十二、パレスタインに於けるユダヤ人口の消長

以上で世界のユダヤ人と其の分布狀態はよくお解りの事と存じますが、それではユダヤ人の舊本國である處のパレスタインには一體どの位のユダヤ人が居りませうか。之に就て一寸申述べて見度いと存じます。

パレスタインのユダヤ人は人口十五萬八千人であります。現在パレスタインには、回教徒であるアラビア人を初め各種の民族が住んで居りますが、其の合計は凡そ八十八萬七千人でありますます。從てユダヤ國としては其の人口頗る僅少でありますけれど、彼等の世界流浪後の歷史を見ますと非常に增加した譯でありまして、尙ほ年々增加する一方であります。

ユダヤの歷史を顧みますと西曆紀元前一九二〇年、かのモーゼが埃及を脫出し、スエズの地峽を渡つて對岸のシナイ山に參りました時には、約六十萬のユダヤ民族を率ゐて來たと傳へて

居ります。從つて其の當時には隨分盛んな民族であつたと思はれます。

又、ユダヤ人がローマに追はれて世界に流れ出した當時、卽ち西暦一三〇年頃にはパレスタインに、約五六百萬のユダヤ人が居たといふ事が記されて居ります。然し其後パレスタインの人口は非常に減じまして、一一七〇年頃の記錄に依れば、總計僅かに一千五十三名に過ぎなかつたと云ふことであります。

然しながら十九世紀になりまして、ユダヤ人は次第に諸國に於て解放され、ユダヤ精神が勃興すると共にパレスタインに歸還する者が段々と殖えまして、一八九五年には約五萬の人口を有するに至りました。

更に世界大戰の結果、パレスタインが英吉利の委任統治下に入り、ユダヤ人が自由に其の土地で、故國復興運動をやることが出來る樣になりましてから、年々增加致しまして、兎に角今日では前に申しました通り、十五萬八千人の人口を有するに至つた次第であります。

そこで玆に其の增加率を示す處の表を揭げて見ます。之れは最近のものではありませんが、ジェルサレムに於て英國政廳が調査した移民統計であります。

總人口　八八七、〇〇〇
ユダヤ人口　一五八、〇〇〇（總人口ニ對スル比率一割七分五厘）

移民の統計

年度	入國移民數	他出移民數	實際殘留移民數
一九二三年	七、四二〇	三、四六五	三、九五五
一九二四年	一二、八五六	二、〇三七	一〇、八一九
一九二五年	三三、八〇一	二、一五一	三一、六五〇
一九二六年	一三、〇五六	七、三四〇	五、七一六

備考　此等の移民が四十七ヶ國より來れるものにして內波蘭移民五割九分露國移民一割五分を占む

この表に於て入國移民といふのはパレスタインに他國から移つて來たユダヤ人の事でありまして、他出移民といふのはパレスタインを退出したユダヤ人の數を示して居るのであります。

そこで此の二つのものゝ差引は、實際パレスタインに殘留したユダヤ人の數、即ち增加した數を示したものであります。

パレスタインと云ふ處は非常に暑い沙漠の樣な處で、世界各國からユダヤ人が歸還致しますけれども、暑いのに閉口して逃出しさうではないか、從つてパレスタインのユダヤ人の人口は段々に減つて行くのではないか、といふ質問を屢〻受けるのでありますが、然し兎にも角にも統計上の示す通り、ユダヤ移民は年々增加してゐるのでありまして、而もパレスタインに於けるユダヤ人は世界一の出產率を有し、エホバの神の示されたる「產めよ殖えよ」といふ訓へを如實に實行して居りますので、ユダヤ人の人口は年々增加する一方で、歐洲大戰直後六萬人でありましたユダヤ人口が、兎に角目下三倍に近い人口になりつゝあるのであります。

十三、パレスタインは何んな所か

一、パレスタインの位置

それでは一體パレスタインといふ處は、どんな處でありませうか。

パレスタインは小亞細亞の一部でありまして、地圖に示しました通り、スエズの地峽を隔てて埃及と境してゐる國であります、東にはアラビアの沙漠を控へてゐる處でありますから暑いことは暑いのです。それで中部から南の方は、殆んど沙漠地帶で部落も非常に少なく、人口も頗る稀薄であります。中部から北は、土地も相當に肥えて居りますので、人口も段々に稠密になつて參ります。

現在のパレスタインは、ガラリアといふ湖水から流れるジョルダン河及び死海、それより西の方を申すのでありまして、昔ユダヤ民族が神から約束された處のシオンの地と申しますのは、

此のジョルダン河以東の土地、唯今の回教王國トランスジルダンを含んでゐるのでありまして、北は佛蘭西の委任統治國である處のシリア國に境し、西は鷗飛ぶ紺碧の地中海を隔てゝ、歐洲大陸に臨んでゐるのであります。

此の國が、面白いことには亞細亞と阿弗利加と歐羅巴の交叉點に在りまして、昔から大陸橋と呼ばれてゐる處であります。從つて其の地勢上に於て地中海を扼し、スエズの運河を抱いてゐる爲めに、歐洲方面と東洋方面との交通の要點に位して居ります。

其のむかし、交通が船舶のみに依りました時代には、海と運河を控へて居ることは、大切なことでありましたが、航空機の發達した現在に於ては、歐洲方面から小亞細亞を通じて埃及並に支那の新疆方面に進出する爲めに、此のパレスタインは航空路の要點に當りますので、私が彼地に滯在致しました當時、既にカンラン山上には飛行機着陸場が設置された樣な狀況でありまして、三大陸の中間に在るといふことは一層の重要さを加へて參つた次第であります。

パレスタインの面積に就て申し殘しましたが、それは一萬方哩でありまして極めて小さなものであります。

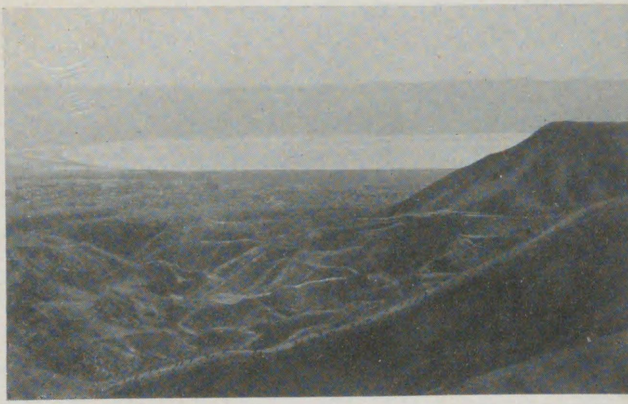
二、ジョルダン河の聖水と死海

パレスタインの地勢は、北方シリアの方面からレバノン山脈が南に走り、此の山脈がジョルダン河及び死海の方面には非常に急峻な斜面をなし、そこに大なる大谷地に形成し、西の方は地中海に向て極めて緩やかな傾斜をしてゐます。

このジョルダン河と申しますのは、北の方から流れて先づガラリア湖に入りますが、このガラリア湖は一名チビリアス湖と申して居ります。チビリアスは其の水面が非常に低く、地中海の水面より約二〇〇米も下にあるのであります。更にこのチビリアスから出たジョルダンの流れは遂に死海に入りますが、死海は地中海の水面より低いこと約四〇〇米でありまして世界最低の水面を有する湖であります。

チビリアス湖は普通の淡水で、水が非常に美しく蒼く澄んで、周圍の山々を其の水面に浮べ、又魚類も澤山棲んでゐますので、湖畔には漁船も多くつながれて居ります。

然るに死海は名の如く所謂死の海で、一つの生物も棲息して居りません。その譯は湖水が非



世界最低の水面を有する死海



キリストが聖者ヨハネより洗禮を受けしジヨルダン河の聖流

常に鹽分を含んで居るからでありまして、鹽分の量が二五％に及んでゐます。從つてジョルダン河を流れて來た小さな貝類などは、湖中に入るや否や直に死滅して、其の貝殼は湖畔に打上げられてゐます。

この二五％の鹽分の中には、單に食鹽のみならずポッタシューム、マグネシューム、硫黄、燐、アスファルトの如き各種の藥品を含んで居りますので、ユダヤ人は旣に大會社を組織して此の死海の水から莫大なる收獲を擧げやうとしてゐます。卽ち露西亞ユダヤ人ネボメイスキー氏は英國人タロック少佐との合資に依つて、昭和二年十一月三十日に九十九年間の期限を以て死海の利權を英國から租借したのであります。

一寸聞いた處に依りますと、死海の水に含む處の各種成分の價額は二千億と唱へられてゐます。

ジョルダン河は其の河谷に沿うて灌木の林が續いてゐますが、その上流チビリアスから落口附近は非常に奇麗であるのに、死海の近くになると水が非常に濁つて不透明になつて居ります。

むかしキリストは聖者ヨハネから此のジョルダン河に於て洗禮を受けたのでありますが、此

のヨハネはジョルダン河畔で蝗と蜂蜜のみを食べて生きてゐたと云ふ事で、キリスト教徒に取ては此の河は所謂聖水として非常に尊いものであります。從てパレスタインに參詣する歐米人は皆一度はジョルダン河に來て其の水を酌み、おみやげとして持歸るのでありますが、利益に拔目のない連中は此の水を壜詰にして參詣者の爲めに賣つてゐるといふ樣な有樣であります。

三、ネーブルと葡萄

パレスタインの山は、日本の山のやうになだらかでなく、槪して岩石から成る突兀たる山々であります。むかしユダヤ國の盛んであつた當時は、所謂「乳流れ蜜滴たる」ところで、到る處綠を以て蔽はれてゐたでありませうが、最近ユダヤ人の移住するまでは全く荒廢して、山といふ山、丘といふ丘、すべて滿洲の土地を見るが如くでありましたが、ユダヤ人が建國運動を始め、歸國するものが增加するに從つて彼方の斜面、此方の谷には橄欖の葉が茂り、海岸近くのエスドレロンの原には、蜜柑やネーブルの林が何哩となく續くやうな有樣になりました。

なほ葡萄はパレスタインの特產品でありまして、一駄一房といふやうな美事なるものが栽培

され、從つてヤッファ港の近くのレオン・レ・チオンといふ處には、世界一と稱する葡萄酒釀造の大工場が設けられてありまして、此の葡萄酒が地中海を越へてフランスに入り、レッテルを貼られてフランスの葡萄酒として更に世界中から賞美されてゐる樣な次第であります。

葡萄を栽培する處を見ると、日本の樣に棚や木に這はせるのでなく、全く石コロの上に這はせて置きます。私は餘り不思議なので何故棚を作らないのかと訊ねますと、「葡萄は石を好む」と申しました、非常に面白い答へでは御座いませんか。日本の樣な雨量の多い土地で普通の葡萄を這はせましたら皆腐つてしまふでせうが、パレスタインは一般に岩石地であり雨量が少ないのですから、葡萄の好むまゝに任して置けばよいのでありませう。

四、パレスタインは亞熱帶地

パレスタインは御想像になれば解ります通り、南は沙漠であり東は山を隔てゝアラビアの沙漠に臨んでゐるのでありますから非常に暑い事は申すまでもなく、殊にジョルダン河谷は十二月一月の眞冬でも我國の夏の樣でありまして、三四月になると其の溫度は既に華氏一〇〇度以

上に達するのであります。

然しレバノン山の西の斜面は、地中海の海風に直接洗はれてゐますので、氣候は非常に緩和され、決して堪え得られない様な暑さではありません。從つて昔からパレスタインの文化は山脈の頂に擴がる首府ジェルサレムを中心として西北地區に發達して居ります。

海岸方面には有名なヤッファ、ハイファなどの大きな港がありますが、此の附近には方々に以前濕地がありまして、所謂瘴癘の氣を發し、傳染病なども隨分烈しく、アレンビイ將軍の英軍が、スエズ運河を渡つて埃及から北上した時には、其軍隊が傳染病のため、甚しく惱まされたといふこともありましたが、唯今では此の濕地附近にユーカリ樹を植えて濕地開拓をしましたので瘴癘の氣も次第に失せまして、目下は昔の樣に傳染病も流行しないのであります。

ユーカリ樹をユダヤ人は「ユダヤ木」と呼んで居りますが、ユダヤ人の移住と共に之をオーストラリアから取寄せたもので、此の木は建築材料として適當であり、又ユーカリ油を採取するばかりでなく、此の木を濕地に植えることに依つて、不思議に土地を乾燥させることが出來るのであります。

元來橄欖山を持つパレスタインは橄欖の樹が名物でありまして、ゲッセマイネの園には、キリストが最後の晩餐の前夜ペテロと共に腰掛けたといふ、非常に大きな古い橄欖の樹が今尚ほ綠を滴らして居ります。橄欖の實の鹽漬はパレスタイン地方では殆んど每回の食膳に上せられまして、彼の地の人々は丁度日本人が梅干を食べる樣にこの橄欖の實を嗜むのであります。

五、諸國の興亡を物語る聖都ジェルサレム

パレスタインの首府ジェルサレムはレパノン山脈の最高處にあつて海拔一五〇〇呎、從つて冬期に於ては每年一二回の雪を見る位であるから、我々が想像する程に暑くはありません。人口は約六萬位で、所謂舊市街たるジェルサレム城は大城壁をめぐらし、其内部は石とコンクリートで固めた住宅が區別なく連なり、道幅は僅かに二三間で、道路網は非常に不正に走つてゐます。遠くから之を望むと、一隅には昔のローマの古城を偲ばせる樣なダビテの城砦が聳え、又一方にはソロモンの殿堂趾に高く回敎大寺院が空を摩して居ります。

此の舊市街の各方面には、昔からの有名な黃金門やシオン門などがありまして、市街に通じ

て居ります。市街の中はキリスト教區、回教區、ユダヤ區と三つに區分されてゐまして、這入つて見ますと、如何にも古びた氣分が致します。この舊市街に續いて城外に市街が段々發達して歐洲式の立派な街衢を成してゐます。

我々外國人は舊市街の方は單に見物に行くと云ふに止まり、外國人のホテルも大きな店舗も皆新市街の方にあります。

ジェルサレムは世界三大宗教の中心地だけありまして、歐米各國の代表的キリスト教寺院が到る處に設けられ、又回教の塔も各所に聳えて居ります。從つてジェルサレムは聖鐘の響きに明けて聖鐘の音に暮れ、其間に一日數回に亙る回教僧の讃禮の時刻を告ぐる朗々たる祈りの聲が空に聳ゆる塔から響き渡ります。

キリスト教及び回教に比べると一番の本元であつたユダヤ教の方は甚だ振はないで、數千年を經たシナゴーグ卽ちユダヤ教寺院は殘つて居りますが、回教、キリスト教の如く大規模な大伽藍は一つもありません。蓋し之れは肝腎のユダヤ民族が皆國を棄てゝ世界に流浪してしまつたからで、シナゴーグの廢頽して居るのは卽ちユダヤ民族の廢頽を物語つて居るのであつて止



ジエルサレム郊外にあるゲツセマイネの園にして中央の寺院にはマリヤの墓あり，左方の山はキリストの昇天せりといふカンラン山



ゲツセマイネの園にある橄欖の老樹にしてキリストが最後の晩餐の前夜ペテロと共に此の樹に腰掛けて愁ひ嘆きし所

むを得ない事と思ひます。

更に又一方には、ニコライ堂の様なロシア正教の大伽藍が、空高く其の十字架を輝して居りますが、其の帝國が滅亡して無神論のソヴェートロシアになつてからは、參詣者もなくロシアの坊さんが寂しく此の大伽藍を守つてゐるだけでありまして、恐らく其の荒廢するのも近い內でありませう。卽ちジェルサレムの各種宗教の建物は結局之を守る國の人々の興亡を如實に物語つて居るものと深く感ずるのであります。

七、交通と土着民

パレスタインの交通機關は、ポートサイドに連接するカンタラ驛からジェルサレムに、ジェルサレムからハイファを經てシリアのダマスクに通ずる英國の國有鐵道がありますが、此の鐵道は運賃も相當に高く、又時間も頻繁でありませんので、旅行者に取りましては餘り便利ではありません。其代りパレスタインは道路が非常に發達して居りまして、而かも其の道路たるや坦々砥の如き道でありますから到る處に自動車を通じ、外國人の國內旅行者は主として自動車

に依りこの道路網を利用して居ります。

元來英國の殖民政策は先づ道路よりといふので、どこに參りましても第一に道路を建設し近くは香港に於ても新嘉坡に於ても、何處に行つても道路が非常によく、旅行者が自動車を以て之をドライヴする事は一の快き名物となつてゐる様な次第でありますが、パレスタインは此の道路に就て非常な關心を持つ處の英國の委任統治下に居り、又一方ユダヤの諸團體かパレスタインの道路建設に莫大なる金を費すので、往昔キリストがナザレから九十八折なる山路を炎天下に喘ぎながらジェルサレムに參詣に來たことも、それこそ今は昔の物語りでありまして、急峻なる山また山の此の道も、今は吾々外國人が快きスピードを以てドライヴする様な狀態になつて居ります。

我々旅行者が旅行する時に、山の高い處から各所に點在する部落を眺めますと、全く二様の形式が目に映じます。

一つはコンクリートの四角い鍋を伏せた様な屋根を持つ建物が立列んで、而も周圍に一本の樹木をも見ることも出來ない部落と、一つはヨーロッパ式の普通の傾斜を持つ屋根の建物から

成る部落で、其の周りには青々とした植物の繁茂してゐる部落とを見出すのでありますが、前者はアラビア人の部落、後者はユダヤ人の村々であります。

ユダヤ人はパレスタインに最近移住し初めてから橄欖、ユーカリ、オレンヂ、バナナ、椰子等の木を初め、各種の植物を植える事に努めてゐますが、アラビア人は樹木に對しては全く無頓着で、折角ユダヤ人の植えた緑の木を遠慮なく伐り倒して燃料にしてしまふので、最近では盗伐者に對する嚴重な法律を設けて之を防止してゐる有様であります。

ユダヤ人には極く少數ではありますが、昔からパレスタインに定住して流浪しなかつたものもありますが、之等のユダヤ人は所謂宗敎的ユダヤ人でありまして、其の風俗も古代其のまゝの有様を保つてゐて、丁度バイブルに書いてあるキリストの様な裝ひをして歩いてゐます。然しユダヤ人の大部分は歐羅巴式の近代風をしてゐて何等一般の西洋人と變る所はありません。

アラビア人は、アラブ獨特の風俗をしてゐて、男子は日本の維新時代のダンブクロの様な袴を穿ち、其の上に荒い棒縞などの上着を着まして、高級なものになりますと、前の帶に短劍をはさみ、或は銃を肩から掛け、魁偉なる容貌に立派な口髯を生やし、素晴らしいアラビア馬に

跨つて往來して居ります。

歐羅巴では聲の大きいのは野蠻人だと申すさうでありますが、アラビア人の聲の大きいことは全く素晴らしいもので、ホテルに寢てゐても朝、アラビア人の物賣りの聲に目が覺めるほどであります。又アラブのバザーなどに行きますと、實に凄しい聲で互に話してゐるのを、知らぬ者は何か大喧嘩でもしてゐるのではないかと思ふ程であります。

曩にアラブは容貌魁偉だと申しましたが、一般に顏の輪廓が立派で、特に目が非常に大きく、アラビア人に接して後、一般歐羅巴、特に日本人などの顏を見ると、一層目の貧弱なのが目につく樣な氣が致します。アラブの婦人は之れ亦、頗る體格が立派で、金があるほど金の腕輪や耳飾りなどをゴテ〳〵とつけ、それも一つや二つでなく幾つもつけてゐるので如何にもコッテリしてゐて、吾々から見ると却つて不快な位であります。

尙パレスタインには種々なる遊牧民が住んでゐまして中には今でも火を絕對に用ゐず、肉などは一旦石を燒き、此の燒石の上で燒肉を作つて食べるといふ樣な未開の民族もありまして、或る歐洲の學者はパレスタインは人種的に大なる展覽會場であると評したくらいであります。

十四、共産主義とユダヤ民族

一、眞の共産はパレスタインに見る

共産主義と申しますと、直ぐ吾々は現在のソビエート聯邦を連想致しますが、共産主義の世界的宣傳は、勿論ソビエートロシアの手に依つて行はれたことは申すまでもありません。然し共産主義そのものゝ根元を探りますと、其の發生はユダヤ民族から出發して居ります。

現在のソビェート聯邦に於ては、國外に對する宣傳には、勿論理論的理想的共産主義を說き、其の實際を知らざる愚民をして憧憬せしむる樣なパラダイスを述べて居りますが、其の實行に到りましては、既にレニンの時代に於て失敗し、現在は共産主義國家と謂ふよりは、寧ろ國家大資本主義を實行して居ることは既に御承知の事と思ひます。

然らば共産主義の實際に實行されてゐる處は世界中のどこにもないかと云ふと、それはユダ

ヤ國たるパレスタインに於て、眞の理想的共産を見ることが出來るのであります。ジェルサレムに在る、シオン團本部は、パレスタインの土地を全世界ユダヤ人の共有財産として逐次に買收し、パレスタインを實質的にユダヤ民族の所有たらしめんと計畫し、着々此の厖大なる企圖を實現しつゝあります。卽ちパレスタインは英國政府の委任統治下にありますが、其の英國の羈絆を脫して、將來不羈獨立の國となることは、仲々困難な事でありますので、ユダヤ人は形式は兎に角として、ユダヤの金力を以て、パレスタインの所有權をユダヤの手に收めてしまはうといふ腹なのであります。

パレスタインの總面積二千萬ドナム餘（一ドナムは日本の約一反に相當す）卽ち一萬方哩でありますが、此國の南方はシナイ沙漠に連接する爲めに、全然不毛の地及び開墾に莫大の費用と努力とを要する土地が、全面積の約四割卽ち八百萬ドナムを占めて居ります。從つて開墾すべき土地は千二百ドナムといふ計算になりますが、其内の既開墾地は二百五十萬ドナムで、全面積の二割五分に當ります。そして此の開墾し得べき土地の大部分は、昔から土着してゐるアラビア人の所有に屬して居りますので、ユダヤ人は此のアラビヤ人から土地の買占めをやつて居る

のであります。既にユダヤ民族が買占めました面積は、百十萬ドナム餘でありまして、而も其の土地は、パレスタイン中最も豐饒肥沃の地であり、又最も重要なる部分であります。

シオン園は此の買收地を開發して、文化的の施設を施し、そこに世界中から來る處のユダヤ移民を移植して居ります。現在ユダヤ移民村は既に百二十數個出現するに至りました。中には既に村の形を脫して大市街を成して居るものも數個あります。

ヤッファの港續きにテル・アビブといふ市がありますが、此の市の如きは人口約四萬餘、現代式の建築が立ち竝び、綠の熱帶植物が市街を包み、夜は燦として輝く電燈の光りが、地中海の滑らかな水に反映しまして、ユダヤ民族の繁榮を誇つて居るかに眺められます。

シオン團の綱領として「ユダヤ建國の基礎は農にあり」と示して居りますが、曩に申しました百數十個の移民村は市街を成したものは別として、其他は主として所謂農村であります。然しながら此のユダヤの村々は、普道の農村と違ひまして、其の組織に於て特殊の形態を具へて居ります。

二、特種なるユダヤの村々

是等のユダヤ農村は大體に於て三種類に區分されます。即ち協同村（コーペラティーフ）個人村（インディウドアーリヌイ又はチャストヌイ）共產村（コンムニー）であります。

協同村と申しますのは、三種の內一番大きい組織を持つ大農村でありまして、家庭生活は普通の通り一家每に營んで居りますが、農場、農具、工場、器械及び原料等は全部この村の共有で村全體が協力して事業に從事し、其の利益は各〻各戶每に分配されることになつて居ります。此の協同村構成の趣旨として彼等が述べて居る處を聞きますと

『農工業擴張の可能を得、又正當なる必需品を確保する爲めには大集團をなすに限る』

と申して居ります。

此の協同村は、後に述べます處の個人村と共產村との丁度中間に位する組織を持つ處のものであります。目下パレスタインには此の協同大農村が十三個村出來て居ります。

次に個人村に就て申上げますと、個人村は三種の村の內で一番その數が多く約九十個村ばか

りあります。其の組織は其の名稱の示す通り、殆んど我國の一般農村と大差ありません。卽ち各家族が各獨立して生業を營み、思ひ〳〵の稼業に從事してゐるのであります。然しながら此の個人村にもユダヤ人の協同團結の美風がよく現はれて居りまして、村には必要な委員を設け、生産物を販賣する際、或は種子や肥料などを購入する際には、皆協同して委員の手に依つて有利に行なつて居ります。

次に共産村でありますが、吾々は此の共産村に於て眞の共産主義を發見することが出來るのであります。此の共産村組織はロシアの共産黨などよりは、ずつと前に旣に十九世紀末にパレスタインに出來てゐたものでありまして、其の趣意とする處は、彼等の書きものに依りますと

『團員の必要を充實する方針を以て、相互協力することを主義とし、團員各自は親交を基礎とし、社會的に一大家族を構成するにあり』

と述べて居ります。

三、共産村の實況

私はパレスタイン滯在中、是等ユダヤの多くの村々を見ましたが、特に此の共産村に就ては、非常に興味多く感じたのであります。

共産村には大きい村といふものは一つもありません。共産村に限つて必ず大きくても二三百の人口を有する小部落に過ぎません。總てがソヴェート（相談）でゆくのですから、他の村と違つて村長とか助役とか云ふものは勿論ありません。卽ち凡てが自由であり平等である譯であります。然しながら面白いことには、最も年長古參の人が全村の首長として、實際には村長の樣なことをやつて全村を統率してゐるのであります。之れを彼等は古參者（スタールシー）と呼んで居ります。

私が有名なエンハロード共産村に參りますと、共産村の人々が非常に喜んで私の周圍に集りました。そこで村の模樣を種々と訊ねますと、それではスタルシーを呼んで來ますからといふので、待つて居りますと、六十歲位の顎髯の白くなつた如何にも人の好ささうな、而も如何に

も物の解りさうな老人が參りました。此のスタルシーは非常に喜んで村の隅から隅まで私を案内し、種々說明して呉れました。又村の人々は恰も娑婆からお出でになつた珍客をお迎へしたといふ喜びで私を歡迎して呉れました。

私が玆で先づ第一に考へましたことは、眞の共產主義であるからして村長のないことは何の不思議もありませんが、其の代りにスタルシーが居て矢張り村の人々を統率して行くのであるといふことを、誠に面白く感じました。如何にソヴェートであらうと多くの人間が一所に集つて一定の主義の下に進んで行く爲めには、矢張り統治者が入用なのは自然であると見える、統治者なくして如何にソヴェートであらうとも之を實行することは不可能である、若しも今この村からこのスタルシーを除いたならば、理想的共產は直に異端者を出して翌日から破壞するのであらう、と斯樣に感じました。

この村では共產村の名の通り、土地も家屋も家畜も、農具も器械も種子も、總て村全體の共有財產でありまして、村民は各〻其の能力に應じて仕事を致します。

例へば牧畜の心得あるものは、牛馬の飼育に從ひ、牛乳を搾つたり乾酪を造つたりします。

又農夫は鋤鍬を擔いで、朝から菜園の手入れや、麥畑の耕作に從ひ、又小川の畔に行つて見ますと粉挽場で村民の爲めに麥粉を製造してゐますし、其の一方の工場では村民の爲めに靴屋が靴を造つてゐます。なほ村の設備として病院、小學校、幼稚園、育兒所、洗濯所、炊事所、遊戲物等、凡そ人間生活に必要なる一切の施設が施されて居ます。

村民は衣食住一切を村から支給されるのでありますから、村には金錢の必要は絕對になく、村民は一人として一文の金も持つて居りません。然し共産村を一歩出ますと共産ではありませんから、そこに金錢の必要も起ります。又村としても外から必要なものを買ひ、又村の農産物は外に賣出されますからして、そこにも金錢の必要が起りますが、此の金錢は一切、村の會計係が保管して居りまして、必要の都度之を出納して居るのであります。

村の各施設を巡つて視ますと、そこには當番割の札が貼りつけてありまして、某女は幾日炊事當番であり、其の翌日は洗濯當番であるといふ樣にキチンと割當てが決められ、之に依つて皆不平なく働いて居るのであります。朝の出勤は午前七時でありまして、夕方は特別の場所を除き午後四時まで勤務して居ります。

吾々が見て非常に不自由だと感じたのは、第一に大人でも小供でも一片のパン、一個の果物に至るまで、村の支給を待つのでありまして、吾々が自分の家で、今日はお萩を作つて食べ度いとか或は洋菓子を食べ度いとか云ふ様に、勝手に自分の嗜好に應じて食慾を滿足させると云ふ様なことは不可能であります。又衣類にしましても、五十歳の婆さんにも、十七八歳の女盛りの娘さんにも皆同じ樣な着物を着せてゐますから、目下の流行がどうの、あの柄がいゝの、私には此の方が似合ふのなどゝ、衣類や裝飾の選り好みをすることは絕對に出來ないのでありまして、若しもそれを敢て實行しやうと思へば共產は直に破壞されてしまふのであります。

この有様はチョット軍隊生活によく似て居りまして、卽ち一般兵卒は軍隊より支給される衣服を着、支給される食物を食べ、勝手に衣食の選擇をすることは出來ないことになつて居りますが、然し軍隊に於ては、金錢も持たせ、酒保を開いて兵卒の嗜好に投ずる様に努めて居り、又日曜日には外出をして任意に自分の欲するまゝに求めることが出來ます。この意味から云ふと共產村の生活は、少くも衣食に於て絕對に平等であることそのことが、絕對の不自由を强制して居る譯であります。

然し夫婦の別だけは確實に認めてゐるのでありまして、夫婦者だけの獨立した立派なアパートが出來てゐます。この夫婦生活に於ても、共產主義の氣分が現はれて居りまして、子供が生れても其の夫婦の居室で育てることが出來ません。子供は別に育兒所がありまして、そこに收容し、母たる婦人が交互に各育兒所に勤務するのであります。そして兩親は如何なることがあつても、其の育兒所から其の子供を連れて來て、自分達の部屋に泊めることは嚴禁されて居ります。卽ち子供は村の協同の子供であつて兩親の子供ではないと云ふ意味でありませう。でありますから兩親達は晝休みや或は仕事が終つた夕方、自分の家に歸る時に育兒所に寄つて、自分の子を抱いたりあやしたりするのが關の山であります。

育兒所は仲々よく設備が出來てゐて、而もそれが年齡每に棟が區分され、或る棟に這入ると恰度三歲位の子供が、何人も何人も網寢臺の上に入れられて日光浴をして居ります。次の棟に行きますとスタルシーが之れは五歲の子供が這入つて居りますと說明して吳れます。成る程五歲の子供があちらにもこちらにも澤山ゐて、それを當番婦人が何くれとなく世話を燒いて居ります。食物も子供等の食事は大人とは全然違ひ別に炊餐をして居ります。兎に角餘程養育法を

考へてゐると見えて、どの子供も非常に丸々と肥えて弱さうな子は一人も見えませんでした。然しながら生れるや否や、斯ういふ生活をさせるのでありますから、兩親が其の人間自然の愛情を發露して、其愛情の内に子供を抱擁し、貴重なる傳統を子供に傳へ、それ〴〵違つた家庭の特徴に依つて、子供を躾つけてゆくことは絶對に不可能であります。卽ち此の子供の養育法は兩親の煩瑣を省き、充分なる勞働時間を與へるには非常に好都合でありますが、實際に見ますと、全く人間の自然の性情及び兩親の使命を沒却したものでありまして、惡く云ふならば吾々が鷄や兎を飼つてゆくのと餘り大差はないのであります。

この場合も亦、兩親の中に若し自己の高調せる愛に囚はれて、其愛兒を自己の宿舍に連れ歸り、或は勞働時間を子供の爲めに缺く樣なことがあつた際には、直に共產は破壞されるのであります。

この村に學校はありますが、其の目的たるや、將來共產村に於て働くに必要なる處の人間を作ればよいのでありますから、高遠なる學理などは全然必要がありません。農業及び牧畜に關することを段々と敎育し、之れを實習させてゆくに止まつてゐます。

それでありますから農園も、之れは七八歳の子供の農園、之れは十歳前後の子供の農園と、年齢に應じたる農園が出來てゐて、そこには種々の草花を栽培したり、鷄などを飼育して居ります。從つて成長して青年になりましても、特に其の希望に應じて專門の學問をさせるといふ樣なことは一切ありません。若し自分は勉强して偉い學者にならうとか、金持にならうとかいふ野心を起したり、或は他の者より偉い人間にならうといふ競爭心を起して、特別の勉强をする樣なものがあつたならば、勿論之れは共產主義の破壞でありまして、此の共產村を追出されるより仕方がないのであります。

以上申上げました通り共產村に於ては特に法律的束縛がなく、自由であり平等でありますけれども、其の實際生活上に現はるゝ處は、如何に不自由であり如何に不平等でありませうか。勿論、衣食住は平等であり、勞働も平等であり、尙ほ總べてが如何にも平等のやうにも思へますけれども、更に一步を進めて考へて見ますと、第一に人間が一人一人すべて不平等に出來てゐる處に持つて來て、平等を强ふるのでありますから、結局は不平等の結果を產むのでありまして、例へば五の力を持つてゐるものも八時間働き、十の力を持つてゐる者も八時間働く。

甘いもの丶好きなものも、辛いものも好きなものも平等に同じものを食べさせる。嗜好上より言ふならば甘いもの丶好きなものには甘いものを與へ、辛いもの丶好きなものには辛いものを與へるのが、嗜好上の本當の平等でありませう。又若い娘は之れに相應しい著物、お婆さんはお婆さんらしい着物を着る處に平等がありませう。六十歳のお婆さんの着る様な着物を十七八の娘さんに着せるといふことは、縞柄や反物の値段から言へば平等でありませうが、人間の本質から申しましたならば非常な不平等なことだと私は思ひます。

理想的共産主義は其の名に於ては實に自由であり平等であり、誠に美しい形式に思はれますが、其の實際に於ては非常なる不自由不平等を堪へなければなりませんので、少くも私には堪へ得られないものと思ひました。

我國でも此の共産主義に心醉し、治安維持法に觸れてまでも共産天國の實現に沒頭して居る多くの人々が、日に增し增加して居りますが、是等の人々の様子を見ますと、多くは規律節制を厭ひ、專制を絕對の敵として居りますが、斯くの如き人々には、パレスタインの共産主義生活などは半日でも出來るものではありません。卽ちスタルシーの統制に服し、村の掟を守り、

朝は氣分がよからうが惡からうが、病氣でない限りは朝七時から夕方の勞働時間終了を告ぐる村の鐘の響くまで勞働に服して働かねばなりません。

日本の一部の人々の考へて居ります共產主義天國の、眞の有樣は斯樣なものであります。

昔、お釋迦樣は平等卽不平等と申されましたが、經濟的に於て叉形而上からの平等は不平等なる結果を招來するのでありまして、規律であるとか節制であるとか云ふ絆羈を脫して自由を求め樣としても人間社會の集團生活に於ては結局無制限の自由といふものはあり得ないのでありまして、一部の自由を獲得せんとすれば、共產村の如く他の或る不自由を忍ばねばならぬといふことになるのではないでせうか。

但し放縱を以て自由と心得て居り、無秩序を以て平等と心得て居る連中には、此の自由平等の意味が判らぬと同時に、斯くいふ人々に依つて共產パラダイスの出現などゝ云ふことは、到底夢想だも及ばぬことであると思はれます。

私がパレスタイン滯在中に、或る獨逸の學者が此の共產村を見まして

『このユダヤの共產村こそ、實に世界唯一の理想的共產の實現であると同時に、之を實行し

つゝあるユダヤ民族には唯〻敬服の外はない。之れは宗教的觀念の特に深いユダヤ民族にして初めて爲し得る處である』

と感嘆しましたが、私も全く其通りと思ひます。特に我々日本人の樣に競爭心が強く、負けず嫌ひで、就中宗教的觀念のないものには、此共產の出現が出來る筈は絕對にないと思ひます。

このユダヤ共產村の人々を見ますと、多くは露西亞や波蘭、或は羅馬尼あたりから來た極めて貧乏な人々でありまして、其の中にユダヤ人の中流以上の人物は、一人も發見することは出來ないのであります。私はユダヤ人の相當な人々に對して

『あなた方も共產村を組織し、共產主義をやつたらどうだ』

と冗談半分に申しましたらば、其の人々は

『我々は兎も角も食ふに困る譯ではなし、他から今壓迫を受けてゐる譯ではなし、何を苦しんであんな窮屈な共產生活をする必要がありませう。實際共產生活に入つてゐるもので、中流以上のものは一人もありません』

と答へました。

そこで我々としては、此の言葉を大いに味はねばならぬと思ふのであります。私は考へました、要するに此の共産生活に甘んじ得る爲めには次の様な條件が必要であると。

一、貧困で生活の保障のないこと

二、他民族の强烈なる壓迫あること

三、宗教心の熱烈なること

といふ三つの條件です。此の三つが結びつきまして、初めて共産村を無事に組織してゆく處の資格が出來るのであります。

ユダヤ共産村の人々は、今まで露西亞や波蘭に於て非常な壓迫を受け、而も非常に貧乏でありました。從つて彼等は、他民族の壓迫なく、其の日が無事に過ごせて、而も水入らずにユダヤ人だけが集つて、食ふに不自由なく仲よく心ゆくばかりエホバ（天帝）を仰いで憧がれの有難い聖地（パレスタイン）に暮らすことが出來ましたならば如何に幸福であらう。それさへ出來たならば他に望みはない、自分はもう滿足である、といふ考へを持つたユダヤ人の中の極めて特殊なる人々のみが此の共産村を永遠に續けて行き得るのであるといふことを吾々は考へねばなりません。

又、此の共產村の眞狀を見ますと、共產生活と云ふものは現代文化の生活ではありません、寧ろ原始的な古代生活を髣髴たらしむるものでありまして、共產を以て進步と考へて居る樣な人々は飛んでもない誤りであると私は思ふのであります。

故に他人に共產を强ふることは、人間の獨創力を閉込めて、人間社會の文化的進展を遮斷することでありまして、結局人間生活の去勢をやることではないでせうか。

尙又、此の共產村はパレスタインに約三十個ばかりありますが、何れも二百五十人以下の小農村でありまして、大きいものは一つもありません。之れは共產なるものが大きい範圍に行ふことの困難なる實證であると思ひます。

前にも申しました通り、共產の唱ふる所謂自由平等を確保して行く爲めには、之を破壞しない樣に非常なる力が必要であります。

人間は慾の塊りでありますから、斯ういふことを致し度い、あゝいふものを見度い、何が食べたい何が嫌ひだと個人々々に依て勝手氣儘な慾望を働かして居ります。此の勝手氣儘をさせずに、一定の主義方針のもとに大衆を動かしてゆくためには、そこに非常なる力、卽ち名目は

法律とか規則とか云はないまでも、嚴重なる掟が必要であり、此の掟を守らせるだけの權力が必要であります。

茲に於てか、共産の實行の爲めには、最も大なる專制が必要となつて來るのであります。何と皮肉なことではありませんか。

私は『共産は專制なくしては出來ない』といふことを確信して居ります。

よく人々がソヴェート露西亞を見て、其の主義に悖る處の專制を攻撃する人がありますが、之れは攻擊するものが無理なのでありまして、露西亞の如き共産主義の國家こそ、專制が必要なのであります。今の露西亞から專制を除いたならば、それはソヴェート露西亞崩壞の時期でありませう。

故に我が帝國の如き秩序ある統制を嫌つて、共産主義に這入らうとするものは、眞の自由を逃れて專制の桎梏下に入るものでなくして何でありませう。

十五、ユダヤ人のパレスタイン移動より ユダヤ王國滅亡まで

一、メソポタミヤ地方よりカナン地方へ移動

ユダヤ人は一體西洋人でありませうか、それとも東洋人でありませうか。日本では恐らく一般に英國人や獨逸人の様に、所謂西洋人だと考へられてゐるのでありますが、實は東洋人であります。

人種から申せば白皙人種の一であるセム種に屬し、唯今のアラビヤ人や埃及人と同種族でありまして、アングロサクソンやラテン民族とは違うのであります。

このユダヤ民族と云ふのは、今から約四千年の昔まで、今のメソポタミア附近に遊牧して居た民族でありまして、彼等は其の當時からユダヤ教の神たる上帝(エホバ)を崇拜する處のユダヤ一神教を固信して居りました。

然し其の當時、附近にはユダヤ人ばかりでなく他の多くの民族も住んで居りまして、ユダヤ人以外の人々は、一神教徒ではなく多神教であつた爲めに、ユダヤ人は之等の民族から常に壓迫を受けて居たのであります。

そこで當時の族長アブラハムは、一神教を奉ずる自由なる天地を求めながら、全族を引連れまして、段々西南に下つてユーフラット河を渉り、次第に西方に向つて遊牧し、遂にカナンの地に移住したのであります。之れが凡そ西暦紀元前二千年の昔のことであります。

カナンの地と申しますのは卽ち今のパレスタインの土地を云ふのであります。

處が不幸なことには、カナン地方の住民も亦日月星辰を崇める處のバール教の信者でありました爲めに、互に信教的反感から、之等の民族とユダヤ人との爭鬪は、常に絕えなかつたのであります。

之れで見ますと云ふと、ユダヤ人は實に不思議な運命を持つた民族でありまして、其の開闢の歷史からして、旣に宗教的であると同時に、流浪的であり又爭鬪的でありました。

此の開闢以來常に周圍から壓迫を受け、從つて鬪爭的であつたと云ふことは、要するに彼等

のエホバを神とするユダヤ教の固信に依るものでありまして、今日に於てユダヤ人たるものが、ユダヤ教を捨てると、直にユダヤ人の仲間から其の族籍を除かれると云ふのも、無理からぬ事と思ひます。卽ちユダヤ人はユダヤ教あつてのユダヤ人でありまして、ユダヤの歴史竝に現在及び將來も、ユダヤはユダヤ教と運命を共にするものでありませう。

ユダヤ民族の歷史は、宗教的歷史卽ちユダヤ教の歷史でありまして、ユダヤ教を除外して、ユダヤ民族を觀察することは全く出來ないことであります。

二、埃及への移住と埃及脫出

さてカナンの地に、一族を引連れて參りました族長アブラハムの次に立つたものは、イザークであります。イザークの次にはヤコブと云ふ人が族長の位を繼ぎましたが、此のヤコブの多くの子供の中の一番末子に當るヨセフは、特に父ヤコブに愛せられた爲めに、其の兄弟達から非常なる憎しみを受けまして、一日ヨセフは彼等から井戶に投げ込まれたのであります。

然るにヨセフは幸ひにも通りかゝりの旅人に救はれまして埃及に賣られました。ヨセフは非

常に賢明な人でありましたから、埃及に於て埃及王の信任を受け、次第に出世を致しまして遂に埃及宰相の地位に就くやうになりました。

そこでヨセフは自分の故國を偲んでパレスタインに歸つて見ますと、意外にもユダヤ人等は多神教徒から非常な壓迫を受けて苦しんで居りましたので、ヨセフは全ユダヤ民族を連れて埃及に歸りました。そして埃及王の許しを得て、ナイル河口のゴーゼンと云ふ處に彼等を居住せしめました。玆に於てユダヤ民族一同は、洋々たるナイル河畔に於て約二百年の間、心ゆくばかりヱホバの神を崇めつゝ平和なる生活を續けたのであります。

然るにユダヤ人の才能は、今や埃及に於てあちこちに頭角を現はし、一の隱然たる勢力を形づくるに至りました。勿論埃及人はユダヤ教徒でありませんから、斯うなるとユダヤ人に對して非常なる不滿を感じ、ユダヤ人の信仰の上に大なる束縛を加へました。從つてユダヤ人は埃及に對し段々反感の念を抱き初めたのであります。

恰度その時分に、埃及王が西方アジアの蕃族の侵入を防ぐ目的から、築城をやつたのでありますが、其の築城の役割は、此のユダヤ人に命ぜられたのであります。玆に於てユダヤ人は豫

ての不滿が俄かに起りまして、當時ユダヤの族長でありました處のモーゼは、紀元前一三二〇年又もや全ユダヤ民族を引連れて埃及を脫出しました。其時モーゼが率ゐたユダヤ人は老幼男女合せて六十萬と傳へられてゐます。

モーゼ等は埃及を脫出しまして、スエズの地峽を涉り紅海の右岸に出で、遠くアラビア地方を彷徨し、遂にシナイ山に參りました。そしてユダヤの一族は數十年此のシナイ山麓に遊牧しつつ故國に歸る機會を窺つてゐたのであります。

モーゼがシナイ山に於て、エホバの神から十戒を授けられたと申すのは、恰度此頃の事でありまます。又モーゼが紅海を渡る時には其の水が二つに分れて、ユダヤ人等は悉く之を徒步で涉つたといふことは、彼等の有名な言ひ傳へになつて居ります。

モーゼは此のシナイ山麓を出發しまして、死海の東岸を經てジェルサレムに向つて前進しましたが、ネボの山まで來ますとモーゼが歿くなりましたので、其の子ヨシヤが父の志を繼ぎ、ジョルダン河を涉り、ヂェルサレムの外廓ジェリコの城に立籠つて居た處の蕃族王を平げ、續いて四方を平定しまして、遂に紀元前一二五〇年、再びユダヤ民族はパレスタインに復歸する

ことが出來たのであります。

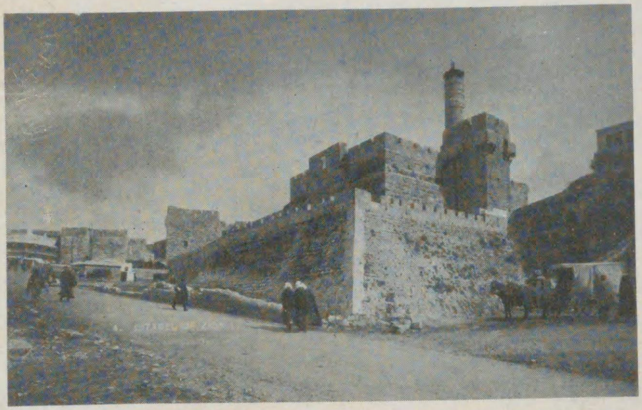
然るにユダヤ民族はカナンの地に復歸後、十二支族に分れ各〻が割據獨立した爲めに國勢が餘り振ひませんでした。

三、ユダヤ王國の建立

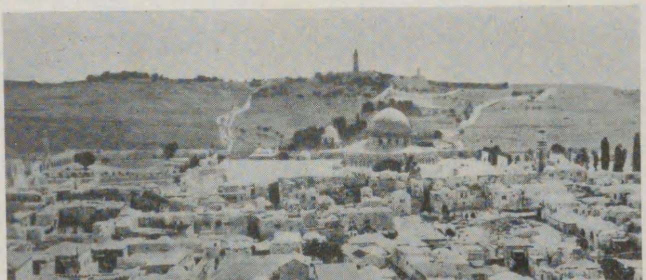
當時周圍の國々では、夫々國王を戴き國家として統制を保つて居りましたので、ユダヤでも高僧サムエルが主唱しまして、ユダヤ國にも國王を設けた方が宜しいといふので、ソールと云ふ人を立てて國王に致しました。

これまではユダヤ民族の政治といふものは、ユダヤ教の高僧が神意を受けて實施して居たのであります。然しユダヤ王が出來て、ユダヤ王國と云ふものが出來ましても、國王が卽ち宗教的の最高の地位を占めて居りまして、國王自ら神を祭り神意を奉じて政治を行ふことには、何等以前と變つたことはありませんでした。

卽ちユダヤ王國の政治は卽ち祭事でありまして、此の祭政一致なる點に於ては、我が大日本



ダビテの城砦



ジエルサレム市、中央の大圓塔はソロモン殿堂跡に建てられたる回教大寺院なり．後方の山はカンラン山，市街の屋根の圓形なるは回教徒の家

帝國の祭政一致と全く同様でありませう。又我が皇室が國民の宗家であらせらるゝと同様に、ユダヤ王室は國民の宗家であつたのであります。

考へて見ますと其の國家の成立が、非常によく似て居りまするに拘らず、我が帝國は開闢以來、皇統連綿として現在世界唯一の帝國として嚴存して居りますに拘らず、ユダヤ民族は全然その國を失ひ、世界に分散して日本と全く正反對の立場にあると云ふことも、誠に面白いことであると思ひます。

さてソール王の次ぎに位を繼いたのは、ダビテ王であります。此の時に今のジェルサレム市を王城と奠め、文武の諸制度を完備しまして、南は埃及から北はレバノン山、東はユーフラット河に至るまで、廣大なる地域を併略致しました。ダビテの次に彼の有名なソロモン王が位に卽きました。之れが紀元前九九三年のことであります。

四、ユダヤ王國の分裂と滅亡

ソロモン王は天資英邁であつて、よく父王の志を繼ぎ、大に政務に精勵し、又一方商業貿易

を勵ましたので、ユダヤ王國は周圍の諸國を壓し、其の勢は旭日昇天の有樣であつて、ユダヤの船舶は遠く阿弗利加及び印度にまで周航を致しました。有名なるソロモンの殿堂、宏壯華麗なる榮華の殿堂は、王が當時王城にヱホバの神を祭るために造つたものであります。

然しながらソロモン王は晩年に至りまして、ユダヤ敎の最も嚴禁する異敎徒の婦人を容れて自分の妃となし、又豪奢も愈々募りましたので、一般國民は非常なる不滿を感ずる樣になりました。けれども王の生きてゐる間は其の偉大なる威力に依つて、敢て國民が騷擾を企てるといふ樣なことはなかつたのでありますが、紀元前九五三年に王が歿すると共に、到る處に內亂が勃發し國內の政敎が二分されまして、南をユダヤ國と稱してジェルサレムを都とし、北はイスラエル國と稱してサマリに都を奠める樣なことになりました。

結局、ダビテ、ソロモン王の時代がユダヤ王國の最も盛んなる時代でありまして、今日のユダヤ人も、豫言者の言を信じて、再びソロモン王國の現出せらるべきを待望しつゝ、日夜神に祈て居るのであります。

ユダヤ人には革命家もあり社會主義者もありますけれど、結局彼等の憧憬する處はユダヤ共

和國やソビエット・ユダヤ國ではなくして、一人の王に統治された處のユダヤ王國そのものなのであります。

此のことはユダヤ教が彼等に豫言し、神が彼等に約束し、彼等は又之を確信して居るのであります。

十六、ユダヤ國滅亡より世界に流散するまで

一、逐次列强の版圖に入る

ユダヤ國はかの有名なるソロモン王の時代までは、其の文物燦然として光り輝き、其の威風は四隣を壓しましたが、西暦紀元前九五三年にソロモン王の死と共に、ユダヤ國は南北の兩朝に分れ、北はイスラエル國と稱し南はユダヤ國と申しました。

國家が分裂しますと今までの國威が全く失墜しまして、周圍の强國から常に征服されるといふことになりました。ユダヤ王國なるものは、此のソロモン王の死と共に事實に於て全く消滅したのであります。

王が死んでから間もなく、先づ第一にアッシリア人がイスラエル國に侵入しまして、全く之を潰亂し、續いて南のユダヤ國はアッシリアに從屬することになりました。

更に紀元前五八六年、ユダヤの土地はバビロニアの攻略に遭ひまして、ソロモン榮華の殿堂は此時に於て灰燼に歸しました。そしてユダヤの貴族達はバビロニアに捕虜となり、遠く北方のユーフラットの河畔に移されたのであります。

其後ペルシアが隆盛になると、バビロン人は之が爲めに滅亡しましたが、ユダヤの土地は續いてペルシア王の配下に入つたのであります。ペルシアは他の攻略者と違ひましてユダヤ人を優遇し、ペルシア王キロスは西暦紀元前五三六年に、バビロニア人の爲めに島流しにされたユダヤ人の歸國を許し、又ユダヤ人に對してソロモン殿堂の再建を許しましたので、ユダヤ人はキロス王を大に德とし、大に喜んで殿堂の建築に着手したのであります。

然るに其後二〇四年を經て紀元前三三二年、彼の有名なるアレキサンダー大王が、パレスタインを攻略し、之を自分の所領と致しました。大王の死後トレミーがパレスタインを征服し、其後又シリア人の征伏する處となりました。シリア人はペルシアとは違ひまして、ユダヤ人に對して激しい壓制を加へたので、ユダヤ人は之れに反抗し一時シリアの覊絆を脫するまでに至りましたが、紀元前六三年羅馬の將帥ボンベイが、大兵を率ゐてパレスタインに殺到し、玆に

パレスタインは羅馬帝國の版圖に入つたのであります。

然るにユダヤ人が羅馬に對しまして屢〻叛亂を起しますので、紀元七〇年羅馬皇帝ウェスパスアンヌスは、自ら兵を率ゐてパレスタインに入りユダヤ人を鎭定しましたが、皇帝が歸還しますと、又もやユダヤ人は羅馬官憲に對して叛旗を翻しました。

ユダヤ人最後の反抗は紀元一三二年バル・コホハの叛亂でありまして、コホハは最後にジェルサレムの一角ダビデの城に立籠りまして、羅馬軍に反抗しました。羅馬皇帝は其の長子チュースを總督として派遣し、之れを征討せしめました。バル・コホハはダビデの城に立籠ること五ケ月、最後まで奮鬪を續けましたが、遂にユダヤ軍は全軍城を枕に討死したのであります。

後世のユダヤ人は、此のバル・コホハをユダヤの大忠臣として、吾々日本人が恰も楠公を追慕する如くに尊敬して居ります。

此の戰爭に依てチュース軍の爲めに當時のジェルサレム城なるものは灰燼に歸しました。羅馬はユダヤ人に對して其の屢〻の叛亂に全く手を燒き、其後二年を經て羅馬皇帝ハドリアンヌスの時に至り、政策的にユダヤ人を壓迫することを考へジェルサレムの附近に羅馬人を移住さ

せ、ユダヤ人には非常なる重税を課しジェルサレムの市内にはユダヤ人の居住を嚴禁しました。茲に於てユダヤ人は國民としての集團力を失ひ、故國を棄てゝ四方に離散する様になつたのであります。之れがユダヤ人の各國に於ける寄生々活の初めでありまして、實に紀元一三五年、今から一七九八年前のことであります。

二、キリストとユダヤ人

キリストが生れたのは卽ち此の羅馬時代でありまして、ユダヤの豫言者が『神は遠からず此の世に救世主を下し、ユダヤ人を率ゐて世界萬國を征伏し、萬國民を統一せる國家を建て、ヱホバを神とせる宗敎を流布するであらう』と申しましたことを確信して、ユダヤ人等は皆此の神の出現を、今日か明日かと神に祈つて待つて居た處に、キリストが予は神の子なりと云つて現はれました。

茲に於てユダヤ人等は神に祈つた甲斐があつて我等の救ひの神が現はれた、キリストは必ず羅馬人を擊退し、我々を其の壓制から救ひ、昔の様な立派なユダヤ王國が出來るであらうと期

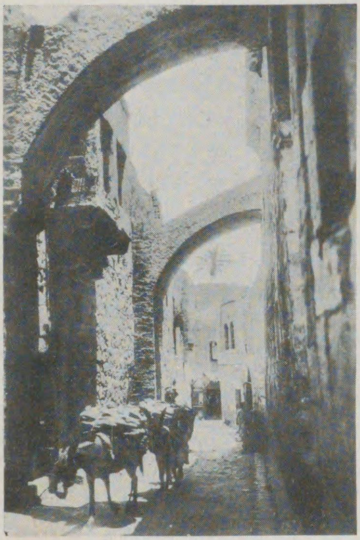
待して皆キリストの下に馳せ集つたのであります。然るにキリストはユダヤ人等の期待したやうな人間社會の王ではありませんでした。基督は說いて曰はく

『予の言を信ずるものは、獨りユダヤ人のみならず、何人と雖も救はれん』と。

卽ちキリストの救ひは人間精神界の救ひであり、彼れは精神界の王であつたのであります。事實に於てキリストが現はれたとて、ユダヤ人は羅馬の壓制から少しも救はれませんでした。

そこでユダヤ人等はキリストを僞救世主として、又神に對する反逆者として、羅馬の代官に密告し、キリストはユダヤ王であるから王冠を被らせると云つて、荊の冠を被らせ、之れで立派なユダヤ王が出來たと、冷やかしながら十字架上に磔にしてしまつたのであります。

今日ジェルサレム城內に、昔キリストが十字架を負ふて屢〻途上に倒れながら、刑場に行つたと云ふ所謂嘆きの道といふのがあります。其の傍らに當時キリストが用ゐたと稱するハンケチと其の十字架とが保管されてありまして、私も拜觀料を拂つて見物した事がありました。元より眞僞の程は解りませんが、十字架は八寸角位のもので斜めに置かれ、其の上に色の着いた大きなハンケチが擴げられてありました。



ジエルサレム城内の大通り

ベツレヘムの誕生寺
此の中にキリストの
生れし室あり



斯くの如くユダヤ人はキリストを僞救世主として、今も尙ほ豫言の實現される日を待つてゐるのであります。同時にキリスト教徒とユダヤ人との反感は玆に端を發してゐるのでありま す。

十七、流浪のユダヤ民族

一、ユダヤ民族の西班牙への移住

羅馬の爲めに徹底的に彈壓されました處のユダヤ民族は、前述の通り世界に向つて流れ出しましたが、先づ第一に其の附近の埃及、バビロニア、シリア、メソポタミア等には非常に多くのユダヤ人が流れ込みました。之れが爲めに當時ユダヤ人は、バビロニアのユーフラット河畔にあつたバビロンの都を稱して新パレスタインと申したほどでありました。

諸國に流れ出したユダヤ人等は勿論、自ら故國を捨てたのでありますが、パレスタインに對する愛着の念は依然たるものでありました、否寧ろ熾烈を極めたのであります。

七世紀の初葉（六一四年）に於きまして、ペルシア國王コスロエスがキリスト敎の侵略者に對して宣戰を布告しましたが、其際ユダヤ人の間にも戰爭熱が起りまして、當時埃及に在つた處

のユダヤ人のビンジャビンは、三萬より成るユダヤ軍を編成し、ペルシア軍と相策應しましてパレスタインを攻略し、兎に角僅かに十四年間ではありましたけれど、ユダヤ人の行政をパレスタインに布いたのであります。

又、八世紀の中葉になりますと、ペルシアのユダヤ人アブ・イッサはパレスタイン奪還の目的を以て強大な運動を起し、メソポタミア及シリアに在つたユダヤ人を以て一軍を編成しましたが、遺憾ながら此の運動は慘敗に歸しまして、ユダヤ人のパレスタイン奪還の企圖は不成功に終りました。卽ち此の運動はユダヤ分散地（ジャスボラ）よりするユダヤ人叛亂の最後の試みであつたのであります。

第十世紀の末葉となりましては、バビロンがユダヤ民族の文化的宗教的中心となり、茲にユダヤ文化の大なる發達を見たのでありますが、此のバビロンに於けるユダヤ分散地生活も、時代の經過と共に軈て衰運に傾きましたので、茲にユダヤ諸部落は逐次にスペインに向つて移住し始めました。

西班牙に於きましては、勿論ユダヤ人はユダヤ人特異の生活を營みましたが、彼等は茲に黃金時代を現出し、新文化の中心となりまして心靈及び學術の淵源地となりました。そしてユダヤ人は茲に社會的に地位を獲得し、又一方財界に於て確固不拔なる基礎を固めました。ユダヤ人の歷史家は、當時に於ける西班牙の繁榮はユダヤ人の力に依るものである、と申して居るのでありますが、或は事實さうであつたのではないかと我々も思ふのであります。

茲に於て寄生生活者卽ち外來人たるユダヤ人の發展に對して、在來の西班牙人は之を快く思はぬのは申すまでもないことでありまして、恰度ヨシア時代に於ける埃及の如く、西班牙人はユダヤ勢力に對して大なる不安と反感とを抱くやうになつたのであります。

そこで其の結果が、紀元一四九二年八月二日に於ける異端糺問となつて現はれたのであります。卽ち此日外來者たるユダヤ人約三十萬人が、一時に國外に追放されたのであります。

此の西班牙に於けるユダヤ人の追放は、西班牙の盛衰の間に劃然たる一線を畫きました。此の事件以來西班牙の强國たる地位は徐々に降下し初めたのであります。

かのコロンブス以下數名のユダヤ人が亞米利加に出發したのは、實に其の翌日八月三日なの

であります。

茲で一寸、コロンブスの亞米利加發見に就ての、仔細に就て申述べませう。

二、ユダヤ人等の亞米利加大陸發見

此の異端糺問の翌日卽ち西暦紀元一四九二年八月三日、コロンブスは數名のユダヤ人を伴て洋々たる大西洋を西に向て出帆したのでありますが、然し此のコロンブスの一行を逃走者として見ることは適當ではありません。

何故ならば此の大膽なる航海者コロンブスの計畫は、追放の行はれる遙か以前に於て、既に有力ユダヤ人等の興味をそそり、大に其の同情を集めて居たからであります。

記錄に依つて見ますと、コロンブス自身も『予は大にユダヤ人に同情し慰め合つた』と語つて居りますが、コロンブスの母は實にユダヤ人であつたのであります。從つてコロンブスが亞米利加を發見しましてから、之を詳細に認めました處の最初の手紙は、矢張り或るユダヤ人に宛てたものでありました。尙ほ又、事實に於て非常なる成功を收め、未知の世界の半ばをば世

人に紹介し、人類の幸福に至大の貢獻を爲した此の記念すべき航海は、實にユダヤ人の力に依つて成功したものであります。

世間ではコロンブスの航海の費用は、イサベラ女王が自分の寶玉を賣つて與へたといふ、一の美談として傳へられてゐますが、少しく研究して見ますと、さうではないのであります。

抑〻當時スペインの宮廷には、非常なる權勢を有する三人の「祕密のユダヤ人」なるものがありました。其の一人はルイ・デ・サンタゲルと云ひ、彼れはバレンシアの豪商であり、又スペイン王室の地租管理者でありました。又他の一人はサンタゲルの親戚に當るガブリエル・サンチェズと申す者で、彼れは王朝の大藏大臣でありました。殘る一人は矢張り此の兩人の友人で侍從職をして居りました處のジュアン・カブレロと云ふ者でありました。

この三人はイサベラ女王に對しまして、絕へず王室の財政窮乏を說明し、若しコロンブスが印度の謎の寶庫を發見しさへすれば、巨萬の富を贏ち得ることを盛んに女王に焚きつけました。

其の結果、イサベラ女王は其言を信じ、自己の寶石をコロンブス航海の費用調達の抵當として交附することになつたのであります。

然しながらサンタゲル自身も、其の費用の一部を支出することを切望しまして、女王の許しを得て、自ら一七〇〇〇デカット卽ち約二萬弗を支出したのであります。此の金額を今日に見積りますと約十六萬弗に相當し、此の貸附金は勿論コロンブスの探險費を償ひ得て餘りあるものと思はれるのであります。

コロンブスと一所に航海した人々の中に、少くも五人のユダヤ人がありました。卽ち通譯のルイス・デ・トレース、外科醫マルコ、內科醫ベルナール及びアロンゾ・デ・ラカーリエ、ガブリエル・サンチェズの五人であります。又コロンブスの當時用ゐた處の天文器械も地圖も皆ユダヤ人の發明したものでありました。

亞米利加に上陸した一番乘りは、ルイス・デ・トレースでありまして、彼は煙草の使用を第一に發見した人であります。トレースは後にキューバに土着しましたが、實に彼れは現在煙草業をユダヤ人が支配するに至つた元祖とも謂ふべき人であります。

之で見ましてもユダヤ人が、當時の西班牙宮廷竝に財界に如何に勢力を持つてゐたかと云ふ一端を窺ふに充分でありませう。

三、西班牙より各國へ分散

さて西班牙を追放されたユダヤ人は、嘗て紀元一三五年にパレスタインを追放された時と同様に各地方に散亂しましたが、其の主力の一部は伊太利に移住しました。然しながら伊太利に於ては、ユダヤ人を歡迎しなかつたばかりでなく、寧ろ之れに對して反感を以てしたので、伊太利のユダヤ人は大部トルコに向つて移りました。

當時土耳古はユダヤ人を同情を以て迎へ、非常によく此の流浪者を待遇したのであります。之れは御承知の通り宗教上の關係でありまして、伊太利が耶蘇教の本山でありますのに引きかへまして、トルコはユダヤ教から別れた回教國であります。回教ではユダヤ人との結婚を明かに認めて居る様な次第でありますので、基督教徒ほどユダヤ人に對して反感を持つては居りません。從つて土耳古に移住したユダヤ人は、比較的安らかな生活を營みまして、今日に及んで居ります。

現在に於ても、土耳古のユダヤ街には、尚ほ西班牙風の服装を傳へて居るユダヤ人を屢〻見

受けるのであります。

又、他の主なるユダヤ人等の一團は葡萄牙に入り、葡萄牙から更に逐次和蘭に流れ込み、和蘭から英國に移りました。更に英國から露西亞、獨逸に移り行くと同時に佛蘭西、亞米利加方面にも流れ行くのでありました。

勿論これはユダヤ人の大きな集團の移動を示したのでありまして、其内の小なるものは、あちらにもこちらにも分散したのでありまして、印度、支那方面にも彼等が流れて來たのは言ふまでもありません。

十八、支那とユダヤ人の歴史

印度に移住したユダヤ人は、主としてペルシアに於けるユダヤ人虐殺の結果、ペルシアを逃れて印度に渡つたものでありまして、其の年代は西暦六五年と云はれてゐます。

或る學者は、ペルシアユダヤ人の印度移住に結びつけて、西暦二三一年に印度から支那に移住したと説明して居りますが、然しいろ〳〵調べて見ますと、第一世紀卽ち支那の後漢時代の頃から、既にユダヤ人は支那に殖民したものと思はれます。

マルコ・ポロは、一二八六年頃ユダヤ人は支那に於て、商業上及び政治上に侮るべからざる勢力があつたことを認めて居りますから、支那に於けるユダヤ人の歴史は隨分古いものであります。

尙ほ支那ではユダヤ教を稱して刀筋教と申して居りますが、又更にユダヤ人の支那移住に關

する一説として、支那では次の様な面白いことが傳へられて居るのであります。

『唐の時代(西暦六一八—九〇六)寧波に多數のユダヤ人が移住した。支那に於て現在「李」の姓を有するものは總てユダヤ人の子孫である。從つて唐代以前に支那には李の姓はない。且つ又寧波人は、其の習性風俗職業等全くユダヤ人と同樣であつて、寧波人の多くは金貸業、兩換屋、寶石商、皮革商等を營むものが非常に多く、其性情は勿論面貌さへもユダヤ人に酷似してゐる』

と云ふのであります、若し之を事實とすれば、此の李姓を帶びたるユダヤ人は、支那に於ける同化ユダヤ人でありますが、然し是を以て見ますと、依然ユダヤ式の性情を保持して居るのであつて、所謂人間の傳統といふものは誠に爭ふことの出來ぬものと考へるのであります。

支那のユダヤ民族移住に關する歷史に就きましては、私は寡聞にして日本の古書に於て見たことはありませんが、ユダヤの百科辭典には相當調べて記載されてありますから、今からそれに就て御話し致しませう。

元來支那と云ふ土地が、バイブルを記述した當時既に其の當路者に知られて居たかどうかに

就ては今日尙ほ學者の間に物議の種となつて居りますが、バイブル註解者の多くの人々は『追放されたイスラエルの民族は其の本土である處のシニム（Sinim）の地に歸還すべきものである』と云ふ文句を以て直に此のシニムを支那と解して居りますが、然し一部の人々は此の說を否定して居ります。

それは兎も角として、ペルシアに入つたユダヤ人は、早くから生絲の貿易を始めました爲めに、當然の結果として、ローマ人の所謂生絲商人、卽ち支那人と直接交涉を結ぶに至つたのであります。

（註）ラテン語の蠶（Seres）より絹（Sericum）となり轉じて生絲商人（Silk-men）となつた。ローマ人は支那人を呼ぶに Silk-men（生絲商人の意）といふ稱呼を以てした。

然し何れの時代から、之等のユダヤ人が、支那に植民し初めたかと云ふことは明瞭でありませんが、各時代に亙つて、之等ユダヤ生絲貿易商人が支那に移住したのであるか、或は又一時的居住者が定住者となり濟ましたか、その何れかでありませう。

一七三三年ロンドン發行の『二人回教徒の印度及支都漫遊記』には

「ユダヤ人は、殆んど人々の記憶に存して居らぬ遠い昔から、支那に植民して居る」

と書かれて居ります。

然しながら該漫遊記は、ユダヤ人の最初の支那移住は漢朝の時代、即ち紀元前二〇六年乃至二二一年の頃、詳しく申しますれば明帝の時代に行はれたと云ふユダヤの傳説を否定し、ユダヤの所謂十種族放浪と結びつけて居りますが、之れは蓋しプロフィール僧正の

『是等のユダヤ民族は支那の漢帝時代に入つた』

と云ふ口碑を根據としたものであつて、頗る疑はしいものであるとされて居ります。

又、九世紀の頃、ユダヤ人の旅行家スレーマンといふ人は、ユダヤ移住者が支那に入つたのは西暦六五年であると云ひ、又グレーツといふ人は、ユダヤ人が初めて印度に植民するの原因を成した處の、ペルシアに於けるユダヤ人虐殺と關聯させて、西暦二三一年に支那に移住したと說いて居ります。

尙ほ黄河の沿岸開封府に在るユダヤ人自らは、其の奉ずるユダヤ教を印度から傳へられたも

のであると言つて居りますが、何等其の時代を明示するものがありません。

又、グローベルは其の著「バビロニア及び東洋記」に於て、五世紀以前に支那にユダヤ人は居なかつたと言つて居りますが、之れとても何等之れを證明するに足る材料はありません。

之れに反してユダヤ人の支那移住は、前記諸家の說よりも、早期に行はれたと信ぜらるべき幾多の理由があります。卽ち支那人はユダヤ教のことを刀筋教（皮を剝ぎ筋肉を引出す意味）と呼んで居りまして、此の名稱はユダヤ人の特性を非常によく表明したもので、頗る年代の古いことを示して居ります。且つ又ユダヤ僧（ラビー）の教義に依つて、支那人は以上の話よりも更に深くユダヤ人の特質を印象づけられて居ることが解ります。卽ち支邦人はユダヤ教の影響を受け、ユダヤ人より其の特質を受けて居ると申して居ります。

尙又、支那に在ります處のユダヤ教寺院（シナゴーグ）に關して、現在存在する特殊な祭式に依て見ましても、初代植民に關する實證を發見することか出來ますし、又一方第九世紀及び第十四世紀のアラビアの著述には、古代に於てユダヤの商業植民地が支那に在つた事實を確證して居ります。

要するに是等の實證を綜合しますと、ユダヤの支那植民は第一世紀の頃に始まり、宗教的にも社會的にも、長年月に亙る特殊の發達を遂げたものと見るのが至當でありませう。

中世紀の頃に於ける支那のユダヤ人の歷史に就ては、材料が極めて寡いのでありますが、曩に申上げました二人回敎徒の旅行家は、八五一年の頃にユダヤ人の多くが商業の爲に改宗し、又八八四年バイチューの叛亂には十二萬の回敎徒、基督敎徒、ゾロアスター敎徒等がカンフ(對アラビア貿易港)に於て虐殺されたと書いてあります。

又、シャバンヌ博士は、紀元九六〇年乃至一一二六年の間に、新たにユダヤの植民團體が印度から貢物を持て支那に入つて來たと申して居ります。

兎に角ユダヤ人は、支那にやつて來るのに、總べて海上から來たもので、決して中央亞細亞方面から陸地傳ひに來たものではない樣であります。

前に申しました通り、マルコ・ポロは、一二八六年の頃支那には商業上及び政治上、ユダヤ人の侮るべからざる勢力のあつたことを述べて居ります。

然し當時、ユダヤ人は自ら進んで積極的に、支那の政局に立入る樣なことをしなかつた爲め

に、一般には回敎徒と同一視されて居たのでありますが、それにも拘らず支那の年代記には「ユダヤ人」なる名稱が出て居り、特に一三五四年には支那も內亂相繼いだので、回敎徒及びユダヤ人の金持を首府に呼んで、彼等が兵役に應募するやう勸誘したと書いてあります。

其の當時、歐羅巴にあつたユダヤ人は、自分の同族が支那に居るといふ樣な事に就ては、少しも知つて居なかつたのでありますが、然し十七世紀の頃になつて、河南省の南開封府及びハンチャフに、五六百人のユダヤ人部落があると云ふことを、カトリック宣敎師が歐羅巴に傳へました。

此の開封のユダヤ敎寺院（シナゴーク）には、支那に於けるユダヤ植民に關する最も古い記錄が藏されて居る處から、學者の注意は自然この開封のユダヤ人の上にのみ注がれたのであります。

今此のシナゴークに揭げてある大理石の扁額に彫刻された碑文の一部を拔萃して見ませう。

『西の國より七十家族移動し來り、皇帝に綿布の織物を獻ず、皇帝彼等を開封府に住せしむ……一一六三年シナゴークを建つ……一三九〇年明の太宗帝位に上りユダヤ人に對し土地所有權竝に其他の權を與ふ。一四二一年帝其の寵愛する醫師イエン・チェーンにシナゴーク改

築の認可を與へ、帝自ら香を獻ぐ云々』

其後在支ユダヤ人は、商業上社會上の勢力を失墜して全く歐洲方面との連絡を絕つに至りました。十七世紀の頃、カトリック宣教師に依て發見されたのは恰も此の勢力失墜時代であつたのであります。

此の事實が歐洲に知れ渡りますと、各地から此の調査に着手しました。一八五八年太平（タイピン）の叛軍が、楊子江沿岸を席捲して北上するや、ユダヤ人は各地に散亂しましたが、後再び開封府に歸つて參りました。一九〇〇年に於て開封のユダヤ人は男女合計約百四十名で、其の當事者もシナゴークも敎育施設も何もありませんでした。之れが爲め在支ユダヤ人救濟會は、之等同胞の救濟事業を起し、同時に開封府に於けるユダヤ敎寺院の再建に努力しました。一九一二年日本及支那にあつたユダヤ人の數は、總計二一四三名と云はれて居ります。

十九、シオニズムとは何か

一、ユダヤ精神王國の建設

シオニズムは、現代ユダヤ人の本質を知る爲めに、極めて必要なものでありますから、唯今から之に就て說明を試みませう。

シオニズムは、現代ユダヤ民族の活動の源泉であり、ユダヤ政策の本源であります。又シオニズムなるものは、ユダヤのナショナリズムでありまして、其の活動はユダヤ國家復興運動として現はれるのであります。

西曆一三五年羅馬の壓制に依つて、故國を棄て諸國に流浪し始めましたユダヤ人等は、勿論ヱホバの外に神なし、と信ずる彼等の宗教を捨てないぱかりでなく、益〻ユダヤ教に對する信仰を深くしたのであります。ソロモン王の死後、羅馬の爲めに四散するに至るまで、其の國は附

近の强國からは絕へず攻略せられ、其の權力下に呻吟して來ましたユダヤ人は、絕へず征服者に對する叛亂、卽ちユダヤ國復興の運動を試みたのでありますが、羅馬の時代に至りまして、遂に徹底的の彈壓を受け、其の國土に留まることが出來ない迄の打擊を蒙りましたので、流石のユダヤの識者達も、最早やユダヤの土地は、永久にユダヤ人の手から失はれ、再び恢復する望みはないものと諦めたのであります。然しながらユダヤ民族なるものは開闢以來非常に根强い民族であつて、此儘分散し遂に消滅するやうなことがなかつたのであります。ユダヤの識者達は考へました、『國は失つたが、我々ユダヤ民族は、兎に角永遠に存續しなければならぬ』と。そこで考へついたのが、ユダヤの「精神王國」なるものであります。卽ち縱令其の國を失つても、如何に世界に四散しやうとも、ユダヤ人は飽くまでユダヤ人として精神王國を形成し、此の世に現存しなければならぬといふことを深く考へたのであります。其の結果出來上つたのが、ユダヤの聖書（タルムード）と申します處のイスラエルの大聖典であります。卽ち此の聖典がユダヤの精神王國の土臺であります。又これがユダヤ人の本質を、今日まで完全に保存しました處の、ユダヤの大思想であるとユダヤの學者達は申して居ります。

この聖典（タルムード）と申しますものは、猶太教のトーラの謂はゞ譯解ともいふべきもので、ユダヤ人自身でさへ何部あるか解らないといふほど厖大浩瀚なものであります。而も聖典（タルムード）はユダヤ人の惡戰苦鬪の眞最中に出來たもので、謂はゞユダヤ民族の苦腦の産物でありますから、他の宗敎の聖典とは非常に趣を異にして居りまして、先づ第一にユダヤ人に對し、「神の選民」として偉大なる自信力と抱負とを與へ、如何なる苦鬪にも堪へ得る確固たる信念を注入し、更に限りなき反撥性と復讐心とが其中に包藏されてゐるのであります。

二、ユダヤ聖典の内容

今次にユダヤ聖典内容の一部を擧げて見ましやう。

一、非ユダヤ人の財産を管理することは、ユダヤ人の權利なり。同じくユダヤ人は非ユダヤ人に對し生殺の權利を有す。殺害する勿れとは、實はイスラエルの子なるユダヤ人を指すものにして、非ユダヤ人を意味するものに非ず。

一、神より生れたるものは、たゞユダヤ人あるのみ、其他の人類は惡魔の子なり。

一、人間は動物より高等なるが如く、ユダヤ人は、人間よりも高等なり。

一、非ユダヤ人が善事を行ひ慈善を施さば、之を罪と認め彼等を咒ふべし。之れ彼等は誇らんが爲め、斯かる行ひを爲すが故なり。

一、永久に生存する價値あるものは、獨りユダヤ人のみにして、他の人類は驢馬にも如かず。

一、非ユダヤ人の生命は、我等の掌中に在り。特に彼等の黃金は我等の所有物なり。

一、非ユダヤ人の血を流すものはヱホバの神に生贄を獻ずるものなり。

一、若し非ユダヤ人が、ユダヤ人より些細なるものを盜む時は、之を死刑に處するは當然なり。然れどもユダヤ人は欲する儘に、非ユダヤ人の所有物を奪ふも自由なり。是れ汝の隣人に惡を施す勿れとあるも、特に非ユダヤ人に惡を施す勿れと明記しあらざればなり。若し非ユダヤ人にして、穴に墜つるものあるも之を引揚ぐるに及ばず、其の穴に階梯あらば之を取り除けよ、若し傍らに石あらば、拾ひて之を穴に投ぜよ。

又次に、ユダヤ人處世の道として敎へらるゝ處の、ユダヤ處世訓百則の數項を御紹介しましやう。勿論之はユダヤ聖典から抽き出して作られたものでありまして、彼等の古來からの社會

觀並に其の行動を律し來つたものでありますから、ユダヤ人なるものを觀察するには一つの好資料と存じます。

第五則　ジェルサレムには既に神殿なく獻祭なき今日と雖も、司祭長アロンの子孫は、流浪せるユダヤ人間に於て普通のユダヤ人以上に特典と名譽とを有し、各祭日には他のユダヤ人を祝福するの資格を有す、されど其の子弟中アクム（非ユダヤ人の意にして、ユダヤ人はユダヤ教を棄つればユダヤ人といはず）となれるものあらば、全家族は汚れ、此の神聖なる資格を失ふ。

第六則　アクムとなれるユダヤ人は、呪はれたるものにして、假令燈明等をユダヤ寺院に獻ずるも、寺院は之を受納することを禁ず。

第七則　祈禱文シムン（食後の祈禱文）は、非ユダヤ人の家にて唱讀すべからず、是れ非ユダヤ人も祝福せられざらんが爲めなり。

第九則　廢れたる非ユダヤ人の神殿の傍を通行する際、ユダヤ人は「主よ汝を感謝す、蓋し非ユダヤ人の偶像殿を此處より根絕したればなり」と唱ふべし。完存せる殿堂の傍を通過する時は「主よ汝を感謝す、蓋し汝惡漢等に對して其の怒を續くればなり」と唱ふべし。

而して多數のユダヤ人一所に集合するを見ば、「叡智の神汝を感謝す」と唱へ、非ユダヤ人の集合を

見ば「汝等の母は耻かしめられ、赤面せん」と唱ふべし。
又ユダヤ人が、ユダヤ墓地を通過する際には、「主よ汝を感謝す、蓋し汝正しく彼等を造りたればなり」と謳賞し、非ユダヤ墓地の前に於ては「汝等の母は耻かしめられ云々」と唱ふべし。
ユダヤ人は、宏壯なる非ユダヤ人の邸宅を見ば、「驕者の家は主の神、之を毀つべし」と唱ふべく、非ユダヤ人の邸宅の廢墟の前に立たば「主は復讐の神なり」と唱ふべし。

第十一則　祭日には賣買を禁ず、されどパレスタインに於ては、非ユダヤ人の家を買ふも支障なし、其の際賣買手續を爲すを許さる、卽ち之に依つて非ユダヤ人一人を減じ、ユダヤ人一人を增すべければなり。

第十四則　逾越節（基督教の所謂復活祭）の前夜、各ユダヤ人は祈禱文シェフォフ（此の祈禱文に於て神が非ユダヤ人に怒を注ぐべき祈禱）を唱へざるべからず。
若し敬虔を以て此の祈禱文を唱ふる時は、神必ず之を聽き入れ、メシャを遣し、非ユダヤ人に其の怒を注がん。

第十六則　ホルガモエド（春秋二期のユダヤ祭日）の際には、商業取引を禁ず、されど非ユダヤ人に高利を貸付くるも支障なし、如何となれば、非ユダヤ人より搾取するは、常に神の喜ぶ所なればなり。

シオニズムとは何か

第二十一則　ユダヤ人は、ユダヤ人に對抗する非ユダヤ人側の證人となるべからず。之が爲め非ユダヤ人が、ユダヤ人に金錢を請求し、ユダヤ人之を拒絶する場合、非ユダヤ人の正當なるを知れる他のユダヤ人は、非ユダヤ人側の證人となつて、非ユダヤ人の爲め有利なる證言を爲すべからず。

ユダヤ人が此の法則を犯し、ユダヤ人に對抗する非ユダヤ人側の證人となりたる場合には、牧師會議は彼を其の團體より除名すべし。

第二十四則　ユダヤ人が、非ユダヤ人を爪牙に掛け居る時は、他のユダヤ人は、其の非ユダヤ人に近づきて金を貸し、遂に非ユダヤ人が全く赤裸になる如く欺くべし。

斯の如き行爲をなす根本原則は、非ユダヤ人の金は、何人にも屬せざる財産なるを以て、第一に之が收得を欲するユダヤ人、先づ之を領有するの權利を有すればなり。

第二十六則　茲に番頭あり、ユダヤ主人は彼に向ひ、凡ての拾得物は主人の所得に歸すと約束せしとせん。此の場合番頭が非ユダヤ人を欺き、旣濟債務の二重取を爲し、或は餘分の勘定を取りたりとせんか、此の利得は主人に屬すべし。如何となれば如上の利得は、拾得物と見做さるゝを以てなり。

（非ユダヤ人の財寶は主無き財寶なり）

第三十則　ユダヤ人は隣人を欺くことを嚴禁せらる、財寶價値の六分の一の損害を隣人に與ふれば詐

僞とす。されど之はユダヤ人間に於てのみのことなること論なし。非ユダヤ人に對しては欺くも不可なく、又着服せしものを返すの義務なし、「汝の隣人及び兄弟を欺くこと勿れ」と、されど非ユダヤ人は我等の兄弟にあらず、彼等は犬に劣れり。

第三十五則　ユダヤ人は、重荷に堪へ兼ねて殪れたる動物に遭遇するか、或は滿載せる車輛に繫駕せる勸物が疲勞困憊の結果倒れたるを見ば、其の馬丁御者に援助を與へざるべからず、又其の荷卸し荷積みに手傳はざるべからず、蓋し同胞にも動物にも此の種の援助を與ふるは當然なればなり。若し荷物がユダヤ人に屬し、動物は非ユダヤ人に屬する時、或は此の反對に、動物はユダヤ人の所有にして御者自身非ユダヤ人、荷物も非ユダヤ人に屬する時も斯くなすを要す。然れども動物も非ユダヤ人に屬し、荷物も非ユダヤ人の所有なるときは、ユダヤ人は之に對し憐愍の情を起し、荷主にも動物にも援助を與ふべからず。

第四十六則　三度ユダヤ人を非ユダヤ人に密告し、其の後密告斷念を誓ふも、尙ほ密告を爲さば、此の者を娑婆より除去する手段を講ずるを要す。

密告者の除去（殺害）に要せし費用は、事件發生の都市に居住するユダヤ人の負擔とす。

第五十七則　ユダヤ人は、非ユダヤ人の接觸せる罎又はコップにて酒を飮むことを禁ぜらる、如何となれば非ユダヤ人の接觸のみにても酒は汚るればなり。

第七十七則　ユダヤ乳母は、假令報酬を受くるとも、非ユダヤ人の嬰兒を育つべからず、如何となれば非ユダヤ人の生長を助くることゝなればなり。

但し乳過剩にして苦痛を感じ、彼女にとりて有害なる時は許容せらる。

之と同じく生活の資となる職業を、非ユダヤ人に敎ふるを禁ず。

第九十八則　ユダヤ人が、非ユダヤ人の女を娶らば、笞刑三十九に處せられ、而も其の結婚は無效とす。加之牧師會議は之を除名せざるべからず。

ユダヤ人がユダヤ女を娶りたる時と雖も、其の妻が改宗したるときは、夫は離婚手續を履まずして、他に妻を迎ふることを得、如何となれば改宗者は人にあらで、馬と見倣さるればなり。

以上を以て見ましても、ユダヤ人は昔から猶太教に依つて、どんな精神を注入されて來たかといふことがよく解ると同時に、斯の如き行動に對して、非ユダヤ人がまた彼等を排斥壓迫したのは故あることと思ひます。然しながら古のユダヤ人ならいざ知らず、現代文化のユダヤ人が、斯くの如き教を本氣で受けてゐるかどうかと云ふことに就ては、甚だ疑はしいのでありますが、然し幼少の時から、毎土曜日ユダヤの禮拜日に於て、必ずシナゴーグに集りトーラを讀み、タルムードを唱へ、其上にユダヤ僧から之に關する熱烈極まる說教を聽き、感極まつて號

泣しつゝ育てられて來た是等のユダヤ人の、胸底深くユダヤ敎の敎が滲み込んでゐない筈はないのでありまして、縱令表面は現代の文化に依つて、之等の精神が表面的に消失し去つたとしても、其の潛在意識として此の徹底的なるユダヤの宗敎的信念が存在することは、何人が之を否定することが出來ませうか。從つてユダヤ人の行動の裡に、此のユダヤ精神が常に發露することは止むを得ないことと思ひます。勿論この精神は實に排他的でありまして、我々非ユダヤ人に取つては誠に怪しからんことではありますけれども、ユダヤ人の慘憺たる歷史を顧みますと、現在に至るまでユダヤ人として彼等が存在する爲めに如何に此の精神が必要であり、又效果があつたでありませうか。善きにつけ惡しきにつけ、兎に角ユダヤ人の現存する事は、後世のユダヤ人の學者が申す如く、實に此のユダヤ精神王國建設の賜であつたと申して差支へないと思ひます。

是に依て考へて見ますと、縱令ユダヤ人の如き分散民族であつても、其の民族永遠の爲めに其の民族獨特の「精神王國」を持つと云ふことは極めて緊要なことでありまして、我が日本帝國國民の存在竝に其の永遠の保障は、矢張り我が精神王國とも謂ふべき忠君愛國の念に外ならぬものと思ひます。我が國民から此の忠君愛國を除いた時は、卽ち我が國民の存在を失ふこと

であることは申すまでもないことであります。要するに此のタルムードの大思想は、永遠にユダヤ人の生活の源泉となり、同時にユダヤ人の本質を完成したのであります。

三、自由獨立の思想と革命思想の注入

扨てユダヤの識者等は、ユダヤ民族の生存の爲め、國土を失つた代りに、「ユダヤの精神王國」を建設しましたが、一方に於きまして其の故郷を逐放されたユダヤの一般民衆は、何うかして自分の懐しき故郷に歸りたいものである、といふ觀念を捨てることの出來なかつたのは當然でありまして、其の結果、既にユダヤの歴史で申述べました通り、パレスタインに對する叛亂即ち奪還運動が大小幾つとなく各所に於て行はれたのであります。之れと同時に、あらゆるユダヤ人の村落及びユダヤの有力者達は、ユダヤ民衆に對しまして、自由獨立の思想と革命思想とを注入し、祖國開放に關する熱望を喚起したのでありました。卽ちユダヤ人は滅亡以來凡そ二千年間此の革命思想の注入を受け、又之を注入して今日に及んだのであります、近代に於ける世界各國の革命はユダヤ人の參加に依つて行はれ、現代の革命思想がユダヤ人を本源とす

るのも實は斯の如き原因があるからであります。

そこで革命及び革命思想を檢討せんが爲めに、單に其の表面に現はれたる處の理論竝に其の事象の是非を云々するばかりでは、其の本源を突きとめることが不可能でありまして、私はマルキシズムも共產社會主義も、結局は此のユダヤ民族の思想を研究することに依つてのみ、其の本質を捉へることが出來得るものと思ふのであります。

斯の如く分散後のユダヤ人間に於ける精神王國の建設、自由獨立の思想と革命思想の勃興、竝に祖國開放に對する熱望の喚起は、バビロニア、ペルシア、埃及各地に於て其の中心點を成立せしめ、ユダヤの各部落は不變の誠忠心を以て、パレスタインに對したのであります。從つてユダヤ人に對する壓制が强ければ强いほど、ユダヤ人の民族精神は益〻鞏固を加へ、愈〻熾烈に燃えあがつたのであります。此のユダヤの愛國的民族理想は、時代の流れに從つて勿論各種の體系を取りましたが、此のシオンの地に復歸せんとする彼等の思想が、卽ちシオン思想でありまして、西班牙に於て彼等が非常なる彈壓を受けました際に於ても、此の精神は消えることなく、寧ろ炎々として彼等の間に燃え上つたのでありました。そして此間屢〻具體的にパレス

タインへの歸還が企てられましたのであります。

そこで少しく各國に流れ込んだユダヤ人の狀態を申上げますと、ユダヤ人の流れて行つた先きは、伊太利も葡萄牙も、和蘭も英吉利も、悉くユダヤ教を敵視する處のキリスト教國であり又ユダヤ人が非ユダヤ人の動物共の造つてゐると考へる國々でありますから、彼等が優遇される筈もなく、又互に融和する筈も決してありませんでした。そこでユダヤ人等は行くさきざきの國々に於て、ユダヤ人だけの集團部落を形造り、そこでユダヤ人として特殊の生活を營んで居りました。このユダヤ人の部落を稱してゲットーと申します。從つて彼等は其の國の國民と同等の權利を與へられないばかりでなく、いろいろな壓制を蒙つて居たといふことは既に御承知の通りであります。

四、ユダヤ人の解放と改宗離籍

さて斯くて年代を經る中に、ユダヤ人の狀態竝に精神上に、一大變革を來す時が來たのであります。それは何でありませうか、即ちそれは佛蘭西の大革命であります。此の佛蘭西革命を

動機として歐洲の國々に於けるユダヤ人のゲットーは、逐次に開放されて行きました。一例を擧げますと、佛蘭西に於ては一七八九年宗教の自由が認められ、次で一七九一年市民權を與へられ、英吉利に於ては一八五八年全然ユダヤ人を開放し、獨逸に於ては一八六八年市民權をユダヤ人に與へると云ふ樣に、ユダヤ人の開放が殆んど全歐洲に及んだのであります。

このことが更にユダヤ人の心理狀態に大なる變化を與へたことは申すまでもありません。彼等は喜びの餘り、我々ユダヤ人が開放された以上は、一般の歐羅巴人と平等の權利を享有する資格が充分にあると云ふことを、一般歐羅巴人に示さねばならない、又歐羅巴の國々の此の寛裕なる處置に對して保障を與へなければならない、と云ふ樣な考へを起すものが出て來たのであります。其の結果として改宗をしてユダヤの族籍を離れた方がよいと云ふ考へを起して、之を實行するユダヤ人が續出しました。其の改宗離籍の理由は、自分等ユダヤ人に取つて其の方が社會的にも物質的にも都合がよい、卽ち之に依つてユダヤ人は幸福な生活が出來るのであると考へたのでありまして、此の改宗離籍者の多くは解放の結果、成金になつた處のユダヤ人と智識階級のユダヤ人に多かつたのであります。更に又此の改宗離脫運動に續いて同化主義を唱

へるユダヤ人が出て參りまして、遂にはユダヤ人は民族に非ずと叫ぶ連中も飛出して來たのであります。是等の新思想にかぶれたユダヤ人は、主として西方歐羅巴の者が最も多くありまして、此のハイカラ思想は遠く海を越えて亞米利加に傳染し、廣く亞米利加ユダヤ人の間に傳播致しました。是等のモポ・ユダヤ人はユダヤの傳統を顧みず、ユダヤの習慣を捨て、自ら佛蘭西人となり亞米利加人とならむことを希ひまして、アングロサクソンや、佛蘭西人と見間違へられることを以て、自ら誇りとし非常なる幸福を感じたる連中であります。

然しながら之等の新思想も、間もなく動搖を來すことになつたのであります。卽ち自らは佛蘭西人となり亞米利加人となつた積りでも、周圍の人々は依然ユダヤ人はユダヤ人としか認めなかつたのであります。ユダヤ人の體軀には永久にユダヤ人の血より流れてゐなかつたのでありまして、特にユダヤの識者達は所謂血は水よりも濃しと云ふことを痛感する樣になつたのであります。我が日本に於きましても日本の婦人にして天性の美髮を赤くし、目の緣を黑くし、尙且つ眼玉の色の碧眼ならざることを嘆いて居るモガも多い樣でありますが、之は恰度是等の同化主義的ユダヤ人と同思想の人々と思はれます。

五、民族爭鬪とユダヤ人の覺醒

さてユダヤの識者達が、ユダヤ人の實際狀態を見ますと、周圍の人々はユダヤ人はユダヤ人としてしか認めないと同時に、約束された紙上の同權を維持することは、頗る困難であるといふことを痛感しました。從つてこの獲得せる同權を實際化し、且又これを保持せんが爲めには、どうしても他民族との激烈なる爭鬪の避くべからざることを察知するに至つたのであります。そして斯かる同化主義の新思想と云ふものは、結局ユダヤ人の衰滅を招くだけであることを認識したのであります。玆に於てユダヤ人の間に自己民族保持の運動が起り、ユダヤ人に新生活力を注入せんとする各種の試みが企てられました。

其の最も顯著なる第一の現はれとして、現在に於て佛蘭西ユダヤ人を中心として非常なる發展を遂げて居ります處の、全世界ユダヤ人同盟なるものが、一八六〇年パリーに於て設立されるやうになつたのであります。之は諸國にあるユダヤ人は、各々文明の程度言語及び生活法を異にして居るに拘らず、皆共通の敵を有することを發見し、不知不識の間に協同防敵の必要を

ユダヤ人が感ずるに至つた結果であると、ユダヤ人は申して居ります。此の全世界ユダヤ人同盟に就ては、非常に研究すべき面白いことがありますが、餘談に亙りますから茲では省くことに致します。

兎に角この同盟の設置に依つて、ユダヤ人は佛蘭西人としてでなく、獨逸人としてでなくユダヤ人として生きんとする處の精神をモボ・ユダヤ人に喚起したのであります。其後ユダヤ人の中のカール・マルクス及びラッサールと共に、獨逸のプロレタリアの第一線の闘士として現はれたるモーゼス・ヘスと云ふ人が「ローマとジェルサレム」なる書物を著し、同化主義に對して宣戰を布告しました。又ゲオルゲ・エリオートやビーコンスフィールド（ヂスレリー）等の人々が「ユダヤ國家小說」を書きまして、ユダヤ人の爲めに創造的の思想を皷吹し、ユダヤ同化主義の消滅に貢獻しました。

六、ヘルツル博士の出現とシオニズムの唱導

斯くてブタペストにドクトル・ヘルツルと云ふユダヤ人が現はれたのであります。ヘルツル

はユダヤ人の特性を哲學的に說明した近代の最も達識且つ公知の代表的人物であります。彼はユダヤ國民の存在と云ふ事に對し確固たる信念を保有し、未だ嘗て少しの疑ひをも挾んだことがなかつたのであります。そしてあらゆる機會を捉へて、ユダヤ國民の存在を世の中に發表したのであります。ヘルツルは恰度パリーに於て、全世界ユダヤ人同盟の創設された一八六〇年洪牙利のブタペストに生れ、一九〇四年に歿しました。彼はウヰーンに於て法律を學び後に文學に沒頭し、最後は小說家として筆に親しんだのでありますが、此間に於てシオニズムを唱導し、ユダヤ民族に更生の力を與へたのであります。彼は一八九六年「ユダヤ國」と云ふ本を著しまして、全世界のユダヤ人に檄しました。この本はシオニズムの原本とも云ふべきもので、之れに依つて、ユダヤ人等は一國民たる自覺を喚起せしめられたのであります。此のユダヤ國は二十箇國の國語に飜譯されて全世界のユダヤ人に配布されました。ヘルツルは「ユダヤ國」に於て『同化主義者等は、ユダヤ人の社會的向上と其の幸福を計らんとして、其實は自らユダヤ民族の消滅を計りつゝあるものである。幸福どころかユダヤ民族に取つて之れほど不幸なことがあらうか、ユダヤ人は一國民である、一國民である以上は一國を持たねばならぬ、若しユ

ダヤ人にして一國を持たんと思ふならば必ず持ち得るのである』と叫び、尙彼はパレスタインへのユダヤ人移民計畫を詳述して『如何なる人と雖も、國民を其の居住地から他の居住地に强いて移住させる權力と財力とを有して居るものはない。之れをよくするものは唯一つの思想があるばかりである。其の威力を有するものは國家思想である。ユダヤ人は其の歷史の全夜を通じて、此の王國的夢を結ばなかつたことはなかつた。「ジルサムの春夏秋冬」とは、我々の古來から渴望した言葉である。今やこの問題は、此の夢から白日的思想を作り得ると云ふことを示さうとするにある』と叫んだのであります。

シオンの地に愛著せるユダヤ人の思想は、上述の通り時に多少の消長曲折はありましたが、兎に角今日まで消滅することなく續いて來たのであります。而も此のヘルツルの新しき叫びに依つて、此のシオン思想は所謂シオニズムとして明瞭なる一新形態を賦與され出現するに至つたのであります。從つてヘルツルは、シオニズムなるもの丶發明者でなくして、之に新しき形を賦與し明瞭に之を公表した處の唱導者なのであります。

カールマルクスは御承知の通り、有名なるユダヤ人でありますが、マルクスはユダヤ問題に

關して次の様な思想を抱いて居りました。

『現存の社會秩序の倒壞は避くべからざるものであつて、此の秩序の倒壞と共に全人類の自由の日が來る。此日に於てユダヤ問題も亦解決せらるゝであらう』

この思想に對しシオニズムは、ユダヤ問題が全く器械的に獨りで解決を見る様に考へて、棚から牡丹餅でも落ちるのを待つてゐる様な態度で、其の解決の日を待つのは餘りに樂觀に過ぎて、ユダヤ民族に取つて甚だ遺憾極まる不幸であるばかりでなく、非常に危險であると云ふことを指摘し、そして『ユダヤ人の社會的經濟的全生活は一新する必要がある、又其の組織は變更されねばならぬ。斯くて後初めてユダヤ人が人生の社會改造に參加するの可能を生ずるであらう』とマルクスの思想を喝破しました。

斯くて一八九七年、ヘルツルは多大の私費を投じまして、ウヰーンに「世界」と名づくるユダヤ教會を創設し、次で同年八月二十九日から三十一日に亙り、全世界のユダヤ人代表者をバーゼルに糾合して第一回シオン會議を開催しました。この第一回會議は通常、「バーゼル會議」と稱せられてゐます。ユダヤ人の所謂陰謀書として最も有名であり、且つ著者の署名がない處

から本物であるとか僞物であるとか種々の說のある處の「シオン議定書」は、此の第一回シオン會義に於ける祕密會議の議事錄であると謂はれて居ります。此の議定書に就ては出來ますことなら、別項に於て更に申述べ度いと思ひますが、其の原本は現在ロンドンの大英博物館に保管されてありまして、私も夫れを見て參りました。私はユダヤ研究の立場から、此の議定書が眞のユダヤの議事錄であらうとも、又非ユダヤ人の捏造したものであらうとも、其のことは強いて問題とするに當らないものであつて、其の眞僞の如何を問はずユダヤ人の實際運動を觀察し、ユダヤ人の社會哲學を見る上に於て實に缺くべからざる貴重なる文獻であり、且又吾人が現在の世相に對し、之に依つて敎へらるゝ處が甚大であると信ずるのであります。

七、シオニズムの徹底とバルフオアの宣言

此シオン會議は其後每年開催されまして、第二第三シオン會議と呼んで居りますが、數年前より隔年に開く事となり今日に及んで居ります。最初ヘルツルがシオニズムを唱導した當時に於きましては、之から起る處の不安と無理解から或は嘲笑し、或は之を排斥するユダヤ人もあ

りましたが、愈〻會議が成立しますと、シオニズムはユダヤ人共通の思想となり、ユダヤ民族の統一は日と共に鞏固を加へたのであります。そして世界大戰の直前には、會員（シオニスト）の數約五十萬を算し、世界大戰に依つて、世界各國のあらゆる組織は、或は衰退し或は破壞せられたるに拘らず、シオニズムの組織のみは非常なる發達を遂げ、一方に於て露西亞帝政に對する革命を援助し、又一方に於ては英國政府を動かして世界大戰の末期、英國埃及遠征軍が土耳古軍を追うて、長驅して將にジェルサレム城に入らんとするに先ち一九一七年十一月二十日、時の英國外務大臣バルフォーア氏をして英國政府の名に於て、ユダヤの巨頭ロスチャイルド男に宛て、パレスタインにユダヤ民族の祖國建設に關する次の宣言書を提出せしむるに至つたのであります。

『英國政府はパレスタインにユダヤ人の爲め鄕國を設立せんことに對し好意を有し、其の目的達成を容易ならしむる爲め最善の努力を爲さんとす。但しパレスタインに現存する非ユダヤ人團體の民事及び宗教上の權利竝に他の諸國內に居住するユダヤ人の權利と政治上の地位とを毀損することとなし』

實に此のバルフォーアの宣言は、ユダヤ史上に新紀元を畫したものでありまして、ユダヤ人は其シオニストたると然らざるとを問はず、欣喜雀躍してユダヤ萬歳の叫びは地球の果まで響き渡つたのであります。此宣告は一九二〇年サン・レモに於ける協商國最高會議を通過してパレスタインは英國の委任統治となり、更に一九二二年國際聯盟も亦之を承認するに至りました。

さて斯の如くシオニズムは、愈〻ヘルツルの所望の如く具體化されまして、シオン團の組織が國際的に公認さるゝと共に、シオニズムの運動が頓に活氣を呈したことは申すまでもありません。現在に於てはシオニストの數が遂に百萬を算するに至りました。又縱ひシオニストでないユダヤ人であつても、此のシオニズムの精神が浸潤されまして、「ユダヤ人はユダヤ人なり」といふ觀念が全世界のユダヤ人の間に喚起されたのであります。

又實際に於て、縱ひシオニストでないにしましても、「ユダヤ人」なる觀念に生きた以上、ユダヤ人として自國の復興、同族の發展向上に不贊成なる者のある筈がありません。ユダヤ教徒は勿論、改宗ユダヤ人も混血ユダヤ人も悉く双手を擧げて、ユダヤ國の復興を待つてゐるのであります。蓋しヘルツルの叫びの偉大なる功績は、ユダヤ民族が其の祖國パレスタインにユダヤ

國を復興する爲めの自由を獲得した其のことよりも、將に民族意識を解消し、自己民族を此の地球上より消滅せしめんとしたユダヤ人をして、其の本質に立歸らしむると同時に、彼等をして强烈なる民族愛に包括し、鞏固なる國民的團結を作成せしめたことにあるのであります。

ユダヤ民族は全世界にシオニズムの覺醒に依つて、世界ユダヤ國が建設されたと見ることも出來やませんが、事實上シオニズムの今尙ほ分散居住し、パレスタインには未だ其の一部が集結したに過ぎうと思ひます。從つてヘルツルに對する現代ユダヤ人の尊敬追慕の念は非常なものでありまして、シオニストの家庭に於ては必ず氏の肖像を、恰も基督敎徒が聖像を掲げる如くに壁間に掲げ、又シオニストの藝術品には殆んどあらゆるものにヘルツルの像を畫いてゐるのを認めるのであります。

八、シオン團の編成と行政

シオン團は一九二一年國際聯盟の公認に依りまして、愈〻公式に設立されましたが、其本部をロンドンに置き、かの科學者として有名なるワイズマン博士が其の總裁となりソコロフ氏を行

政部長に任じました。

其後一九二六年十月本部をロンドン及ジェルサレムに分置しまして、ロンドンの本部はシオン團全部の内政を管掌し、パレスタインの本部はパレスタインに於ける移民業務、土地の買收を初め各種經濟竝に文化的施設其他の事務を管理して居ります。

行政部員は全世界のシオニストの中から約十名を選び、其の半數はロンドンに、あとの半數はジェルサレムに居ります。

ワイズマン博士は二三年前まで總裁でありましたが、現在は引退して行政部長のソコロフ氏が總裁に就任してゐます。

シオン團は此のロンドン及びジルサレムの本部を中心として、殆んど世界各國に支部が配置され、其數は五十七國に亙つて七十六個あります、七十六個の中で、四十七個は一國の内に多數の分體を有する聯合體のものでありまして、二十四個は濠洲、支那及び日本の如き諸國に分離獨立して居ります。尚ほ一個の國際婦人シオン團なるものがあり、其他にシオン主義の特殊なる主張の上に建てられた處の別働團卽ち正統組、勞働黨、社會黨及び古代マカベス社の四つが

ありまして、合計七十六個となるのであります。

更に又行政部は政治事務の爲めにジュネーブ、パリ及びローマに特定局を持つて居ります。我が極東に於ては、シオン團の最有力なるものは上海及びハルピンにありまして、其他長崎、天津、奉天に設けられてゐます。

シオン會議はシオン運動の最高の權威でありまして、前會議後に於ける重要事項を論議し、將來の政策及び運動に對する決議をなし、在パレスタイン行政部及び植民事業の支出を定め、又行政部及び財政經濟會議の總委員を選定することになつて居ります。

二十、ユダヤ民族の通信連絡

シオン團の通信連絡は、パレスタイン行政部に於てロンドンの總本部を通じ全世界のシオン團と通信連絡を保持することになつて居ります。

機關誌としてはパレスタインに於ける「ニュー・ジュデア」「オハラム」及び其他の公刊物があります。尙ほ各國に散在するシオン團は各々機關誌を持つて居りまして、例へばハルピンには「エウレイスカヤ・ジーズニ」、上海には「イスラエル・メッセンジア」、ベルリンにはベルリンのシオン團機關誌が發行され、是等一般シオン主義公刊物は英語、佛語、獨逸語、露語、ヘブライ語、イーディッシュ語等十四國語に亙り其數全世界に於て約千數百の多數に上ると申して居ります。

是等の各地に於ける新聞雜誌は、各國シオン團の間は申すに及ばず、各國に於けるシオニスト

の間に交換分布され、全世界に織るが如く緊密なる連絡網を形づくつて居ります。

尙ほ此外にシオン本部の巨頭たる行政部員を初めとし、各地の團員は交互に連絡のため他のシオン團間を往復し、其の連繫の緊密を圖つて居ります。勿論某地に於て爲されたユダヤ民族に關する事件は事の巨細を問はず。卽時シオン團本部の中樞に報告せられ、同時に關係諸團體に通報せらるゝことは申すまでもありません。卽ち世界を緊密なるシオン網に依つて蔽うて居るのであります。

なほユダヤ人の相互連絡に就きましては、曩に此のシオン網ばかりでなく、全世界ユダヤ人同盟であるとか、フリーメーソンであるとかの、世界的各種の連絡が夫れ〳〵緊密に行はれ、其の外に、ユダヤ人の世界的經濟組織に於ても、亦夫れ〳〵必要なる連絡網が編成さて居りまして、恰度吾々日本人が、日本の內部の出來事を時々刻々承知することが出來ると同じ樣に、彼等が全世界の出來事を時々刻々承知し、之に對して必要なる處置を執るのであります。

ユダヤ人は世界に分散して居りますが、其の連絡の緊密なることは、以上の如くであります、卽ち連絡は團結の基礎でありまして、連絡が惡くて、團結の鞏固であるといふ筈はありません。

ユダヤ民族が、非常な組織的緊密な連絡を有することは、如何にユダヤ人の團結が鞏固であるかを物語るものであります。

二十一、ユダヤ人の相互扶助

ユダヤ人が世界分散狀態にあると共に、彼等が同族であるといふ思想は、自ら此の通信連絡を緊密ならしめるのでありますが、之れと同時にユダヤ人の相互扶助といふものは、實によく行はれて居ります。

ユダヤ人は世界の富の大部分を握つて居る大金持でありますが、勿論其の中には貧乏人もない譯ではありませんが、然しユダヤ人には乞食がないと申して居ります。之れは相互扶助のよく行はれてゐる實證でありまして、ユダヤ人は或る一國から他國に當てもなく流れて行き、之れといふ職業の見當らぬ時は、直に其の同族の間に出來て居ります處のユダヤ共濟會なり、ユダヤ移民事務所なりに訪ねて行けば、たとひ卽座に職業が與へられないまでも、食ふに困る樣なことは決してないのであります。

私は海外旅行中、之等のユダヤ人の相互扶助機關を諸所で見ましたが、誠によく出來て居りまして、却つて下手な公使館や領事館の仕事よりも、實際的で非常な人情味を以て事に當つて居ります。勿論彼等はユダヤ國の領事館や公使館を持つてゐる譯はなく、各〻國籍としてルーマニアなり獨逸なりを持つてゐますが、彼等としては其の國籍國の領事館の存否に拘らず、兎に角ユダヤ人はユダヤ人を以て救濟するといふ樣にやつてゐるのであります。

土耳古あたりのユダヤ人は、世界での最も貧乏なユダヤ人の集りと云はれて居りますが、他の國々と同じ樣に、其の子弟の教育の爲めには、ユダヤ人の中小學を建て、病院より養老院に至るまでを設備して居ります。然し此の莫大な費用は、勿論在住土耳古ユダヤ人に支出し得るものでないことは明らかでありますが、それでは其の費用は土耳古政府の補助を受けて居るかといふに決して左樣ではありません。それは遠く亞米利加のユダヤ人團體から其の經費を補助して居るのであります。

私が小亞細亞からバルカン諸邦を經て、歐羅巴諸國を旅行した所見に依りますと、ユダヤ人が其の中小學校教育を、其の國の一般學校に於て受けさせて居るのは、唯佛蘭西とソヴェート

露西亞だけであつた様に記憶して居ります。露西亞とても帝政時代には、矢張りユダヤ人の百人と集つて居る處では、少くも小學校を格別に持つてゐたのであります。

此のユダヤ人の學校の管理は、ユダヤ教會が普通之れに當つて居ります。ユダヤ教會は或る意味に於て、ユダヤの政治機關であります。卽ちユダヤ人は其の國の政治を受けながら、一方では此のユダヤ教會の政治に服して居るのであります。

然し米國の如きは、米國ユダヤ委員會なるものがありまして、全米國を十二區に區分し、政治的國際的諸問題に至るまで、之れを取扱つて居ります。次に參考の爲めユダヤ委員會の憲法の一部を掲げませう。

一、……米國ユダヤ委員會は國民的組織のものなるが故に、ニューヨーク市のユダヤ諸團體が之と結合する場合には、該團體は全國を通じてのユダヤ政策を樹立するに當り、發言權を有するものとす。

二、米國ユダヤ委員會は、一般ユダヤ人に影響を與ふる總ての國家的又は國際的問題に對し、獨斷的支配權を有する事を感銘するを要す。

三、米國第十二區の委員二十五名は、ケヒラ（結社）より選定せられ、ケヒラの實行委員を形成するものとす。

以上を以て見ても、ユダヤ人の相互扶助が如何に具體的に行はれ、それが政治的にまでも及んで居るかが解るのであります。

尚又、パレスタインのシオン團本部では、其の主要なる業務として、ユダヤ移民の取扱をやつて居りますが、どこの國でも同樣で、移民として來る人間に大金持のある筈はありません。私も寡聞にして日本の百萬長者が、南米や滿洲に移民したといふ、奇特なものを聞いたことはありません。まして各國に經濟的大地盤を有するユダヤ人が、さう易々といくらパレスタインが彼等の聖地で戀しいからと言つて、移民團の中に這入つて來る筈はないのであります。どちらかと言へば、ユダヤ移民も多くは貧乏人でありまして、あとは外の國で壓迫を受け或はポクロム（ユダヤ人狩）に遭つて取るものも取り敢へず避難して來るやうな連中であります。

パレスタインの政治的主權は、委任統治受任國たる英國の總督府でありますが、其の總督府の法律として、移民は上陸の際二百圓ばかりの保證金を、持つてゐなければならぬことになつ

て居ります。

處が移民の中には此のことを全く知らずに不用意で來るものもあり、又知つてゐても保證金などゝいふものは全然持たない連中が尠なからずあるのでありますが、是等に對してはシオン團が、一々金を貸與し上陸させて職業のないものには職を與へ、資金のないものには資金を供給し其の自活の出來るまで一年でも二年でも、たゞで食はしてやるのであります。之れを以て見てもユダヤ人の同族愛なるものゝ如何に强烈であるかゞ解ると思ひます。

此の相互扶助が個人を對照として行はれる時には、第三者には何等の影響もありませんが、之れが國際的に行はれる時には非常なる力を發揮するのであります。

その二三の例を擧げて見ませう。

例へば日本の生糸を佛蘭西のユダヤ人が多量に買占めます。然し佛蘭西では運悪く其の相場も悪るし需要も充分でなく、うまく捌きがつかぬといふ事になりますと、豫てからチャンと連絡が取れて居りますので、チェック・スロバキアなり、獨逸なり波蘭なりの方面で大なる需要のある事が直ちに判明し、其の生糸を買占めた佛蘭西のユダヤ人は、直に此の割合のよい地方

に生糸を運んでやりますから、御本人はたとひ佛蘭西が生糸不況であつても、買占めに何等の不利を受けないばかりでなく、相當の利益を收め、又先方のユダヤ人も之に依つて巨利を博することが出來るのであります。

歐洲大戰の時に獨逸のユダヤ人は何萬噸といふ綿を亞米利加で買占めました處が、其の綿を歐洲に運ばぬ内に亞米利加が參戰しましたので、其の翌日其の綿の名義人はロンドンのユダヤ人の名義に變更され、その綿は聯合國側の綿として悠々と大西洋を渡り、彼等の掌中に收められたのであります。

獨逸ではヒットラーが政權を掌握してから以來、豫ねての政綱であつたユダヤ人彈壓を、ナチス突擊隊をして盛んにやらせましたが、之れに對し獨り亞米利加のユダヤ人ばかりでなく恐らく全世界のユダヤ人が、相互に之に關する意見を交換し、之れに對する對策を講じて居ることは明らかなことと思ひます。而して全世界のユダヤ人は、獨逸のナチス團に對し將來如何なる對策を執るでありませうか。之れは大に刮目すべきことゝ私は考へて居ります。

二十二、ソヴェート露西亞とユダヤ人の關係

一ソヴェート露西亞と共産實施

曩にパレスダインの共產村の御話を致しましたから、序に露西亞の共產に就て、聊か私の所見を述べませう。

露西亞の共產主義の元祖は、申すまでもなくマルキシズムでありまして、マルクスと云ふ人は獨逸に生れた處の眞正のユダヤ人でありますから、現ソヴェート露西亞のコムミュニズムも要するにユダヤ人の產物に外ありません。

私がパレスタイン各地のユダヤ共產村を視察してジェルサレムに歸りました時に、シオン團本部のユダヤ首領達は、私に其の所見を求めた後、次の樣なことを申しました。

『パレスタインの共產主義は、露西亞の共產主義とは全然違つてゐるから、之を混同しない

やうに願度い。露西亞の共産は政治的共産であるが、パレスタインの共産は經濟的共産である。露西亞の共産主義は他人の所有を破壞し掠奪するのであるが、我がパレスタインの共産は、自ら求めて建設する共産で、全然その趣を異にしてゐるのであるから、貴下が日本に歸つて話す時には之を混同しないやうに說明して頂き度い』と。

この注意は一應誠に尤もな注意で、兩者が全然相反する樣でありますが、露西亞の政治的共產も結局經濟を離れて共產の意義がどこにありませうか。露西亞の共產主義は破壞掠奪し、パレスタインの共產は自ら求めて建設すると申しますけれど、パレスタインの共產村を見ますに、共產を希望するユダヤ人のみが集つて、一物もない平野に新しく共產村を建設するのでありますから、破壞すべき何物もなく、又其の必要もないのであります。

然るに露西亞の共產實施には帝政時代の建設が存在し、而も共の實行を急激に、又强制的に行ふのでありますから、結局これを破壞し掠奪しなければならないのでありまして、破壞の後には建設ありとは露西亞の共產主義のモットーとする處で、其の共產建設を目的として居る點に於ては之れ亦、パレスタインも露西亞も同樣であります。たゞパレスタインの共產は其の建

設が可能であるけれども、露西亞の建設は其の建設が不能であると言ふまでゞあります。
何故に露西亞の共產建設が不可能であるかと申しますと、露西亞は一億六千萬の民衆中、共產黨員なるものは、僅かに百萬人そこ〳〵でありまして、而も其の百萬の共產黨員とても眞に共產主義に共鳴し、之れがいゝと思つてやつてゐる連中は極めて小數であります。
或る露西亞人は私に申しました。
『共產主義者中、眞に共產主義がいゝものであると思つて、之れを實行して居る人間は先づ十人の内一割か二割でせう。他の連中は所謂利口な連中で、共產黨員となることに依つてパンを得、權勢を振ふことが出來るといふ打算的な考へから、共產黨に身を投じて居る連中である』
と語りましたが、共產黨員にして既に之れですから、共產主義ならざる露西亞大衆は勿論共產主義に共鳴してゐる譯はありません。況んや、露西亞人は其の八割乃至九割は無學文盲の農民でありますから、日本の大學の先生とか博士とかゞ、何年か硏究に硏究を重ねても結極ハッキリ解らず、牢屋の中で靜に考えに考え拔いて、初めてこれはイカンと氣が付く程面倒なマルキ

シズムの理論が、日本人より遙に低級な此の露西亞の勞農連中に理屈の解る筈がありません。斯の如く何等理解なき連中に對して現露西亞政府は、政治的に共産主義を實行させるのでありますから、勢ひ非常なる權力を以て唯〻壓制してゆくより外には方法がない譯であります。即ち埒内に入るを欲すると欲せざるとに論なく、一億六千萬の大衆を驅つて赤衞軍とゲ・ペ・ウの統制下に共産の埒内に抛り込み、之を一歩も出ることを許さない様にするのでありますから、露西亞當局の骨の折れることは誠に想像以上であります。

パレスタインの共産の如く、共産を欲し其の主義を確實に遵奉し、而も其の窮屈なる生活を續けることに甘んじ得るもののみが集れば、理想的の共産が出來るのでありますが、之れとても小農村に限るのであつて、協同村の樣に少し大きくなると最早や勝手な奴が出て、其の統制が困難になるといふことに依つても、之れが容易ならざることが證明されるのであります。

私は共産なるものは、シオン團首領の所謂經濟共産、即ち政治的の範圍にまで至らない場合に限るものと思ふのであります。然るに露西亞は之を世界六分の一の陸地を占めて居る厖大なる範圍に實行し、剩へ之を全然國情の異なる外國にまで及ぼさうと云ふのでありますから、共

產は其實を失つて其の手段たる掠奪と侵略と專制とが殘るばかりであります。

二、コムニズムの實行者は何人か

さて露西亞のコムニズムはマルクスに源泉を發しましたが、之を實行に移したのは、露西亞人でありませうか。決してさうではありません。之れは矢張りユダヤ人であります。卽ち露西亞の革命以來共產露西亞の實現に沒頭した連中を調べて見ますれば、其のことは頗る明瞭になるのであります。

露國共產黨領袖一覽表

姓名	種族別	職務	革命前の經歷
ヨッフェ	ユダヤ人	前駐獨大使ブレスト竝に對エストニア又び對波蘭媾和全權委員	新聞記者
ステクロフ	ユダヤ人	イズウェスチヤ紙主筆	同
カーメネフ	ユダヤ人	黨本部委員モスクワ勞兵會長	同

コップ	ユダヤ人	伯林駐在代表者	生粋の共産主義者亡命客
ガネーツキー（本名フェルステンベルグ）	ユダヤ人	國立銀行理事たりしことありリガ駐在代表者	一九一四乃至一七年コペンハーゲンに於て銀行事務を營む
レインシュタイン	ユダヤ人	右同 外務部米國課勤務	歸化米國人
ジゥノーウィエフ（本名フッフェルバウム）	ユダヤ人	黨本部委員 第三インターナショナル課長	瑞西に亡命す
グリンケル	ユダヤ人	第三インターナショナル支部に於ける活動家の一人	亡命客
リトウィーフ（本名フインケルシュタイン）	ユダヤ人	外相代理 エストニア駐在大使	瑞西亡命客
トロッキー（本名プロンシュタイン）	ユダヤ人	黨本部委員 革命軍事會議々長	紐育及巴里に於て新聞記者たりしことあり
ポトゥオイスキー	ユダヤ人	革命軍事會議々員	
エムシァーノフ	ユダヤ人	交通相	
メンジェンスキー	ユダヤ人	全露特別警務委員會役員	

ルヰコフ	露人	黨本部委員 前最高國民經濟會議々長	工場取締役
ラデーク	ユダヤ人	黨本部委員 第三インターナショナル本部役員	獨逸及瑞典へ亡命す
クラーシン	露人	外國貿易相	シイメンスシュッケルト工場技師及取締役
チェチェリン	露貴族	外相	外交官たりし事あり（二ヶ年間亡命客）
カリーニン	露人	黨本部委員 全露執行委員會長	鐵工
レーニン（本名ウリヤーノフ）	ユダヤ人	黨本部委員 プラウダ紙主筆	經濟學專攻學生、獨逸及丁抹に亡命す（露人と謂ふ說もあり）
スターリン（本名ヂニガンウィリ）	クルジヤ人	黨本部委員	
カラハン	混血ユダヤ人	外務次官、駐波蘭、駐支那公使	元メンシェウイ派大學在學中イルクーツクに追放さる
ポクダーノフ	露人	最高國民經濟會議長	
シュミット	ラトウイシュ人	元勞働相	

以上に依つて革命主義のユダヤ人等が共産主義の實行に參畫し、之を成就せしめたことは明かに會得せらるゝと思ひます。

尙ほ露西亞革命當時に於ける米國領事フレンシス氏は米國上院の委員會の席上に於て『露西亞革命に當り、ユダヤ人の革命に參加せるもの極めて多く、革命開始當時の如きは、一週間に八百名宛のユダヤ人が入國參集せり』と報告して居りますし、又私が歐洲に於て屢〻露西亞革命に就て、ユダヤ人と語り合ひました際に、ユダヤ人等は

『露西亞人の馬鹿野郎共に革命などが出來るものではない。露帝ツァーを仆し、又共產主義の詳細緻密なる諸計畫を作つたのは皆吾々ユダヤ人であつて、露西亞人の様に粗漫な頭腦の持主にあれだけの大事業が出來るものか』

と露西亞の革命を以て現在に於て尙ほ、共產主義者ならぬ普通のユダヤ人がユダヤ人の誇りとして居る次第であります。

三、マルクスと共産主義

序でながらカール・マルクスに就て、聊か述べて見度いと思ひます。マルクスは日本に於て特に有名でありますが、彼は獨逸に生れたユダヤ人でありまして、其の傳記に依りますと、獨逸政府の忌諱に觸れて英國に亡命し、所謂プロ生活を營んだのでありまして、彼は異民族の間にユダヤ人として受くべき苦惱をより以上に味つたのであります。

ヘルツル博士のユダヤ人に對する檄文「ユダヤ國」の序文の中に

『吾々が下落する時、吾々は革命的無産者となり革命黨の下士官となる。吾々が向上する時、其時は金と云ふ恐るべき力も亦大に向上する』

と述べて居りますが、マルクスも亦、革命的無産者、革命黨の下士官になつたのでありまして、彼がユダヤ人であつたればこそ、彼からマルキシズムが生れ出でたのでありまして、吾々日本人の様に立派なる自國内に安住しては、幾百年經つてもマルキシズムの様な思想は日本人の頭からは決して生れて來ないものと私は斷言致します。

然らば彼マルクスは、非愛國者であり叛逆者であつたかと云ふに、勿論獨逸や英吉利に於ては、危險人物であつたに相違ありませんけれども、彼は其の死に至るまでユダヤ民族の狀態を憂へ、民族愛に燃えてゐた處のユダヤ人でありまして、此事は彼の傳記のよく物語る處であります。

吾々はマルクスが、二千年來革命思想に育くまれ革命的の鞏固なる傳統を有する民族から生れ、而も彼の環境が斯くあらしめたと云ふ事を考へねばなりません。從つてユダヤ人なるが故のマルキシズムであり、共產主義である事を、吾々日本人は深く考へねばならぬと思ひます。

日本の一部の學者達が共產主義を研究して、玆がよいとか、あすこが惡いとか分解批判して居りますが、勿論共產主義とて一から十まで惡いのでなく、中には勿論我國の社會政策上參考となる點もありませう。然しながら分解した一部は既に共產主義ではないのであります。

例へば共產主義を有毒なる水と假定致します。今之れを分解して其の構成分子たる水素が有毒であるが、酸素は有益であるといふことに依つて、其の合成體である處の此の水は、身體に

有益であるといふことを說くのは大なる誤りであります。有害なる水はいくら分解しても、依然として有害であります。況んや之れが如何なる環境若くは如何なる狀況の下に、何の目的で其のものは作られたか、といふことを考へないといふことは、大なる誤りを來す根本的の原因であります。

我が國に隨分學者も居られますが、マルキシズムの分解檢査のみに沒頭し、或は之に初めから陶醉する人々もありますが、一人として其のマルキシズムが、どこから如何にして何の目的で發生したか、と云ふ事に就て檢討する人のないことは、誠に遺憾極りなきことであります。

先づ玆に、過般東京日々新聞に掲載された「兩個のユダヤ人」と題する、德富蘇峰氏の一文を採錄し、更に一讀を煩し度いのであります。

『何人もバートランド・ラッセルの文を讀む者は、其の議論に感心するとせざるとに拘らず、其の文字の明快澄徹にして、然も銳利、新尖なるに驚嘆せざるものはあるまい。(中略)記者が最近に一讀したる「教育と社會的秩序」の中の『教育に於ける群れ』の一章に、少年時代

其の群れに對する恐怖心が、如何に其者の一生に關係を持つかに就て、叙説したる一節の中に、ユダヤ人の引證に於て、其の兩極の例を、マルクスとヂスレリーとに採りたる一項は、最も痛快だ。

曰くユダヤ人は、假令自由の社會に於てさへもユダヤ人として侮辱せらるる。而して此の少年時代に於ける侮辱が、彼等の記憶に活きて、それが彼等の人生觀、社會觀の全面を彩色し來ることゝなる。

彼等は家に在りては、ユダヤ民族は上天の選民であることを教へらるる。世界中尤も優秀なる種族として教へらるる。而してそれが外に一歩踏み出すや、乍ちユダヤ人として嘲笑せられ、輕侮せらるる。此の兩者の衝突が、彼等の神經系に多大の影響を來たし、疑懼の念を萠長せしむる。

而して其の反動の結果、一方に趨く者は、革命的となり、他方に趨く者は、追從的となる。乃ち其の兩極端の標本として、カール・マルクスとヂスレリーとを擧げねばならぬ。

若しマルクスが、ユダヤ人でなかつたならば、決して社會の現在制度に就て、憎惡を感じ

なかつたであらう。然もマルクスは異邦人を憎惡するには、餘りに聰明であつたから、その憎惡を異邦人から移して資本家の上に措いた。ヂスレリーはユダヤ人に生れたが基督敎徒になつた。彼は異邦人の貴族的華麗と王政的赫耀とを嘆美し、身を以て其の核心に投入した。斯の如く群れに對する恐怖心は、其の一方を驅りて革命家たらしめ、他の一方を驅りて追從者たらしめた云々。

以上はほんの意味だけを摘錄したるに過ぎない。されど此の例が一般に通用するか否かは別として、マルクス、ヂスレリーの例だけは破的と云はねばならぬ。而してマルクスの心醉者も、此點だけは心得置く必要があらう。』

私はこの記事を一讀して、德富蘇峯氏の云ふが如く全く『此點だけは我國のマルクス心醉主義者の心得置くべき』ことであると深く感じたのであります が、然しラッセルの言葉に依ると、ヂスレリーを、異邦人に對する追從者としてマルクスに對照してありますけれども、彼ヂスレリーとて、決してユダヤ民族たる自覺を失つたものではありません、寧ろ同化主義者の危險に對して「ユダヤ國家小說」を作つて警告したことは、シオニズムの章下に於て私が申述べた通

りで、ユダヤ人ベルンシュタイン博士は、彼に就て次の如く述べて居ります。

『一八七八年に至り、バルカン諸民族が解放され、多數小民族の生活に一轉機を齎した。彼の英國をして、世界を國とするに至らしむるに與つて力のあつたビーコンスフィルド（デスレリー）は、東方に於て新秩序を創設し、諸小國の獨立運動を成功せしむるに貢獻したが、此のバルカン解放者は、深甚なる愛と達觀とを以てイスラエル民族に對し、且つ彼は胸中にパレスタインの將來の狀態を畫きつゝ之に注意を拂つた。又彼は東方小民族が歐洲民族の力を藉りて、各〻自由と獨立とを得たる此の時に於て、文化の程度高きユダヤ民族のみが、獨り歐洲諸國壓迫の下に分散し、奴隸的境地に生を偸むのは、是れ歷史的にも政治的にも、不可解且つ不合理なことである。凡そ人間たる以上ユダヤ民族に對しても、爲すべき何等かの義務があるではなからうか。セルビア、モンテネグロ、ブルガリア及びリバノンが解放さることが出來て、何故にユダヤ人のパレスタインのみが新生活に導かれないのであらうか。

と彼は感じた。それで彼はユダヤ獨立戰爭時代を題材として面白き國家小說を創作し、パレスタイン解放の思想を以て終生の事業とし、且つ東方に於ける偉業を完成したる傳說の如き

英雄ダヴィド・アルロイの生活及び奮闘を叙述した。此の書は文學的作物ではなく、此の英政治家の著した修飾を施した政治的記事で、ユダヤ民族に對する警告書である云々』

四、現ソヴェート露西亞はユダヤ戰法を踏襲す

さて又、ソヴェート露西亞の話に舞ひ戻りますが、露西亞革命當時に活動したユダヤ人のトロッキー、ジノヴィエフ、ヨッフェ等錚々たる連中は、露西亞の反ユダヤ主義の勃興と共に、第一線から一掃されまして、私が過般露西亞に參りました時には、次官級に唯一人のユダヤ人を留むるのみでありました。

然しながら革命當時に於て、全露西亞を支配した處のユダヤ勢力が、根本から覆されるといふことはありません。現在に於ては第一線の政治家こそありませんけれども、實際露西亞で仕事をして居る處の中堅は、依然ユダヤ人を以て固められてゐます。

露西亞革命後間もなく、シカゴ・トリヴューン紙は、一九二〇年六月十九日其の第一面第一欄に

『トロッキーはユダヤ過激派を率ゐ、世界支配權を獲得せんとす。過激主義とは斯の如き企圖に對する彼等ユダヤ人の一手段に過ぎず』

と論じ、更に同論説の第二節に於て

『ボルシェヴィズムの目標とする處は、現在社會の破壞顚覆にして、勞働者の國際的同胞主義を世界の支配者たらしめんとするにあり。而して其の第二の運動は、新たなる民を以て新しき支配階級たらしめんとするにあり。英國佛國及米國の各政府の調査發見に依れば、第二段計畫の指導的人物はユダヤの極左傾者なり』

と論ぜられましたが、現在露西亞の爲政者たるスターリン等の非ユダヤ人は、ユダヤ人に依つて始められた處の共産政治形式を共儘踏襲し、假令惡いと思惟しつゝも共産主義を手離すことは結局自己の沒落となるので、國内に於ける實行が資本主義に退却しやうが、帝國主義的專制政治を實行しやうが、兎に角表面だけは、謂はゞユダヤ人の異邦人征伏計畫を以て自己の政策とし、其の野心を滿たすに汲々としてゐるのであります。

斯樣な次第で彼等現ソヴェート政權の人々は、ユダヤ人自身の利益のために計畫され、且つ

共産主義それ自體の理想とかけ離れて、全く實行不可能な政治共産を、恰も人生のパラダイスであるかの如くに、國外に宣傳放送して居る、此の根源を究めないで、之れを眞面目に取入れ、我國に實行せんとするが如きは其の愚や及ぶべからずであります。

我が國の勞働者が、露西亞は我等の祖國なり、露西亞は我等のパラダイスと謳歌して居りますが、我々は露西亞の隣人として、又我が皇國と全然反對の立場にある國家として、之を正當に認識する爲めに、此の所謂パラダイスに就て、革命後の極めて概略の經過を、ユダヤ問題に關聯して申上げますことは徒爾でないと思ひます。

五、革命の順序と政治共産實施の不可能

露國の革命の原因に就て一般の歴史家は、露國に於ける政治組織の缺陷、國民生活の不安定にあると說いて居ります。卽ち政治組織の缺陷と申しますのは、皇帝は絕對不可侵の神授權を固執し政治宗教の兩權を掌握し、又皇帝の左右に侍する貴族等は皇威を恃んで、虎の威を借る狐の態度を以て國民に臨み、所謂少數貴族の專制政治を實施して居りました。例へば日露戰後

の當時に於て、漸く皇帝は憲法を發布し議會を招集致しましたが、それは名のみでありまして、其の內容は依然專制政治でありました。斯かる有樣でありましたから、宮中府中は共に國民の怨府となり、虛無黨は愈〻相結束して、皇室を絕滅する爲めに腐心して居りました。

次の原因たる國民生活の不安定と申しますのは、一九一四年歐洲大戰の突發に當りまして、國民の愛國心は勃然として起り、之が爲めに一時は專制政治に對する憤りを忘れ、官民相協力して外敵に當るの覺悟をしたのでありますが、戰亂の繼續するに從ひまして、民間に對する物資供給がうまく行かず、今までの衣食の工場は軍需品の工場と化し、交通機關は兵器糧食の輸送機關と變じ、遂に日日の生活資料が缺乏を告ぐるに至りました。一九一六年の冬になりますと帝都ペテルグラードは申すに及ばず、一般の各都市も頗る物資が缺乏しまして、國民は非常に悲慘なる狀態に陷りました。

此樣に國民が內に在つて困苦缺乏に堪へつゝある間に、露軍は獨逸軍の猛擊に對し奮闘致しましたが、兎角敗戰勝ちであつたのであります。

此の國內の不安なる有樣が、軈て國內の擾亂を釀す處の酵母であつたのでありますが、一方

に於て、皇后アレキサンドラは怪僧ラスプーチンを信任し、官規全く紊亂致し、醜態を國民の前に曝露するに至りました。

そこで一九一六年十二月に慷慨悲憤の皇族が相諮りまして、ラスプーチンを暗殺し、宮中の大改革を企てましたが、皇帝は却つて暗殺に關係した皇族を追放し、翌年一月に召集すべき筈の議會を二月に延期しました。

生活の安定を缺き、戰時行政の不備を憤りました處の國民は、一九一七年三月相群集して政廳に迫り、口々にパンを與へよと叫び、市內は騷然として鼎の沸くが如き有樣となり、茲に革命の導火線は火を點ぜられたのであります。

そこで十一日には露都に戒嚴令が布かれ、軍隊は暴民鎭壓のため街路に繰出されました。開會中の議會は社會民衆黨の意見に贊成し、其夜政府を瓦壞せしめ、翌日假政府を組織し、議長ロジャンコは議會の內外に諮りまして、リボーフを首相に、民衆黨首領ケーレンスキーを司法大臣に任命しました。

其後四日目の三月十五日には、皇帝は臨時國民政府の勸告に從ひ退位の勅令を發し、皇帝ア

レキサンドルウィッチに皇位を讓り、クリム半島の離宮に移されました。續いてケレンスキーは新帝に退位を迫り、ケレンスキーは假政府の大統領に就任し、玆に三百年來歐洲に蟠居して居りました處の露西亞大帝國は崩壞し、革命後僅かに十日にして民主平等の共和國たることを聯合軍から承認されたのであります。

然るに革命に依て勢力を得た處の過激派は、此機に於て下層階級を煽動し團體を組織し、更に兵士を勸誘して勞兵會を組織し、盛んに暴威を逞しくしたのであります。

この勞兵會の指導者はユダヤ人であつたのでありまして、其後かのイカテリンブルグに於て皇帝以下皇女に至るまで暗殺されたのでありますが、暗殺者の一味十六名中、慥か十三名まではユダヤ人であつたと記憶して居ります。

私が嘗てシベリア某地に滯在中、其の皇帝暗殺者の一人が白系露人のために逮捕され牢獄に入れられたので、私は物好きにも警察署長に賴んで其男を見に行つたことがありました。

さて假政府の大統領に就任したケーレンスキー、彼は混血ユダヤ人であります、當時戰線には數百萬の軍隊が現存して居りましたが、ケーレンスキーは如何にして此の數百萬の帝政露軍

をして、彼に反抗せしめずに、之を崩壊せしめたであります。
それは戰場に活動し疲勞困憊してゐる處の軍隊に向て、次の言葉を宣布したのであります。
『將校は汝等のトワリシチ（友達）なり、兵卒は敬禮するに及ばず』
此の一言が新主權者の命令として軍隊に傳はりますと、戰爭に倦み疲れ、惡しき給與に飽き、獨軍の猛烈なる攻擊に士氣沮喪せる愚昧なる露兵は、直に將校の命を拒み、甚しきは此の機會なりとばかりに將校を侮辱し、中には兵卒が將校を追放虐殺するといふ樣な狀況が演出せられまして、軍隊の生命たる軍規は根底から顚覆せられ、統制は全く亂れて蜂の巢を突つついた樣な有樣となりました。
そこに持つて來て、皇帝や貴族將校の罪惡を列記し、共產主義の甘き理想を說いた宣傳を飛ばしたのでありますから、忽ちにして昨日までは兎に角强敵を向ふに廻して、激烈なる戰鬪を繼續してゐた處の露西亞の大陸軍も、四分五裂に崩れてしまつたのであります。
この自由平等の蜜の樣な甘い言葉ほど、衆愚に取て危險なるものはありません。自由平等が民衆の手に渡された時、それは直に放縱と化し、秩序は破壞され悲慘なる混亂が惹起するので

ありまして、誠に恐るべきものであります。秩序ある處にこそ幸福があるのでありまして、混亂の中に如何にして幸福を求め得られませうか。

斯くてユダヤ革命家として、ニューヨークの下町に蟄居してゐたトロツキーが、佛蘭西のブルジョアユダヤ人から莫大なる軍資の供給を受けて、露都に飛び込んで來ます。續いて獨逸政府は敵國露西亞の徹底的崩壞を爲さしむる爲め、レーニン以下の革命家を貨物列車に封じて窃かに露都に潜入せしめました。

レニンの夫人がユダヤ人であることは確實でありますが、レニン其の人に就てはユダヤ人とも云ひ、露西亞人とも云ひ確かなことは解つてゐません。

この有名なレニン、トロッキーが、混亂の露西亞の舞臺に飛び上つて來たのですから堪りません。彼等は直に勞兵會の指導者となり、盛んに共産思想を宣傳し、國家の爲めに戰ふことの愚なることを高唱しましたので、軍隊は益〻混亂し、兵士が將校の命令に從はないばかりでなく、平然として自己の上官を銃殺するものさへ生ずるに至りました。

此の混亂に乘じ十一月六日レニン、トロツキー等は臨時政府を倒し、新に過激派政府を組織

し、遂に大露西亞の支配權を完全に其手に掌握し、一九一九年三月三日大なる讓歩の下に、獨墺以下の同盟諸國と單獨講和をなすに至つたのであります。

レニン一派が政權を掌握しますと、其の理想たる共產主義國家の建設に邁進し、外は戰爭即時中止と同時に外債の破毀を世界に宣言し、內は農民への土地分配、產業國營、鑛山、鐵道、工場の沒收等急激なる大變革をやり初めましたが、一切が支離滅裂でありまして、國民の生活苦はいやが上にも增大したのであります。

加之、一九二〇年から二一年に亙りまして、オルガ地方に大饑饉が起り、之が爲め人民は人肉を食ひ藁パンを食するも尙ほ足らず、之れが爲め遂に餓死したるもの、實に八百萬と稱せられます。

斯くレニンの共產天國は全く裏切られたのでありますが、何故にこの理想政策が敗れたかと申しますと、農民は一時、土地の分配、生活の平等など共產主義の理想に非常に歡喜しましたが、愈〻收穫時になりますと、生活に必要以外の農產物は、總べて政府に無償沒收になりましたので、其の次ぎからは自分の食分以外に誰れも働かなくなりました。いくら善良過ぎる農夫

であつても、たゞで他人の田を造る人はありません。それに又露西亞の人民は農夫ばかりでありませんから、農民が自分以外の食物を作らなくなれば、農民以外の人々の口にパンが這入らなくなるのは當然であります。茲に共產主義の人間性を無視したる矛盾があるのであります。

茲に於て、流石のレニン一派も非常に弱りまして、一九二一年彼等は理想派の反對を押切つて新經濟政策を實行し、資本主義に退却したのであります。

卽ち其の主なるものは穀物の無償徵收を廢止して買上げること、收入の多寡に應じて課稅すること、土地賃借の許可、雇傭人の許可、個人商業の自由、勞銀を技倆勤怠に依つて差別すること等でありまして、之れは相當の效果がありましたけれども、主義上から國民を壓迫して重き累進稅を課しました。

然しながら理想主義の弊に依つて疲弊したる經濟狀態に對しては、之れ位のことでは到底救ふことが出來ませんでした。

そこで一九二五年、又々主義の一部を放棄し更に右變して、新々經濟政策なるものを樹立したのであります。

この新々經濟政策と申しますのは

(1) 個人商業に對する壓迫の停止

(2) 無制限に使用人を許す

(3) 八時間以上の勞働を許す

(4) 個人商業の租税を減ず

(5) 銀行の信用貸を許す

(6) 個人資本に一定の保障を與ふ

(7) 熟練職工の賃銀を大に增加す

等が主なるものでありまして、以上再度に亙る資本主義への退却の結果、農工業は大に振興し、概ね世界大戰前に於ける帝政時代の水準まで回復する樣になりました。

其の結果、クラークと稱する富農が出現し、ネップマンがソヴェート露西亞に現はれる樣になりました。ネップマンと申しますのは、新しき政策に依つて生じた人間といふことで、日本の所謂成金を意味するのであります。

之れが爲め一部の共產黨員の中に物議を醸しまして、之等資本主義への退却に對し

『革命の意義を沒却し共產主義を冒瀆するものなり』

と云つて騷ぎ出しましたが、共產の大御所たるレニンは、兎に角之れを抑壓し、新政策の實行に邁進しました。

一九二四年レニンが歿しますと、茲にスターリンが彼に代つて權勢を揮ふやうになりましたが、革命の元勳たるトロツキー、ジノヴィエフ等の人々は新經濟政策を攻擊し、茲に新經濟政策を維持せんとするスターリン一派卽ち幹部派と、之に反對するトロツキー一派卽ち反幹部派との間に、激烈なる闘爭が起り、之が爲めソヴェート露西亞の將來も危ぶまれた程でありましたが、幹部派は反幹部派に對し大彈壓を加へ、之れが爲めトロツキー一派の反幹部派は徹底的に掃蕩されました。

レニン並にスターリンの主張する處は、露西亞内部が共產主義に依つて、斯く金缺病に罹つてゐては、將來の大目的たる世界赤化などゝ云ふことは到底覺束ないことである。先づ內を堅めて然る後に外部に向ふべきである、之れが爲め一時資本主義への退却も止むを得ないといふ

のであります。

反幹部派の方は共産主義に遠ざかつて、資本主義に近づくと云ふことは、我々共産黨員を統御して行く道でなく、又我々共産黨の恥辱である、結局我々は失脚して、行くべき道がない。國家の内部に對しても外部に對しても、眞直ぐに共産主義で押し通せといふのでありまして、謂はば之等反幹部派は理想主義者なのであります。

斯くて幹部派は激烈なる爭闘の後、反幹部派を徹底的に彈壓しました、然しながら幹部派も共後遂に反幹部派の理想主義を採用しまして、又もや一九二七年政策を左變するに至りました。

結局之れは反幹部派の唱へた處その儘でありましたから、反幹部派の連中はスターリンは我等の政策を盗用したのであると攻撃しました。

勿論一般民衆殊に農民は、此の戰時共産主義への逆轉に對しては、非常なる不平反感を抱いたのであります。又黨内に於ても、露西亞現狀に基礎を置く處の右派が、盛んにスターリンの政策を攻撃し、一九二八年の終りから一九二九年の初めにかけて、スターリン一派は非常なる困難に陷りました。

然しながらスターリンは斷乎として之を排撃し、一方に於ては一九二八年産業經濟の建直しをする爲めに、産業五ケ年計畫なるものを樹立するに至りました。

六、階級爭鬪よりは民族爭鬪

此の幹部派及び反幹部派の鬪爭を其の理想並に政策上から觀察致しますと、以上述べた通りでありますが、更に一歩踏み込んで觀察致しますと、幹部派は非ユダヤ人の連中であり、反幹部派はレニン夫人もトロツキーもジノヴィエフもヨッフェも、殘らずユダヤ人側であります。

それでありますから、歐羅巴の一般ユダヤ人は、此の問題に就て、私と話し合ひました時に『露西亞人の様な恩知らずはない、一體ツァーを倒したのは、誰れのお蔭だ、革命の時は我々の手を借りて漸く成功し、愈〻自分達の希望を達すれば、露西亞にユダヤ人の用事はないと云つて、之を表面上は政策上の意見の相違にかこつけて、ユダヤ人の革命の元老を皆やつつけてしまつた。貴下は之を見て何んと思ひますか、世の中に露西亞人ほど惡い奴はありません』

と卓を叩いて憤慨しました。

事實に於て、トロツキーは土耳古に追放され、第三インターナショナルの議長として、飛ぶ鳥を落したジュノヴィエフは露都から貶黜され、かの日本に來たヨッフェの如きは、スターリン一派の壓迫に堪へ兼ねて、遂にピストルで自殺を遂げたのであります。

いくら共產黨員でも、露西亞人は露西亞を自分の國と思ふと同時に、今まで卑しめてゐたユダヤ人が、自國を支配するといふことは不愉快なことに違ひありません。

從つて此の時分から全露西亞に、反ユダヤ主義が勃然として起り、大學ではユダヤ人學生を排斥し、工場に於て勞働者は

『ジューを仆せ、露西亞を救へ』

と公然にビラを張り廻す樣な有樣となつたのであります。

又一方から觀察しますと、外國人なるユダヤ人の政策と、自國人たる露西亞人の自國に對する考へとが違ふのは當然であります、我々は玆に階級鬪爭などゝ、內輪同志の喧嘩をする前に、先づ民族鬪爭の免るべからざることを觀取しなければならないのであります。

私が嘗てジェルサレムで、非常に世話になりましたカリバリースキーといふ白髪の立派な老人があります。彼の出身は、露西亞ユダヤ人でありまして、二三十年前から佛蘭西のユダヤ富豪ロスチャイルドの代表者として、パレスタインに於ける土地の買占めに着手し、其後シオン團成立と共に、其の全土地をシオン團に寄附し、自らはシオン團の幹部となり、目下パレスタインに於て單にユダヤ人ばかりでなく、アラビア人からも、基督教徒からも、非常な尊崇を受け、歐洲諸國のユダヤ人で、カリバリースキーの名を知らぬものはないほどの人物であります。

私はこの老人と最も親しく交際し、未知の地に於て種々の世話になつたのでありますが、此の老人は、日本に來たヨッフェの從兄でありまして、私にヨッフェに關して、次の樣な物語りをしたことがありました。

『日本に參りましたヨッフェは、私の從弟に當つて居ります。私がベルリンに住んでゐた頃ヨッフェは恰度大學生でありましたが、日曜毎に私の家に來て、茶を飲み本などを讀んで、終日暮して居りました。私は若い時からシオニストで、今では露西亞シオニストの元老でありますが、ヨッフェは私と全然反對で、大學當時から旣に革命主義者でありました。誠に頭

のよい、穩かな可愛らしい小供でありましたが、露西亞革命の際之に參加し、遂に希望を達して段々出世し、ベルリンの大使となり、又日本に行つて後藤伯と日露通商協約を締結するなど、中々立派な人物になつたので、私も蔭ながら大に喜んでゐたのでありますが、先般現露西亞政府は、反ユダヤ主義の思想から彼を排斥し、彼が病氣になつて外國に行つて治療し度いから、旅券を下附して吳れと言つても、現政府は之を與へず、それかと云て藥を買ひ度いから金を吳れと言つても、金も支給せず、遂にヨッフェは憤慨の餘りピストルで自殺を遂げたのです。

ヨッフェの家は、元來相當な金を持つてゐたが、彼が革命に投ずるに及んで、全部その金を革命黨に獻じました。そして革命後、今日のソヴェート露西亞にするまでには、多大の苦心をしたのであるが、それにも拘らず今日になつて其の恩を忘れ、露西亞の野郎共が藥代も寄越さないで、遂に彼を殺してしまつたのです。

ヨッフェには妻君も子供もあつたが、ヨッフェ自身が斯ういふ悲慘な目に遭つてるのであるから、妻子は果してどういふ暮らしをしてゐるであらうか、恐らく食ふや食はずに悲慘な

る有様ではないか知ら。實に心配に堪へない。貴下は此の露西亞の不人情なる有様を見て何と思ひますか』

と云ふて聲涙共に下る有様でありました。此の老人のヨッフェ物語に就て、諸君は果して如何なる所感を持つでありませうか。

平等なるべき共産主義の本家本元に於て此の有樣であります。

日本には、我が國をして露西亞の治下に入らしめ、其の聯邦の一に入ることを以て一生の希望とし、國禁を犯してまでも、反逆運動に沒頭してゐる革命主義者が續出して居るのでありますが、此の一點から見ましても、日本に露西亞の共産黨員が來て、我々を支配することが果して幸福でありませうか。考へるだけでも惡感を催さずには居られない次第であります。

又、此の老人の話に依つて、ユダヤ人の革命に對する觀念が如何なるものであるかと云ふことを如實に諒解されたことと思ふのであります。

我が國にはユダヤ人に對する間違へた親切から、頼まれもせぬのに、『ユダヤ人は平和の民で革命などゝいふ大それたことをやるものではない、露西亞初め各國の革命に於て、ユダヤ人が

活動をしたなどゝ唱へる連中は、所謂ユダヤ恐怖症に罹つたユダヤ禍論者であつて、ユダヤ人を誣ふるも甚しいものである。我々日本人たるものが、何が故に歐洲の基督教徒の尻馬に乘つて、ユダヤ人を排斥する必要があるのだ』といふ様な、ユダヤ人に忠勤を援んで、我々の研究を、何等根據なく淺薄なる一片の感情を以て抹殺せんとする人のあることは、甚だ遺憾に堪へざる次第であります。

たとひ共産黨員でなく、革命家でなくとも、ユダヤ人にして露西亞革命の成功をユダヤ人の成功として誇り、之を自慢とし、ユダヤ人の名譽と心得てゐないものはないのであります。反對論者はユダヤ人に忠實ならんとして、其の實其の名譽を毀損して居るのでありまして、ユダヤ人に取つては迷惑此の上もなきことゝ存じます。

我々日本人は、日本帝國に對する革命なるものと、ユダヤ人が其の壓迫されたる他國家に對して爲す革命とが、全然相反するものであるといふことを、明瞭に認識しなければならないのであります。

事の序でに申しますが、私がパレスタイン滯在中、内地から來る新聞を見ますと、殆んど各

新聞に、日本の共産主義者の問題が掲載されてゐないことはありませんでしたので、私は或る時、日本が斯ういふ狀態であるのに、現在私が來て居るパレスタインのユダヤ國はどんなであらうかと思ひまして、或話の序でに

『近頃日本からの新聞を見ると、日本にもコムミュニズムが侵入して、共産主義の宣傳に躍つてゐるものが非常に多く、誠に慨嘆に堪へない』

と申しました處、ユダヤ人の首領達は、私の口を遮りまして

『その心配は無用である。日本人は世界一の愛國者である。我々はシオニズムの運動に於て如何にしたならば日本人の樣な愛國心を、彼等に養成することが出來るか、又それを是非養成せねばならぬと云ふことが、此の運動の最も重大なる點であると考へて、之れに努力してゐる』

と申しますから

『パレスタインにも、露西亞のコムミュニズムの運動がありますか』

と尋ねますと、ユダヤ人が答へまして

『昨年であつたか、露西亞の共産主義者が三名ばかりハイファの港に來ましたけれど、露西



純粋のユダヤ人市にして，人口四萬餘，一九〇八年不毛の海岸にユダヤ人等が本市の建設を開始したるものなり



パレスタイン第一の要港ハイファの遠望

亞のコムミュニズム宣傳者と判明したので直に追放しました。それ以後このパレスタインには、一人の露西亞式コムミュニストも居りません。』

と斯ういふのです。實に驚くべき事實ではないでせうか。

コムミュニズムの原泉であり、革命家の本家本元である此のユダヤ人の國の内部には、事實に於て一人のコムミュニストもなく、國を擧げて國家主義であると云ふことは、實に刮目すべきことであると同時に、之に依つて我々にユダヤ人の革命主義なるものは、實際に於て如何なるものであるかといふことが、よく理解し得ると思ひます。

此の事實は非常に面白いことゝ存じますから、更に繰返して申します、世界一の國家主義の帝國に、無數のコムミュニストが蠢動し、世界一の社會共産無政府主義、あらゆる左傾思想の放散者の自國パレスタインには、自國を賣り或は破壞せんとする一人の大馬鹿者も居ないといふことを。

七、宣傳の裏表

さて話が横に入りましたが、一九二八年にロシアが創めました處の五ケ年計畫の話に戻ります。

先づ農村に於ては、新々經濟政策に依つて生れました處の、クラーク（富農）を退治し、貧農を糾合しまして團體を作り、國營農を創めました。之が所謂ソフォーズと稱する農業の一制度であります。然るに又貧農連中は、戰時共産主義に左變されてから愈〻困窮して來ましたので、獨りで耕すことは、やり切れなくなり、玆に互に農具や其他の原料を持ち寄りまして、協同して農業をやる樣になりました。之がコルフォーズと稱する處の共營農であります。玆に於て政府は、生産率を高める爲めに盛んに此の共營農を奬勵し、農村をソフォーズ化し、コルフォーズ化することに努め、次に工場勞働者を政府の權力下に掌握しました。工業は重工業に力を集中し、國を擧げて工業國化し、個人商人を極度に壓迫し、其の結果遂に個人商人は全く其の跡を絕つに至つたのであります。

斯くて政府は農産物を强制徵收し、之を金貨の代りにドン〳〵輸出したのであります。從つて農民は一向に働かず、政府に對して所謂消極的抵抗を開始すると共に、一方農民の生産に依つて生活しつゝある都會の人々はパンの缺乏を來し、非常なる困惑に陷りました。

結局、歐洲の穀物庫と稱へられてゐた處の大露西亞は、今度は反對に外國から穀物を仰いで、辛うじて人命をつなぐと云ふ樣な有樣を演じました。

玆に於て官憲は農民に對しまして、コルフォーズに入ることを强制し始めました。然しながら富農卽ちクラークは、此のコルフォーズに入ることに絕對に反對であります。

何故かと申しますと、コルホーズに入るのには、一切の財産を提げて入るのですから、富農が一度びコルホーズに入りますと、結局貧農と同樣になるのでありますから、態〻貧乏する爲めにコルホーズに入る馬鹿はない譯です。

然しながらスターリンの專制は斷乎として之を强制しました。例へば露西亞の官憲が、富農の處へ來て、コルホーズに入ることを慫慂します、さうしますと富農は、斷乎として之を拒絕いたします、するとゲ・ペ・ウが來まして、貴樣は共産黨に反對する奴であると言つて之を銃

殺に處してしまひます。ゲ・ペ・ウは共產黨反對者に對して、最近まで裁判なしに卽時に銃殺する權利を有して居つたのであります。

之れに就て思ひ出しますことは、死刑廢止を力說して居る處の共產主義に於て、レニンは革命當時、連日三千人宛の反共產主義者を露都に於て銃殺しました。今日の露西亞に於て

『デルデンスキーが來た』

と云へば、子供も泣き止むのでありますが、このデルデンスキーなるものは、革命以來今日までソヴェートに對する非常なる忠勤者で、彼が今日までに殺した人間の數は三十萬に達すると云はれて居ります。

又、官憲は一般の富農者を捉へて、之を北歐の森林地帶に追放致しまして、之に强制勞働を命じました。昨年米國に於て、露西亞の大材木船に對し、米國は强制勞働に依つて生產された貨物の陸揚げを禁止する旨を宣言しまして、露西亞の材木船を追ひ歸したことがありましたが、其の材木は卽ち慘酷なる强制勞働に依つて、クラークが伐採したものであります。

クラークの中には、逸早く歐洲に亡命したものもありますが、中にはどうせやつつけられる

ならば、と云ふので暴動を起し、到る處露西亞官憲に反抗し、之が爲めに政府は赤衞軍を出動して、之を鎭定するといふ樣な大混亂を生じたのでありますが、遂には此の農民の反抗が赤衞軍に影響する樣になつたのであります。

卽ち赤衞軍とて夫々鄕里は農村でありますから、農村の反對は結局赤衞軍に動搖を來したのであります。

玆に於て流石のスターリンも到頭參つて、農民に對する手をゆるめることとなり、又赤衞軍の兵士を其の出身地に入營せしめず遠方のものを入れて農民に當らしめました。農民も亦之に對する消極抵抗を續けてゐるといふ有樣であります。このコルホーズは結局封建時代の搾取制度そのものであると一般農民は考へてゐるのであります。

政府は兎に角、國民の生活を犧牲にして、一路五ケ年計畫の遂行に努力し、其の豫算は九百三十三億ルーブルと云ふ實に尨大なものでありました。而して此の九百二十三億ルーブルの尨大なる豫算の重點は、前に申しました通り重工業に置かれ、重工業の主力は露西亞の軍備の遠大なる整備に指向されて居ることは、既に皆樣の御承知のことと思ひます。

此の産業第一次五ケ年計畫も、昨年で終りを告げましたが、政府は最初兎に角五ケ年間我慢しろ、五年經てばお前達はパンも充分食べられるし、着物も新しいのを着ることが出來るのだと宣傳して、一般の國民に忍耐を強いたものでありますが、愈〻五ケ年計畫の終りになりましても、やはり國民は襤褸を纏ひ、食ふや食はずでゐなければならぬといふ有様なので、或は國民の恨みが爆發しやせぬかと危ぶまれたのでありますが、愈〻年度末近くになりますと、更に尨大な豫算を以て、第二次五ケ年計畫を宣言しまして、國民に忍耐と緊張とを要求し、一方民心の轉換を圖つたのであります。

この第二次五ケ年計畫の目的は

(1) 資本主義的分子及び一般階級の最後清算

(2) 全勤勞住民の階級なき社會主義的社會の意識的積極的建設

にありまして、其の豫算は第一次五ケ年計畫よりも更に尨大なる一千四百億乃至一千五百億ルーブルと申して居ります。

この五年計畫決議の重點は軍備にありまして、其の五年計畫決議の一節に曰く

『五年計畫の遂行に關し第一義に重要なる任務は、其の聯邦國防力に關係ある工業部門を發展せしむるにあり』

唯今露西亞に於て陸海軍大臣ウォロシーロフは、或る意味に於て、スターリンをも凌駕するほどの大なる勢力を有する男でありますが、このウォロシーロフは

『ソヴェート聯邦國防の根本的基礎は、經濟の發展、金屬發掘量の增大、毒瓦斯製造量の增加、自動車、トラクターの建造、一般器械類の製造增加にあり』

と申して居ります。

そこで該計畫の具體的事業として

(1) 重要產業及び人民の生活資源を、少くも現在の三倍及び二倍にする

(2) マルクスの唱へた處の農業電化主義に依つて、電力を現在の六倍にする

(3) 器械工業（軍事工業）を、現在の二倍乃至三倍半以上にする

(4) 燃料（石油石炭）を二倍半乃至三倍にする

(5) 殊に器械工業中、鐵の生產に力を注ぎ、年額二千二百萬噸を產出せしむる

英國は世界大戰の鐵生產最盛時に於て一千萬噸、現在六百萬噸でありまして、米國の生產は現在七百萬噸に過ぎません。

之に比べますと、露西亞の二千二百萬噸といふ數は計畫とは申しながら、如何に尨大なものでありませうか。

更に翻つて我國の鐵に至りましては、年額十數萬噸でありますから、殆ど問題になりません。

尙ほ該計畫に基づく軍事豫算は、十二億八千萬ルーブルでありまして、之れを我國の非常時軍事豫算十億未滿に比すれば更に尨大なるものであります。

斯樣な有樣でありますから、第一次第二次五年計畫と申しましても、結局は國民生活の改善、文化の向上などゝ云ふことは二の次ぎで、國防軍事といふことに重きを置かれてあるのでありまして、例へば航空路の如きは露都を中心として、東はペトロパウロスクから、南は中央亞細亞と印度との國境に至り、更に新疆及び外蒙に延び浦鹽斯德に結び、北は遠く北氷洋に及んで居る有樣なのでありまして、飛行機の如きも一九二七年に僅か七百臺であつたものが、今日では二千三百臺に增加し、更に日本では此の非常時に於て國民の熱誠を籠めたる愛國機が獻納さ

れたもの數百機に及んだと云ひますが、露西亞に於ては、尤も半强制ではありますが、民間愛國機が既に一千機に達したといふことであります。

又、タンクの如きは、五年計畫以前に僅か百臺しかなかつたものが、目下に於て千數百臺卽ち以前の十倍以上に達してゐる譯であります。

なほ一九三一年スタリングラードに於て製作されたトラクターは、三萬七千臺に及んでゐると申されて居ります。但し最近の報によりますと、トラクターは出來たが操縱者や附屬品がないので、其の七割五分は農村で雨曝しになつて居るとのことであります。

現ソヴェート政府は軍備の前には、國民の社會生活などゝいふことは勿論、其の生命さへ眼中にないのでありまして、百人の國民を餓死させて一門の大砲を製造した方がよいといふのが、其の眞相であります。

玆で一寸御斷りして置きますが、是等の軍備は總べて赤衞軍の武裝の爲めに行はれるのでありまして、此の赤衞軍なるものは我が皇軍とは非常に趣が異つて居ります、我が皇軍は、國内の人民に向けられるものでなくして、國外よりする處の外敵に對し、直接國防に任ずるもので

あることは申すまでもありません。然るに赤衞軍は共産黨の軍隊でありまして、ソヴェート共和國自體の國防に任ずると共に、露西亞内部の全住民に對し共産主義を擁護すべき任務を有するのでありますから、一般良民は赤衞軍の有する飛行機、タンク及び銃劍の脅威の下に、常に不安な生活を續けて居るのであります。我が平時兵力は二十二萬でありますが、露軍は百二十萬であります。

『赤軍はプロレタリア獨裁の守護なり』

とは赤衞軍建設の要義でありまして、若しも我が日本の政府黨が、直に國民に向けらるべき恐るべき軍隊を國内に持つてゐたとしたならば、我々の心持は果してどんなものでせうか。

斯様な軍隊でありますから、共産黨が其の政權を維持する事は、赤衞軍を維持することに依つてのみ達成せられるのであります。從つて日本では兵役を義務とし之を血税と稱しますが、露西亞では兵役は義務にあらずして特權であります。之れに伴ひまして彼等が國家的優遇を受けて居ることは非常なものであります、例へば軍人は郵便無料であり、軍人を出した家庭は免税せられ、恩給は二十年にして俸給の二分の一、三十ケ年にして俸給と同額の支給を受ける様

な有様であります。

反軍思想宣傳の本家本元が、此の有様でありますからして、其の宣傳を受けて眞面目に反軍思想を振り廻してゐる我が國一部の人々の、馬鹿さ加減がよくお解りになりませう。

革命以來今日まで、露西亞一般の人々は殆んど食ふや食はずで、榮養不良の狀態にありますが、赤衞軍のみは非常に給與がよく、パンも充分に支給されるので、パンを食ひ切れずに捨てるものが多い爲めに、政府は「パンを捨てるな」といふ訓示を發した位であります。

現在の露西亞一般の住民から見れば、此の赤衞軍の狀態は、全く特權階級でありまして、若しも軍隊に於て不良なるものは其の兵役を免除さるゝと共に、特權を剝脫されますから、第一家庭は直に稅金を課せられ、本人は郵便が有料になる位は兎も角として、早速食料缺乏の社會に出て仕事もなく、其の日からルンペン生活に這入らねばなりません。之れでは如何に呑氣な露西亞人でも、家庭も本人も擧つて軍隊の特權に飛びついて來る譯であります。

八、共産と農奴

序でに現下の露西亞の社會狀態に就て玆に少しく述べて置きませう。

私は露西亞と云ふ國は共産主義國家ではなく、帝國主義的專制の而も國家大資本主義の國家と見るのが至當であると思ひます。

目下勞働者に對しては、其の自由移働を嚴禁して居りまして、勝手に勞働紹介所から紹介された職業を斷つたものは、勞働者登錄簿から除名されまして、再び職に就くことが出來ません。卽ちルンペンになるより仕方がないのです。從つて解庸された花恥しきタイピストが雪搔きを指定されたり、筆を仕事とする書記が荷物運搬に遠慮なく指定されたりするのはまだしも、時時突然カムチャッカやサハレンに飛ばされるのでありまして、之れを斷れば最早や食ふことは出來ないのであります。又指定の仕事の出來ない處の專門技師は、直に懲罰に附せられます。勞働者は如何に不平があつても、甲の工場から乙の工場に移り變ると云ふことは、絕對に出來ません。一々勞働人民委員會の指令を待たなければいけないのであります。結局、解放され自

由なるべき勞働者が、昔の農奴制度同様、共產專制の鎖に縛りつけられて居るのであります。無論俸給は帝政時代より數倍よくなつてゐますけれど、物價が更に數十倍高くなつて居りますから實際は帝政時代より更にひどいのであります。而も其の俸給は現金でなく貯金帳で渡されるのですから堪りません。

私は或る露西亞人に訊づねました。

『私の見た處では國民の生活狀態が帝政時代と比べて餘りよくなつて居らぬ樣だが、現在のソヴェートは、帝政時代とどこか違つた處があるか』

と申しますと、彼は聲をひそめて

『そりやもう大變な違ひだ。言論の自由が更になく、官憲の橫暴なことは帝政時代も今も同じだが、帝政時代には食ふに困る樣なことがなかつた。今は其の日のパンに困る有樣で、此點が帝政時代と異なる最も大なる點である』

と斯う申しました。

露西亞人は元來、主として牛肉を嗜んでゐたのでありますが、目下は其の牛肉さへ缺乏を來

し、露西亞人の今まで餘り好まなかつた豚を食へ、魚を食へと頻りに官憲は宣傳奬勵してゐるのであります。鶏卵なども病人さへ口にし難き狀態であります。

斯くの如き有樣では、いくらニチェゴー主義の露西亞人でも我慢し切れる筈がありません、國民の不滿は至る處に充滿し、各所に內亂勃發する有樣であります。そこで流石のスターリンも、又もや一步を讓つて、近頃はコルホーズの勞働標準を定め、勞働能率に依つて賃銀を支拂ふこと卽ち賃銀の等差を設け、個人の自由競爭を認める樣になりました。卽ち資本主義を認める樣になつたのであります。

之れに就てスターリンが申しますには

『平等主義はコムミュニズムには可なるも、今は過渡期なるを以て平等主義を採らざるも可なり』

と云つて居ります。

之れに依つて見ましても、現露西亞の狀態は、日本に於ける勞働者が謳つて居る樣な共產天國でもなければ、パラダイスでもないのでありまして、一言にして露西亞を評するならば闇夜

の國であり、乞食の國であり、而も何等の自由なき國民が、ゲ・ペ・ウ・の桎梏下に、牢獄生活を續けてゐるのでありまして、凡そ憐れなる國民と云つてこれ程氣の毒な國民が又ありませうか。私は露西亞良民が、穿つに靴なく、食ふに食なき此の悲慘なる實況を見て、此の一億一千萬の露西亞大衆を救ふべきものは何人であらうか、又何人に依つて救はるゝであらうかと云ふことに就て深く考へさせられたのでありました。

九、一般ユダヤ人の狀態

さて大分、露西亞の現況に就てクドクドと述べましたが、之はユダヤ人に關聯する露西亞革命後の狀況を明かにする爲めに必要なことと思ふのであります。

曩にスターリンは政治的主義主張の差違に名を藉りて、露西亞革命の元勳たるユダヤ巨頭を排斥處理してしまつたことを申しましたが、それかと云つて國內に多數のユダヤ民族を包藏する露西亞が、殘らずユダヤ人を追放した譯ではなく、今までのユダヤ人は依然として露西亞に住み、而も革命に依つて得た處の地位を維持して居ります。卽ち技師、敎師、辯護士、藝術家、

俳優、醫師、役人等の知識的仕事は、多くユダヤ人に依つて占められて居ります。從つて現露西亞に於ける反ユダヤ主義は、依然熾烈を極めて居りまして、國家はユダヤ人排斥者に對して最大の嚴罰を設け、聲を大にして反ユダヤ運動の實行を禁止して居る狀態であります。

露西亞內部のユダヤ人としては、一時は全然露西亞の支配的地位に立つたのでありますから、革命の效果を減少した現況に不滿を感じて居ることは勿論でありまして、一方海外に亡命したトロッキー等は內部と相策應して、又元のユダヤ人の露西亞を出現する爲めに努力してゐると云ふことは最近我が新聞に依つて報導された通りであります。

二十三、ナチスのユダヤ排斥に就て

曩に申し述べました通り、獨逸の言論界は、全くユダヤ人に掌握されて居りますから、ナチスのユダヤ排斥に關する通信の如きも、ユダヤ人に依つて通信され、ユダヤ人に依つて、各國の横字新聞に掲載されるのであります。從つて之等通信は、ナチスの憎むべき横暴に對し、ユダヤ人の同情すべき情況のみが、多く傳へられることは、已むを得ないことゝ思ひます、日本に傳へらるゝのも、特別の視察談などは別としまして、多くはユダヤ通信の一部でありますから、吾々が其の眞相を捉へることは困難なことであります。

私は勿論ナチスでもなく、又獨逸ユダヤ人に對し何等の怨恩をも有するものではありませんが、我々日本人が單に外國通信を見て、ユダヤ人を憐みナチスの横暴を憎む前に、先づ獨逸のユダヤ人の狀態を、一通り觀察することが必要と思ふのであります。

抑〻世界に於ける各民族は、各〻其の歴史、環境、能力、性質等に應じて、其の有する文化に獨自の特徴を持つて居ります。日本の文化と亞米利加の文化、ユダヤの文化と獨逸の文化は決して同じではありません、各民族は此の違つた文化を向上して行くことが、各民族の世界人類に貢獻する所以であり、それが文化的使命であります。若しも亞米利加が、全部日本文化を以て換へられたとしましたならば、それは亞米利加の文化的滅亡であり、亞米利加の文化的使命の消滅でありましやう。昔日本は印度及び支那の文化を多く輸入しましたが、之によつて日本の文化が消滅したのではなく、我が獨特の文化に一層の光を添へたのであります、今日本は歐米文化によつて貢獻せられて居りますが、併し之が爲めに日本文化を滅却して、歐米文化をして之に代らしむる如きことは、相濟まぬことであります。

扨て獨逸ナチス團のユダヤ排斥は、日々に伸び行きます處のユダヤの絶大なる勢力に對して起つたのでありまして、文化的方面を申しますならば、獨逸の文學も藝術も音樂も、其の影を潛め、ユダヤ文化が之に代りつゝあつたのであります。卽ち劇場の監督官も美術學校長もユダヤ人であり、有名な音樂家も作曲家もユダヤ人であつたのであります。又獨逸人の子弟の多く

は、ユダヤ教授の教育を受け、患者はユダヤ醫師に生命を托し、訴訟はユダヤ法官に依つて捌かれ、一方獨逸人の學者も法律家も失業狀態にある有様であります。又獨逸の銀行も取引所も、全部ユダヤ人に押へられ、一流新聞たる有名なベルリーネル・ターゲブラットもフランクフールテル・ツァイツングも皆ユダヤ新聞で、其の上大通信社ウォルフさへユダヤ經營であり、遂に十萬の警察隊すら、ユダヤ指揮下に入るに至りました。

然るに又一方に於きまして、ユダヤ人中共產黨に通じ、盛んに獨逸の潛行的破壞作業をやるのでありますから堪りません。結局此のまゝでは獨逸は何處に行くのでありましやうか、玆に於てヒツトラーが立つたのでありまして、最近の總選擧に千七百萬の國民投票を得たのも、獨逸國民の對ユダヤ思想の現れに外ならないと思ふのであります。

若し日本が、外來の異民族の爲めに、斯の如き狀態に立ち至りましたならば、我々日本人はだまつて居るでありましやうか、我が新聞雜誌に報導される様に、ユダヤ人を排斥するのは惡い、ユダヤ人は憐れなる同情すべき民族である、之を攻擊するのは世界文化の敵であるとして、そのまゝユダヤ勢力下に沈默して居りましやうか。

私は獨逸ナチス團の活動を見て、ユダヤ人が排斥されるのは、ユダヤ人が世界大戰の成功に乘じて、他國に於て、卽ち獨逸人の獨逸に於て、横暴に振舞つた爲めで之はユダヤ人が惡いと思ひますが、又一面獨逸人が、今日の狀態まで、ユダヤ人に勢力を占められたのが間違で、排斥する位なら、なぜ獨逸人が初めから、もつとしつかりして居らなかつたか、といふことになります。然し獨逸が、ヒットラーの如き、特に熱烈果斷の愛國者を待たねばならなかつた程、巧妙に張られたユダヤ網に對しては、敗戰後疲勞困憊した獨逸人には、如何ともすることが出來ず、獨逸の國土に事實上のユダヤ國を出現せしむるに至つたのではありますまいか。

それは兎に角として、ユダヤ人の勢力は、單に獨逸に許りあるのではありません、御隣りの波蘭にも、佛蘭西にも、亞米利加にもあります。之等のユダヤ人がそれ〳〵策動して居ることは、旣に御承知の通りであります。又獨逸に金權を握るユダヤ人のナチスに對する反抗は、獨逸將來の財政に如何なる影響を及ぼしましやうか、ナチスが頑としてユダヤ人に向つても、間もなく其の手がゆるむのは、此の間の消息を物語つて居ると申しますが、此の獨逸人對ユダヤ人の抗爭は、結局獨逸國の運命を左右するもので、色々の意味から吾々は愼重に注目すべき、

大なる問題と思ふのであります。世界列强は皆ユダヤ排斥の歷史を持つて居りますが、獨り我が日本帝國は、未だ嘗てユダヤ人を排斥した歷史を持たない國でありますが、將來ともユダヤ人を排斥せねばならぬやうな國柄になりたくないものであります。

二十四、洪牙利革命の眞相

本章は、洪牙利王國に於けるマッソン祕密結社（卽ちフリーメーソン）の活動に始まり、洪牙利が、王國より社會革命に依つて共和國となり、續いて共產革命によりソヴェート國を出現し、更に隣邦軍の侵入から愛國者の蹶起となり、遂に再び王國に復歸する幾變遷の狀態と、此の間に於けるユダヤ人の非常なる活躍とを、有りのまゝ記述したもので、嘗て拙著「革命運動を暴く」の一節に說明した處でありますが、革命狀態を知る好資料と思ひますので、敢て重複を厭はず、次に摘錄紹介することに致しました。

洪牙利人はユダヤ人を嫌ふことが實に甚しいのでありまして、從つてシオン運動も禁止されて居りましたが、漸く一九二九年一月に許されたやうな有樣であります。

このユダヤ人を嫌ふことは世界大戰以後のことでありまして、それ以前には決してそんな惡

感情を持つてゐた譯ではありません。卽ち洪牙利人の頭に非常なる惡感情を與へたものは、洪牙利の共產革命でありまして、洪牙利に於てユダヤ人が如何にして勢力を獲得し、又ユダヤ人が如何なる順序で共產革命に及んだかは頗る興味ある問題であると存じます。

それには先づユダヤ人の解放當時に遡りまして、歷史的經過を觀察する必要があるのであります。

十九世紀の末にユダヤ人が解放されて、一般國民と同權を得るに至りましてから、ユダヤ人の社會的方面への進出は實に目覺ましいものでありましたが、殊に洪牙利に於けるマッソン祕密結社へのユダヤ人の侵入は、洪牙利の政體を幾變遷せしむる原因となつたのであります。

洪牙利の祕密結社マッソン團は、以前はユダヤ人の入會を絕對に禁止して居りましたが、一八九二年にユダヤ人の入會を許すやうになりました。

處が、それ以前の洪牙利マッソン團は、政治に關與せず全く道德的の結社で、尠しも陰謀的なものでなかつたものが、ユダヤ人の入社を許すやうになつてから、非常に多數のユダヤ人が入社しましたので、之れが爲めに洪牙利の舊結社員は全く壓倒され、面目一變するに至りました。

前にも申上げました通り、マッソン團は一名贅澤の結社といはれる程の費用を要する結社でありまして、一年の會費約六百圓位に上るのであります。貧乏人は入社し度くとも到底入ることが出來ないのであります。從つて結社員は悉く富豪や政府の顯官や貴族などであることは當然であります。

然るにユダヤ人には金持が多いのですから、六百圓位の會費などは何んでもありません、いよ〳〵入社出來るとなると、どし〳〵入社しました。そして彼等は此の結社の力を自己の勢力の爲め巧みに利用し、之れが爲め洪牙利の道德的マッソン結社は、今や一變してユダヤ野心家の陰謀的結社となり、遂に彼等のインターナショナル的思想を以て王國に反對し出したのであります。

斯くて王國の顚覆は、國民の少しも知らぬ間に徐ろに準備されつゝあつたのであります。

そこに歐洲大戰は勃發しました。洪牙利人は國を守るべく熱狂し、國民は或は銃を執て戰線に馳せ、或は力の續く限り護國の爲めに働きました。

然るに此間に於て、戰線に立てる人々の血を犧牲にして自身のポケットを膨したものは、甚

督教徒たる所謂改宗ユダヤ人達でありました。卽ち戰線に紙の靴を送るといふやうな幾多の非愛國的不正事件が、彼等に依つて無遠慮に行はれ、又一方に於ては社會主義ユダヤ人の會合が行はれまして、破壞的ユダヤ人の勢力は日每に增加して參りました。

戰爭の繼續に伴つて物資は缺乏します。加ふるにユダヤ人は故意に貨物を買占めたり、或は陰匿したりするので物價の昂騰は天井知らずで、勞働者の感情は日每に惡化し、煽動者の一聲でストライキは何時でも出來るやうに整へられました。

又市場に於ける食料品の缺乏と騰貴は、一般の俸給生活者を全く經濟的奴隷の地位に沈めてしまひました。

斯くして愛國心は日每に弱められ、軍隊の軍紀風紀は愈〻廢頽し、十月革命の準備は滑らかな道を辿つて進んで行きました。此の準備は主としてユダヤ人一部の獨占して居りました處の共濟組合集會所と密接な關係を有する、ユダヤ人學生及びユダヤ識者との聯合團であるガリレー團に屬する人々の手に依つて進められたのでありました。

一九一八年十月が參りました。佛國に捕虜になつて居る中に、すつかり自由主義にかぶれて

來たカーロイ・ミハイ伯は、有力ユダヤ人等に推されて立ちました。衰弱し切つた國民は譯もなく自由主義を謳歌して彼れを迎へました。遂に同年十一月十三日カロロ王は退位して瑞西に亡命し、而かも亡命中、怨を呑んで死去しました。

十一月十六日終に洪牙利は、カーロイ・ミハイ伯のＳＲ黨、卽ち社會革命黨の力に依りまして共和政體となり、カーロイ伯は假大統領に選ばれました。

大統領は社會主義の理想を實行すべく、先づ軍隊は帝國主義者の武器であるから不必要であると云つて、戰線から歸る軍隊を片端から武裝解除しました。又憲兵や警察は、自由の國の不用品であると云つて解散を命じました。玆に於て洪牙利には武裝せる何物もなく、社會主義者の所謂理想の自由國が生れたのであります。

處が玆にベラ・クンといふ共産主義のユダヤ人が居りました。彼は露國に行つて過激派の首領等と相談の上、機は至れりと洪牙利に歸つて參りました。そしてカーロイ政府が、羅馬尼と境界問題で國民の反感を買つたのに乘じて、豫め準備してゐた共産黨のスイッチを切つたのであります。

そこで洪牙利には至る處に大動亂が勃發しました。而も今や政府の手には過激派に對抗すべき一兵もありません、又憲兵も警察も皆解散されてゐますので、共産主義を取締る可きものは一人もゐないのであります。政府はベラ・クンに對して如何ともすることが出來ません。カーロイ政府成立してから僅か四ケ月目の三月二十二日、ベラ・クンはカーロイ伯を追つて、恰も濡手で粟を攫むやうに洪牙利の政權を掌握して、過激派政府を立しました。

茲に於てベラ・クンは、直に國境を封鎖し、露國と軍事同盟を結び、自分はダニューブ河畔の大ホテル・フンガリヤに陣取つて、對岸の王宮を眼下に眺めながら贅澤を盡しました。今でも此のホテルの壁は、ベラ・クンが赤色に塗つたまゝになつて居るのを私は見て參りました。

彼は茲で例の恐怖政治を實行しました。先づ彼等は過激派政府に反對しさうな人々を片端しから捕縛して裁判なしに死刑に處しました。次に彼等は宗教を破壞する爲めにあらゆる手段を講じました。卽ち牧師や尼僧は、凡て僧職を放棄して新政體を承認するといふ證書に署名することを强要され、之を拒んだ人々は飢死せしめられました。

彼等は「宗教は個人的のものなり」といふ社會主義の理論から、教會を國家から分離しまし

て、之に屬する財産は動産といはず不動産といはず全部沒收してしまひました。病院だの孤兒院だの其他の慈善事業さへ都會同様の運命に陷りました。

此の宗教破壞の仕事に采配を振つたのは、ドクトル・デクモンド・クンフイといふ新教に改宗したユダヤ人であつたのであります。

次に過激派政府は、教育の徹底的改革を提案致しまして、第一に「空氣を一新せねばならぬ」と稱して、教育にたづさはる「信用の置けぬ人々」を取除きました。卽ち國民的及び基督教的偏見を有する疑ある校長初め教員は卽時に解雇され、又大學教授は如何に專門的學識がありませうとも遠慮なく馘首されました。

そして大學では法科も神學科も廢止され、技術的學科のみが殘され、而も其の教授は一二の例外を除いて、全部ユダヤ人が任命されたのであります。要するに此の大學の改革なるものは、ユダヤ大學生及び其の先輩達が、其の復讐心を滿足させる爲めに行はれたものであります。

又彼等は現社會の私的生活は道德觀念に基いて居るから、此の觀念を消滅させなければならぬと云つて、いろ〳〵の野獸的手段を講じました。其中で最も甚しかつたのは、女學校に紹介

された所謂教育の開化制度なるものでありました。此の開化制度なるものに依りまして、生徒達は有らゆる男女關係の祕密を直接に、而も實物教育に依つて教へられたのであります。又彼等は新社會に對する義務や自由戀愛の魅力や、或は今まで行はれてゐました處の總ての所謂「舊式の道德及習慣」を排斥する權利、果ては兩親に對して服從しない權利さへ教へられました。斯くして共產主義宣傳といふ假面のもとに、家庭生活の神聖は根本から破壞されたのであります。

是等の道德破壞に關する指揮者は、基督教徒なるアレキサンダー・ガルバイでありましたが、然し彼は名義上の指揮者でありまして、實際の指揮者も其の部下も總べて反國家主義のユダヤ人でありました。

彼等の知名の士に對する死刑に至りましては、聞くだに戰慄を禁じ得ない程でありまして、鼻や手に穴をあけて生きながら之を吊し、或は其の家族の面前で自分の首をつらせたり、又は近親の者に處刑を命じたり、そして之に應じない者は卽座に殺しました。或る時は幼稚園に命じて此の死刑の光景を園兒に觀せるやうにと强制しました。又あとで死刑にされるものに前の死刑を餘り多く見せるのは氣の毒だと云つて眼を拔き取つたり、又死刑施行前に騷がしいと云

つて舌を切取つたり、又時としては射殺して河に投げ込んだり致しました。
今日、ダニューブ河畔には、彼等が大臣を家族諸共河に投じた場所に石碑が建てられて、當時の怖しい光景を物語つて居ります。

尚又、共產黨及び之に煽動された勞働者達は、恰も敵國に侵入したやうに工場を占領し、美術的紀念物を破壞し、公園の名木を伐つて薪にし、良民を襲ひ、「人のものは自分のもの」といふ共產の妙味を遺憾なく滿喫して、暴行掠奪の限りを盡したのであります。

然しながら此の混亂に際して、其の指導宜しきを得たとでも申しませうか、其の慘害を蒙つたものは主として基督教徒に限られ、ユダヤ人に及ばなかつたといふ事實は、特に注目に値すべきことと存じます。

斯樣な次第で交通は杜絶し、店は閉ぢられ、瓦斯は絶え、電燈は消え、其上貨幣は無價値となり、糧食の缺乏を來したのですから堪りません、良民までが何時の間にか共產黨に加はつて共稼ぎをするといふ有樣となりました。

すると此の光景を看ました處の小協商國、卽ちお隣りの羅馬尼やチェックは、協商國の秩序

維持を名として洪牙利に兵を進めて參りました。然し何しろ一つの軍隊さへない洪牙利としては如何ともすることが出來ません。そこで兩國の兵士共は得たり賢こしと、此の混亂狀態に乘じて盛んに發展します。但し其の個人的戰利品を兵士達は自國に持ち歸ることが出來ませんから、皆二束三文に賣り飛ばします。すると之を買ふものは皆ユダヤ人であります。ユダヤ人は兵卒の來る停車場附近に網を張りまして、千圓のダイヤの指環を十圓二十圓で買取ります。此の買取られた品物は翌日になると、最早や既に獨逸のユダヤ人の所有に移つてゐるといふ有樣でありました。此の間に於てベラ・クンは、虛報を發して近く露國から援軍が來るといふことを國民に宣傳しましたが、勿論露軍などは終りまで影も形も見せなかつたのであります。

洪牙利人等が當時の物凄い光景を私に語つて吳れました時、傍に居つた婦人達は、當時を追想して身を振はして顏を掩ひました。

此の戰慄すべき共產革命を實行した首謀者ベラ・クン（本名コーン）以下九割までは實にユダヤ人であつたのであります。

此の共産黨の横暴と協商國の蹂躙に對し、洪牙利國民は之に默從し之を甘受することが出來ましたらうか。洪牙利國民の胸には父祖傳來のマジヤールの血が流れてゐました。久しい戰爭に疲勞してゐたマジヤールの血は勃然として再び沸騰し、青年や在鄕軍人は劍を取つて立ち、愛國の叫びは、それからそれへと傳はりました。アラットやセゲット市などには、之等の人々に依つて自治軍が組織されました。其の中の最も有力な自治軍は、海軍提督であつたホルテ・ミクロスを指揮者とするセゲット市の學生軍でありました。

ミクロス提督は、後に洪牙利の統治者に選ばれる程の人物ですから、實に智勇兼備の名將で、又其の麾下に馳せ集つた學生達は進んで提督の命に服し、救國の爲に身を犧牲にして、屍を故國の野に晒すことを潔しとした處の、忠勇無双の青年達でありました。從つて學生軍は到る處に狂暴惡鬼の如き過激派を掃蕩しつゝ首府ブダペストに向つて前進しました。

學生軍が愈〻首府に近づいた時、市民の歡びはどんなでありましたらう。市民は救ひの神として狂喜して迎へたことはいふまでもありません。

狡猾なベラ・クンは、學生軍の前進を聞きまして、其のブダペスト進入に先ち、一九一九年

八月首府を落ちて國外に遁走致しました。茲に於て過激派政府は成立後百三十三日目に瓦解し、ホルテ・ミクロス提督が選ばれて執政となり、翌一九二〇年三月憲法を制定致しました。社會主義にも共産主義にも苦がい體驗を嘗めた處の洪牙利人は、國家の政體は王國に勝るものはないといふことを心の底から自覺致しまして、王様がないのに拘らず、洪牙利は王國であるといふ旨を世界に宣言し、王となるべき人の發見されるまで、ミクロス提督は攝政として國政を見ることゝなつて今日に及んでゐます。

此の革命騷ぎは短日月で濟みましたが、然し洪牙利國の荒廢したことは想像以上でありまして、國民の痛手は今も尙ほ續いて居ります。それは恰も火災に遭つた樹木のやうなものでありまして、春になつて芽が出ても、綠の葉が繁茂するやうになるのは容易でないのであります。

共産主義者は、破壞の後に建設ありと稱して、人間の歷史あつて以來人智の限りを盡して、改善進歩せしめて來た有らゆる制度を破壞し、各民族が各地方に應じて獨特の發達を遂げた處の貴重な文化を壞滅し、幾多の天才と幾多の勞力に依つて建設された燦然たる藝術を滅却し、更に人間性の弱點に突入して、宗敎心道德心を根本から廢頽せしめ、そして人生のあらゆる歷

史を抹殺して人間を原始時代の盲昧に導き、而も斯くして初めて所謂共産天國が生れるのだと云ふのであります。

考へても御覽なさい、今日の凡ての文化は、幾千年の間幾億萬の人々に依つて造られたものであります。然らば此の世界を人生の歴史の第一頁に復歸せしめ、改めて此の天國を現出せしめやうとするならば果して幾萬年を要するでありませうか。

共産主義の爲めに、露國に於て、洪牙利に於て、將又現支那に於て其の犧牲となつたものは幾千萬人であるか解りません。又破壞せられた歴史的施設は幾億金を積んでも代へられません。そして此の破壞後に建設せられたものは何んでありましたらうか。そこには去勢された哀れな無辜の民の上に建てられた浮浪人の無限の權力があるばかりであります。而も勞農民は權力を與へられてゐながら飢餓に喘へぎ、智識階級は此の勞働者の足下に痩せ衰へてゐるといふ有様ではありませんか。

然し洪牙利人は幸ひにして目醒めが早かつた爲めに、赤い火災を消し止めて、凡てが灰燼に歸せずに濟みました。之は洪牙利人に取つて不幸中の幸であつたのであります。

今まで述べました通り、ユダヤ人ベラ・クンの共産革命に依つて、非常な苦痛を嘗めました洪牙利の人々は、ユダヤ人を忌み嫌ふこと甚しいものであります。

私は或る洪牙利人に

『君達は一見してそれがユダヤ人であるか、外の人種であるか區別がつくか』

と聞いて見たことがありました。すると其時、洪牙利人は

『ユダヤ人は三四米後から來ても、感じで其の近づいたことが解る』

と答へた程、彼等のユダヤ人に對する感情は鋭敏になつてゐるのでありまして、最近まで首府ブダペストには「ユダヤ人入るべからず」といふ札をかけたレストランやカフェーがありました。又國民はユダヤ人の經濟力から遁れる爲めにハンジヤ（Hangya）と稱する消費組合を作つて國家及び公共團體の御用を聞くことゝし、又政府はユダヤ人を調査する目的で、パスポルトに宗教を記入せしめることに致しました。

私はブダペスト滯在中、或る日、日洪協會に案内されました。其の日は丁度、對共產黨會議

の發會日で、外務大臣ルカーチュ氏や、チエーチイムレト將軍等、第一流の人物が二十人ほど集つて居りましたので、會議の前後に是等の名士と會談する機會を得ましたが、會議の內容は、共產黨と申しましても、實は對ユダヤ策の研究であるとのことでありました。

斯樣に洪牙利の反ユダヤ思想は盛んでありますから、ユダヤ側も之に對して決して默つては居りません。而も此の國の主なる新聞はユダヤ人の掌中にありますので、之を利用して盛んにユダヤの世界主義を皷吹して居ります。

玆に洪牙利大學の問題で面白い話があります。

元來洪牙利には私立大學といふものがなく、大學は國立で其の卒業者は社會の指導的地位に立つ人々でありますが、革命前まで其の學生はユダヤ人の子弟が大部分を占めて居りました。それはユダヤ人は金があつて子弟を教育することが出來るのと、試驗に際してユダヤ人の成績が勝つて居つたからであります。又大學教授も六割はユダヤ人で占めて居りました。

隨つて國家は莫大の經費を投じて、ユダヤ人の爲めに大學を設置してやつて居るやうな觀を呈して居つたのでありました。

ところで革命後、此國が王政になりましてから、斯んな馬鹿氣たことはないといふので、政府はヌメルス・クラブスス Numerus clabusus と申しまして、民族の人口に比例して入學者を決定する方法を採用し、而もユダヤ子弟を政治科には入學せしめない方針を採つたのでありますます。同時に官吏、教授にも制限を加へたのであります。之は申すまでもなくユダヤ人の政治家が出て、再び政權を掌握されては堪らないからであります。

此の制度を設けましてから、ユダヤ大學生は大いに減少し、洪牙利人の入學者が増加して、初めて洪牙利の大學らしくなりました。

然るに數年後、新制度に依つて入學した洪牙利人の卒業生を出すやうになりましたが、さて此の卒業者達は急に就職難に陷つてしまひました。卽ち是等の卒業者が、大會社、大銀行、大工場に就職を依賴しましても、是等の會社は

『プラーグの大學かツーリスト大學（此の二校はユダヤ人が多いのです）の卒業者なら採用するが、洪牙利大學の卒業者は其の資格がない』

と云つて跳ねつけてしまつたからであります。

是れは一面に於て、ユダヤ人が如何に社會的勢力を有して居るか、を物語るものでありまして、ユダヤ人はヌメルス・クラブススを社會的に復讐した譯であつたのであります。

そこで洪牙利人はユダヤ人を排斥して大學を卒業させても、高等遊民を製造するばかりで、結局は國立大學の主旨が無意義に終ることになりますので、大に困却して恰度私の滯在當時、ユダヤ側と妥協中であるとの話でありました。

又ユダヤ人は現政府に好感を持つて居りませんからして、洪牙利が外債を募集致しましても、内部のユダヤ人が洪牙利の內情を曝露して、外國に惡宣傳を致しますので、借款は何時も失敗に終るといふことであります。

以上洪牙利國は、我々と同種族の國であるに拘らず、歐洲に介在する爲め餘り日本人の話題に上りませんし、又露國の革命に就ては隨分研究されて居りますが、此國の革命、殊にユダヤ人との關係に就ては殆ど紹介されて居りませんので、私の見聞した有の儘を御紹介致した次第であります。

曩に一九二〇年、洪牙利はユダヤ人の共產主義者を一掃して王國を宣言し、國王がないので

攝政々治を行つてゐることを申述べましたが、此の國王問題は同國に於て最も重要な問題であるに拘らず、今以て解決されずに殘つて居ります。

此の問題に就ては我々日本人に參考になることがあると思ひますから、序でながら次に述べて置きます。

洪牙利の王統はハプスブルグ家でありまして、カロロ王は一九一八年の革命の際、瑞西に亡命中亡くなりましたが、其の王統は依然として殘つて居ります。そこで私は國王の一族が立派に殘つて居るのに、何時までも主なき王國で居るのは可笑しい、王族中の何人かを選定して早速即位せしめたらよささうなものであると考へました。

之は私ばかりでなく日本人は誰れしも、さう感ずるであらうと存じます。併し之は我々日本人の皇室に對する觀念でありまして、洪牙利人の觀念ではないのであります。

抑〻洪牙利王は其の昔、同族マジャールを率ゐて東洋から歐洲に來り、此地に洪牙利王國を創設したのであります。然るに獨逸系のハプスブルグ王家が洪牙利に侵入し、マジャール族を征伏し之に君臨したのでありますから、例へば我々日本人の上に亞米利加人が君臨したやうな

ものであります。そしてハプスブルグ家は代々彼等の反抗を弱める爲めに、ユダヤ人を利用しました。隨つてマジヤール族は機會があつたならば此の西洋人の壓迫から遁れ、其の統治權をマジヤールの手に復歸させやうと考へて居たのであります。

然るに偶然にもマジヤールの洪牙利を滅亡させた處の、謂はゞ仇敵たるハプスブルグ家は、飼犬たるユダヤ人の革命家達に手を嚙まれまして、國外に亡命するに至つたのであります。

斯んな事情でありますから、今此の異種族たるハプスブルグ王統を再び迎へることは、マジヤールに取つて意味をなさないのでありますし、又それが忠義にはならないのであります。

勿論、中には、斯う何時迄も主なき王國では困るから、ハプスブルグ家でも構はないから持つて來やうといふ黨派もあります。併し此の黨派には昔から關係のあるユダヤ人が多いのであります。又攝政ホルテミクロス提督は洪牙利人であるから、其まま王にしやうといふ黨派もあります。

中に最も面白いのは、同民族たる日本の皇族中から來て頂いて、王様になつて戴かうと眞面目に考へて居る人々もあるのであります。

以上に依つて、國王問題が未だに行惱んで居る理由が明かでありますと共に、洪牙利の今迄の皇室と人民との關係がハツキリお解りになつたことゝ思ひます。

これは獨り洪牙利許りではありません。日本を除く世界の所謂帝王或は王と稱するものは概ね此の類であります。

卽ち君主は征服者で人民は被征服者でありますから、人民は最初から君主を敵視し、君主は其の位置を保たんが爲めに、威力を以て之を抑壓するのは自然の勢であります。故に君主の威力が衰へますと、國民は之に反抗し、甚しきに至りましては、革命を起し、或は之を追放し、或は遂に露國のやうに佛國のやうに、之を殺戮するものさへあるに至るのであります。

君主と人民との間がこのやうでありますから、是等の諸國人の觀念から生ずる君主に對する理論も解釋も思想も、我々日本人と異なるべきは當然のことであります。

然るに外國のことゝさへいへば、進步したもの、發達したもの、新しくして善良なるものと考へ世界に類なき我が君民一致の國體に、其の舶來觀念を及ぼし、其の國體の成立上、他國人の爲さんとして爲し得ない我が忠孝の道德を以て、舊思想、舊道德と思惟するに至つては其の愚や

及ぶべからずであると存じます。

私が海外旅行中に於て、幾多の國々の人々と我が國體に就て談話を交へました時、苟も我が國體を了解して居るものは、之を羨望しないものは一人もありませんでした。ユダヤ人とてもさうでありました。最初ユダヤ人に國體のことを聞くと、何人も帝政は大嫌ひだと申しました。それはその筈であります。彼等が昔、流れ歩いた先は何れも帝政の國家でありまして、そこで常に窘められてゐた爲めに、帝政とさへいへば彼等は直に自己に對する壓制を聯想するからであります。

そして彼等も帝政といへば、日本の一部の人さへ誤解してゐるやうに、我が日本の帝政も露國や獨逸のやうな帝政と等しいものと考へて居ります。從つて彼等がユダヤ民族の自由の獲得の爲め、又ユダヤの世界主義の實現の爲めには、之が抑壓者にして第一の障碍たる帝政を除去せんと欲すれば、日本帝國をも其の數の中に入れることは當然であると思ひます。

然し其れは兎に角として、彼等とても我が國體の成立を知り、西洋の諸帝國とは全く其の趣を異にする所以を了解すれば、我が理想的國體に就て讃嘆措く能はざるものがあることを私は

看取致しました。
私がジェルサレムで、シオン團の元老カリバルスキイ氏の宅に晩餐に招かれた時のことであります。話がたま〳〵我が皇室に及びました時、
『今や我國は、神武天皇紀元二千八百八十餘年で、其の皇統は連綿として百二十四代に及び、未だ嘗て外敵の侵略を受けたことも、革命の興つたこともない』
と述べました處、氏は
『實に不思議な國である。殆んど三千年の間一つの皇統であるといふが、何うしてさう續いたのであらう』
と申しますので、私は
『我が皇室と人民とは一體で元々一家族である。即ち皇室は我々人民の總本家であらせらる。而も皇室の祖先は日本國民の尊崇の中心たる天照大神である。從つて代々の日本皇帝は、外國のやうに人民に對して、權力や暴力を用ひて之を壓制統治する必要がなく、常に仁政を施して我が子の如く人民を撫育愛護し給ひ、人民も皇帝を見ること恰も親に

對するやうに、親しみと生ける神としての尊敬とを以て仕へて來た。隨つて叛亂とか革命とかいふものはあり得ない。リュボリューション卽ち革命などゝいふ言葉さへ日本には今迄なかつた。又日本人は之を知らなかつた。又外國から攻撃を受けても、國民は武勇に富み君民一致して國難に當るから、日本國内に敵を一歩も入れたことはない。從つて開闢以來一つの皇統が連綿として續くのは當然で、何等の不思議はない。今後も無限に續くであらう』

と說明致しました處、カリバルスキイは體を反らして非常に驚嘆し

『今の話を聞くと日本國の成立は、恰度我がユダヤ國の成立と同じである。卽ちユダヤの王室も其の人民も同じ神から出て、王室はユダヤ人の宗家であつた』

と言ひながら、其の眼は昔榮えたユダヤ王國を、深く憧憬するかの如くでありました。氏は周圍の人々を顧みながら

『みんな今の話を聞いたか、日本の皇室は昔から今日まで變りがないさうである。何んと立派な國體ではないか』

と繰返し、私に日本の國體を研究し度いから、歐文で書いた本があつたら是非送つて呉れと申

しました。

ユダヤ人が諸國の帝政を呪ひ、專制を忌むのは、國が亡び諸國に寄生生活をしてから後のことであります。元來彼等は非常な專制主義者であり、ユダヤ王國主義者であつて、一方には異民族の諸帝國を呪ひながら、他方にはユダヤ王國に對する憧憬愛著の念は、今日猶ほ依然として變らないのであります。從つて彼等が日本の眞の國體を知る時は、實に羨望に堪へないのであります。

然るに此のユダヤ人さへ羨望する我が帝國に生を享け乍ら、此の比類なき國體の變革を欲するものが、我が國民の中の一部に存在することは實に言語同斷のことではありませんか。

今や日本は、西洋を先進國と崇め、その及ばざるを恐れた昨日の日本ではありません、世界に於て最も大なる日本である。我々は、其の國家成立の根本に於て異なる歐米の國體觀念に捉はれず、深く我が建國の本義を悟り、萬邦無比の國體を有する大日本帝國臣民として、歐米人の享受し得ない幸福を受けつゝあることを感謝せねばならぬと思ふ次第であります。

二十五、シオンの議定書は陰謀書か豫言書か？

シオンの議定書は、恐らくユダヤ問題に就て、其の片鱗でも窺はれた人々は、殆んど知らない人のない位有名なもので、我が國に於ても、二酉社發行の包荒子著「世界革命之裏面」に、完譯せられてあり、又屡〻多數のユダヤ研究家に依つて、論議されて居りますから、既に其の存在だけは御承知の方も多數あると思ひますが、シオンの議定書といへば直ぐに其の眞僞の論爭にのみ耽り、殆んど其の內容の檢討並に其の價値に就て論じて居るものゝ少いことは誠に遺憾至極であります。

勿論該書は著者の署名のない處から、歐米に於てユダヤ側は、ユダヤ人を陷れる爲めのキリスト教徒の僞作であると主張し、非ユダヤ人側はいや本物である、一八九六年ジュネーヴに於て開かれた處の、第一シオン會議に於ける祕密會議の議事錄である、と主張して居ります。日

本では、シオンの議定書は僞書であるとか、西伯利亞出兵の際軍部が貰つて來た白黨の宣傳書であるとか、勝手な獨斷を下して居る人々がありますが、之等の否定論者の多くは、不思議にもフリーメーソンは祕密結社ではない、露西亞革命の裏にはユダヤ人が居ないと、何等の根據なく獨斷を下し、堂々と論じて居る連中に多いやうであります。

私はロンドンの大英博物館で、一九〇六年以來大切に保管されてある議定書を手にし一讀して參りましたから、少くも一九〇六年以前に出來たものであることは明瞭でありますし、又其の內容を見ますと、少くも其の年代以後、ユダヤ人の勢力が、其の計畫通り寸分違はず實行されれ、而もそれが完成されて居るのに驚くのでありまして、此の事實を否定することは、何人も不可能のことゝ思ひます、尙ほ又、人間社會國家に對する議定書の考へ方が、全くユダヤ式で他の民族のよくし能はざる所と思ひます、又世の變化推移に對する豫想は更に驚嘆すべきもので、今日之を見れば數十年前の作とは一寸思はれない、現在そのまゝの世相を物語つて居るのでありまして、此の點から申すと、議定書はユダ人のものでないならば一つの立派な豫言書と申して差支ないと思ふのであります、私は本書を通じて世相を觀察するとき、一層の適確さを

與へらるゝのであります。故に若し日本人が今から二十年前といはず、十年前に議定書を見て、國の内外を顧みて、我が議會政治に對し或はマルクス主義を觀察し、或は勞資問題を眺めたならば、恐らく今日吾人が以て遺憾とする多數の點を除去し得たらうと思ふのであります。

要するに議定書の價値は、其の眞僞ではなく、其の內容そのものであると同時に、ユダヤ人の現在活動を觀察する上に、莫大の利益となるものと思ひます。私は今議定書に就て述べたからとて、敢てユダヤ人を呪はせやうといふ目的でもなく、又ユダヤ人を偉い奴だと無暗に感服させる目的でもありません。兎に角之が數十年前の作であることを頭に於て、我が日本の狀態を觀察することは日本人として必要であり、又該書に依りユダヤ人の活動ユダヤ人の考へを承知せらるゝことは、ユダヤ問題研究上大なる參考になると思ふからであります。

尙ほ議定書に就ては、拙著「革命運動を暴く」にも、私の所見を多少述べて置きましたから、詳しいことは、此等の他の著述に讓りまして、玆には議定書なるものは、人間性の弱點を遺憾なく解剖剔抉し、人間の行爲の內的根源を深刻に握んで、その虛に突込み、更に思想、經濟、政治等廣大なる範圍に亙つて、現代國家及び社會に對して至極適切な批判を下しつゝ之に對應

手段を講じ、結極非ユダヤ人の精神、社會及び國家組織の破壞と共に、一方世界ユダヤ國の建設に目標を取つて居るものであることを述べて置きます。換言すれば、議定書にはユダヤ式平和戰法が書かれてあるのでありまして、之が非ユダヤ人に依つて書かれやうが、ユダヤ人自身の議事錄であらうが、敢て問題ではありません。

議定書は、全部で二十四の議書から成立つて居りまして、隨分長いものでありますが、茲には其の一小部分だけを紹介しますから、私が今迄述べました諸點並に現世相と對照して戴き度いと思ふのであります。

議定書は、人間の本性を惡であると觀察し、權利は力にあり、と結論を下して居ります。

一、人々の中で、善良なる本性を有するものよりは、不良なる本性を有するものの方が多いからして、政治上の良結果は、强制と排除とを用ひて贏ち得るのであつて、大學式の議論で得らるゝものではない。

元來人は權力を得やうと努力し、爲し得れば執政者となることを望んで居るものである、然しながら其の際、自分の幸福を達成する爲めに、他人の幸福を犧牲にすることを、何んとも思はないものが多い。

シオン議定書は隱謀書か豫言書か?

人間と呼ぶ狡猾な動物を、今日まで抑制して來たものは何か？　又何が今日まで、人間を指導して來たのか？

社會組織の初めには、人々は亂暴な盲力に服從し、次に法律に服從したが、法律とても、此の盲力の假面を被つたものに過ぎない。

そこで、自然の法則に從つて、權利は力にあり、といふ結論に到着するのである。（第一議定）

右の社會觀は、勿論歐米のことで、我が國とは全然異なるのでありますが、併し現代我が一般の世相を眺めて、うなづかれる點が多いと思ひます。

近頃日本でも、言論の自由、研究の自由、國民の自由、男女の平等及び分配の平等等、各種各樣の方面に、自由平等が主張されて居りますが、議定書は、此の自由平等に就て、如何なる見解を下して居りましやうか。

二、抑〻吾々（ユダヤ人）が、猶ほ古き昔に於て、人民の中に自由、平等、四海兄弟なる言葉を初めて叫んだのである。それ以來此の言葉は、到る處から此の誘惑に向つて、飛んで來る所の無自覺の鸚鵡に依つて、常に繰り返された、實に彼等は、此の誘惑と共に、群衆の壓迫から個人を保護する所の、個人の眞の自由と平和の健全とを奪ひ去つてしまつた。

いかにも怜悧らしく見える非ユダヤ人の智識階級は、此の言葉を抽象的に判断することが出來ず、又此の言葉の意味の矛盾と調和とを發見し得ない。

又彼等は、天然には平等なく、天然夫れ自身が智能、性質、才能の不平等を成し立てゝ居つて、天然自然の法則に服從すべきものであることを知らない。

又彼等非ユダヤ人は、群衆は盲目であつて、行政の爲めに群衆の中から選出された駈出者は、同じく政治に盲目であり、神に依つて選出されたものは、假令馬鹿でも政治を行ふことが出來るが、さうでないものは、天才でも政治に要領を得ないといふことが解らない。

王統政治は此の根據に依つて、創造されたものであつた……然るに時日の經過に従つて、政務の眞の狀態たる王統繼承の意味が失はれ、我が事業の進捗に都合よくなつた。

政治の自由は、理想であつて、實際的のものではない、若しも我が黨が、政權を掌握して居る所の、他の黨を倒さうと思つたならば、理想的の欺瞞を用ひて、自黨に民力を引き入れることが必要である。其の時には此の自由の理想を甘く利用し得ねばならない。……

自由、平等、四海兄弟なる言葉は、我が盲目の諜者によつて、非常に多くの人間を我が仲間に入

シオン議定書は隱謀書か豫言書か?

れた、是等の人々は狂喜して、我が旗を擔ぎ廻つてゐる。

然しながら此の言葉は、到る處の平和、安寧、協同一致を滅却し、非ユダヤ人國家の有らゆる根底を破壞し、以て非ユダヤ人の幸福を喰ひ盡す所の蛆蟲である。

是が吾人の勝利に役立つといふことを、將來諸君は見るであろう。……

一、自由といふ抽象的標語は、政府なるものは、國家の持主卽ち國民の支配人に過ぎないから、弊履の如く交代し得るものであるといふ信念を群衆に與へた。(第一議定)

自由なる言葉は、人間社會を驅つて有らゆる力、有らゆる權力、果ては神權や、自然力に對してさへ抗爭せしむるものである、それであるから、吾人の君臨したる曉には、「群衆は變じて血を好む猛獸となる」といふ動物學の原則からして、此の言葉を人間の辭書から除かねばならぬ。(第三議定)

自由が、若しも神に對する信仰の道に保持せられ、又服從を規定する天地の法則に背馳する平等の觀念を除去したる四海兄弟に維持せらるゝならば、人民の幸福を害ふことなく、國政を無事に保持することが出來る。(第四議定)

凡て自由といふ觀念は、若しも實行上の無政府主義でなければ、思想上の無政府主義である。彼等の凡ては、我儘卽ち不平の爲めに、思想的無政府主義に陷りつゝ、自由の幻影を追ふて居るのである。（第十二議定）

自由は、放縦や我儘の權利でない、同じく人間の力と價値とは、吾人が良心の自由や、平等の如き破壞主義を主張する權利ではない。

又個人の自由は、無秩序な群集中に、駄辯を弄して自他を惑亂する權利では決してない。眞の自由とは、社會生活の諸法則を忠實に、正當に守る個人の神聖に存する。又人間の尊ぶべきところは、自分卽ち「己」といふことを空想するにあるのでなく、自己の權利の自覺と共に無權利の自覺に存する。（第二十二議）

議定書中自由に關することは、まだ澤山にありますが、此の位に止めます、現代では、自由の上に更に解放の二字が加へられ、やれ學校の解放、家庭の解放、男女の解放と恰も日本人は、恰も奴隷生活でもして居るやうに、叫び合つて居りますが、之が實行の曉はどんな結果を招來

するでありましやう。

ケーレンスキーが、帝政露軍を崩解せしむるとき、「將校は汝等の友達なり、兵率は敬禮するに及ばず」の一言で十分であつたことを前に申しましたが、如何に此の自由平等の言葉の持つ魔力が大でありましやうか。

次に印刷物に關し、議定書にある一部を左に紹介しましやう。

二、現代各國家の中には、人民の思想傾向を知る偉大なる力が存在する、卽ち是れ印刷物である。印刷物の任務は、恰も人民の切なる要求があるかのやうに書き立て、又人民の叫ぶ訴を傳へ、或は不平を製造して之を發表するにある。言論の自由の勝利は、印刷物によつて肉付けられるのである。然るに各國は、此の力を利用し得なかつた爲め、言論機關は、吾が掌中に歸してしまつた、吾々自身は蔭にあつて、印刷物を經て勢力を贏ち得た、又血と涙の早瀨からとはいひながら、印刷物の御蔭で、黃金を自己の手に集めた。……

吾人が科學（理論）として、彼等非ユダヤ人に鼓吹したものをして、彼等の中に大なる役割を演じさせたいものである、此の目的で、吾々は印刷物を利用して、絕えず科學に對する盲目的信念を

鼓吹せねばならぬ。非ユダヤ人の智識階級は、智識に誇つて、科學から扱み取つた有らゆる智識をば、論理的に點検せずに、實行するであろうが、其の科學は、非ユダヤ人の智力を、吾人に必要な方向に教養する目的で、我が諜者が組み立てたものである。

諸君、吾人の斷言を根據なきものと思ふ勿れ。吾人の仕組んだダルウィニズム、マルクスニズム及びニッシェイズムの成功に注意せよ、此等の主義の非ユダヤ人心に及ぼす破壞的價値は、尠くも吾人に取つては明瞭ではないか。(第二議定)

我が廣汎なる計畫は、既に吾人の憧憬する地點に近きつゝある、此の計畫に向つて、非ユダヤ人の各政府を動かして行く爲めには、所謂大國の出版物の援助により、密に吾人の製造した輿論を以てせねばならぬ。

極めて少數の例外はあるが、凡ての出版物は、既に吾人の掌中にある。(第七議定)

次に普通選擧、議會等に對して、議定書の着眼を述べて見ましやう。

三、投票なるものを、吾人が王位に卽く爲の武器として用ひたが、之で人間社會の最も零碎な分子にシオン議定書は隱謀書か豫言書か?

到るまで、集會や組合を組織する習慣をつけ、投票は其の任務を紛らうとして居る。……吾々が絶對多數を占める爲めに、階級財産の區別なく、凡ての者に投票を行はせることが必要である、絕對多數は有產有識階級から得ることが出來るものではない。

斯くて凡ての人々に自覺の觀念を馴致し、非ユダヤ人の家庭と、其の敎育的價値を破壞し、又吾人に指導されて居る群衆は、非ユダヤ人の傑出を取り除くのである。（第十議定）

自分自身彼等仲間の駈出者に左右さるゝ國民は、權利及び名譽の爭奪と、是れによつて生ずる不秩序から惹起する黨爭に因つて、自滅するものである。

民衆は個人の利害と混同してはならない國事を、冷靜にそして競爭せずに、處理し審議することが、出來やうか、又民衆はよく外敵を防ぐことが出來やうか、夫れは行ひ難ひことである。……（第十議定）

非ユダヤ人の救濟者たる專制政治に代つて、自由主義から、立憲國が生れたが、諸君が能く承知の如く、憲法は軋轢、爭鬪、不和、無益の黨派的運動及び黨閥の學校に外ならないのである。一言

でいへば、此の學校は國家の活動力を減殺するものである、といふに盡きて居る。

議會の演壇は新聞雜誌以上に、各元首を無能力なるものとして判決し、之を無用の長物たらしめ、斯くて各國に於て、元首は王位より黜けられてしまつた。

そこで共和時代發生の可能を得ることになり、漫畫的政府の元首の代りに、大統領を持つて來た。（第十議定）

歐洲諸國の帝政國家は、概ね右の議定書の順序を辿りつゝ、其後共和國に變化した、日本は世界唯一無比の立派な大帝國として存在して居るが、併し國內の情況を此の議定書に照したならば、果して如何でありましやう、全く人事ではありますまいと思ひます。

次に勞資の問題に就て、二三を摘錄して見ましやう。

四、我が社會マッソン主義の主張する社會人道連帶の同胞主義より、吾人が常に援助を與へて居る所の我が軍隊、卽ち社會主義、無政府主義或は虛無主義に入ることを、勞働者に勸める際には、我々は恰も、此の壓迫に對する勞働者の、救濟主の如くであるであらう。

權利によつて、勞働者の勞力を利用して居る貴族は、勞働者が滿腹であり、健康であり、頑丈で

シオン議定書は隱謀書か豫言書か？

あることを望んだが、吾々は之と反對に、非ユダヤ人の敗頽をよろこぶものである、我が權力は勞働者の營養不良及び衰弱に存するのだ、なぜならば之に因つて、彼等は我々の思ひ通りになり、之に反抗する氣力も力も、自己の權力中に見出すことが出來ないからである。（第三議定）

吾々は又賃銀の値上する、然し賃銀の値上は、勞働者に少しの利益をも齎さない、なぜならば之と同時に、吾人は如何にも農業及び畜産業の衰退の原因からのやうな口實の下に、生活必需品を騰貴させるからである。

加之吾人は、勞働者を無政府主義と飮酒とに馴致し、之と同時に、他上から非ユダヤ智識階級の、有らゆる力を驅逐する手段を講じ、以て巧妙深刻に、產業の根底を顚覆しやう。

吾人は、表面如何にも勞働階級の爲めに、又經濟の大原則の爲めに盡力するかのやうな主義を取つて眞相を隱さう、此の經濟の大原則といふのは、我黨の經濟的學說が盛に宣傳して居る所のものである。（第三議定）

勞資問題に就ても、まだ澤山議定書に書かゝれて居りますが、餘り長くなりますから、此の位にとゞめましやう。露國や洪匈利の共產革命の經過を見ますと、全く此の通りでありますが、

此日本の内部は果して如何でありませうか。反省の必要はないでありませうか。

次に、人心を牽制指導する手段として、次の方法を述べて居ります。

五、倘ほ吾々は、非ユダヤ人の思考をそらす爲めに、享樂や、遊戯や、娯樂や、性慾や、民衆倶樂部などを設けて、彼等を牽制する。……

間もなく、吾人は新聞雜誌によつて、各種多様の運動及び藝術の競技を提議する、……卽ち此等の趣味は、吾々が彼等と戰はねばならぬ諸問題から人心を徹底的に牽制することになる。……（第十三議定）

現時に於ける以上の歡樂機關は、歐米に於て多くユダヤ人の仕事である、彼のオリンピック競技さへ、あれはユダヤ人に獻金の爲めに行くやうなものだといつた人があり、事實獨逸に於て、ユダヤ排斥が行はれるや否や、亞米利加の一角から、獨逸がユダヤ排斥を止めない限り、次回の大會は、伯林に持つて行かぬと叫ばれた。それなら一體米國では排日を實施して居るからオリンピック大會を、米國で行はないと、なぜ何處かで叫ばなかつたでしやう。

議定書に關する御話は、之を以て終りに致しますが、最後に今一度、議定は近頃出來たものではなく、既に數十年前に書かれてあるものであることを繰り返して置きます。

二十六、大和民族の使命とユダヤ民族

以上永らくユダヤ民族に就て御話を致しましたが、最後に、我々日本人の使命とユダヤ民族に就て、私の所見の一端を申し述べ度いと思ひます。

我が日本は、今や未曾有の非常時に際會し、老も若きも皆日本人たる自覺の下に、擧國一致して、活動して居るのでありますが、一體我々活動の目標はなんでありましやうか、縱令我が國を焦土と化するも、滿洲國に關する限り、之を擁護するの方針を保持して行けばよいのでありましやうか、そして滿洲を三千萬民衆の樂土と化し、我々と共存共榮の實を擧げて行けば、それでよいのでありましやうか。

抑々我々が滿洲に莫大の犧牲を拂ひつゝ、聯盟の脫退も、經濟封鎖も、事によれば列國を相手に、一戰も數戰も交へることさへ辭せない覺悟で進んで居るのは、果して何の爲めでありま

しやう、今や恰度滿洲事變第二週年に際會して居りますので、先づ之を想起しつゝ、帝國と滿洲に關し一應思を新にして見ましやう。

先づ日本の滿洲進出の理由としまして、今迄概ね次の樣なことが、擧げられて居ります。

第一、日露戰爭に於て、數十萬の生靈を犧牲にして得た貴き利權と、其後日本の爲したる二十億に近き大投資の、空しく消滅せんとするを復活防止し、更に在滿日鮮人百餘萬の生命財產を、張家の脅威より救出すること。

第二、今や日本は、人口過剩にして土地狹く、他に自給自足の道がないから、かねて露國から繼承した滿蒙に於ける權利を立直し、以て國力を充實するより外に他に方法なきこと。

第三、對岸滿洲に、我が國と相反する勢力の侵入樹立は、我が國の存立を危くするものでありますから、國防上滿洲から敵勢力を驅逐すること。

第四、滿洲國を放任して置くことは、極東平和の上から見ても、我が國として、許容すること能はざること。

以上の理由は、我が國民一般の既に知悉する所でありますが、併し私は、大日本帝國の國是、日本國民の使命上から觀察するときには、自給自足の問題も、國防の問題も、將又極東平和の

問題も、寧ろ第二意義的のものではないか、と思ふのであります。

抑〻帝國の國是は、申すまでもなく、「天業を恢弘するにある」のでありまして、この高遠なる國是を遂行し、皇道を世界に宣布するのが、吾々日本人に、神より與へられたる、神聖なる使命であります。

今世界を見渡した處、何處に安寧があり、何處に平和がありましやう、世界各國各〻利己本意で、唯葛藤を續けて居る。甚しきは同一國家内に於て、政府が自己國民に對する大軍隊を擁し、之に依つて少數支配階級の野望を、全ふしつゝある國さへあります。昔から人々に依つて、叫ばれて居る處の、あこがれの世界平和、人類の幸福は、英米列强の提議する、何々會議に於て、半歩でも其の理想に近づいたでありましやうか、叉之が爲め内外の平和主義運動は、幾何の效果を齎したでありましやうか、殊に共產社會主義運動に至つては、赤化範圍の文化を壞滅し、人民の幸福を逆轉して、人民をして獸類生活に一步を進めた以外何物がありましやう。今の調子で、推移しましたなら、何時になつたら、此の世界萬民が救はるゝことになりましやう？

共產黨專制の、ソウェート社會主義共和國を視られた人々は、マルキシズムなどに無頓着な、

露西亞の一般國民が、恐ろしいゲ・ペ・ウの監督下に、蜜の樣に甘い空宣傳を滿喫しつゝ、墓場から出て來たやうな、憐れな顏をして、生そのものゝ執着によつてのみ生きて居る有樣を見ては何人と雖も、一片の憐れを催さぬ人はないでありましやう。最近のウィンよりの電通を見ますと、墺國大僧正で、羅馬法王廷の樞機員の一人たる、テオドル・イニッツェル師は、最近露西亞に於ける饑民救濟に關し、次の檄を全世界の各宗派宛通電して居ります。

全世界の各宗敎宗派は、此の際一致團結して、飢餓に瀕する露西亞人救濟委員會を組織すべきである、過去數ケ月間に、ウクライナ、コーカサスを中心にして、露西亞領内で餓死した者は、二百萬に達する、而も事態は愈〻惡化し、小兒殺戮、食人行爲は日常茶飯事となりつゝあり。

と、私も先年此の陰慘な、露西亞の有樣を見た時、此の憐れな無辜の民、一億一千萬を、此の地獄から救ふのは一體何人であらう、露西亞人自身は、もう衰弱し切つて、反抗する力も、自ら救ふ力もない、然らば人道主義の亞米利加か、否亞米利加が之を救ふ位なら、米國に排日は無い筈だ。それとも紳士國の英國か、否英國が露西亞人を救ふ位なら、ガンヂーは斷食はしない、結極歐米何處の國も、之を救はない。そこで若し之を救ふものがあつたとしたならば、

我が日本以外絶對にない、卽ち露國民衆を救ふのは、我々日本人の使命の一つであると考へました。先年上海事變の際、十九路軍の暴虐に泣き、却つて敵軍たる日本軍を慕ふ純朴な支那農民を目のあたり見て、やはり私は、支那の無辜の良民を救ふのは、我々日本人の使命だと、深く考へさせられたのであります。

そこで滿洲に、我々日本人が、莫大の犧牲を拂ひながら、共存共榮の樂土建設に努力して居るのも、神より與へられた大使命から考へますれば、我々に時機到來して、愈〻島國を乘り出し、皇道を世界に宣布すべく、向ふ大陸に一歩を占め、此處に天の示す基點を設けたのである、と私は考へるのでありまして、先づ我々は、極東全般に皇道を布及し、更に進んで、全世界に之を及ぼさねばなりません、此の見地からしますと、近頃稱へらるゝ大亞細亞主義の如きも、其の一過程に過ぎないのでありまして、我々日本人の使命や重く、且つ實に高遠であります。

斯の如く考へて來ますと、ユダヤ民族も、世界の文明人の一でありながら、我々には考へも及ばない隱險な利己的手段で、自己民族の存續と繁榮とに、沒頭せねばならぬやうな、流浪寄生の生活より脫出し、公明なる生活に入ることの出來るのは、結局英國や佛國の力でなく、我

が日本の皇道に依つてのみ、爲し得ることではないでありましやうか、從つてユダヤ人が此のことを考へたならば、我が帝國に對しては、徒らに基督教國に對する如き敵本主義で向はずに、其の積りで對すべきであらうと思ひます。

從つて吾々日本人は、此の重大使命に覺醒すると同時に、先づ第一に西洋崇拜病から、脱却せねばならぬと思ふのであります、申すまでもなく日本は、明治以來西洋の物質的文明の、急激な輸入に依つて、今尙ほ歐米を先進國視し、西洋のことであれば、一から十まで優良であり、日本のことは劣等であると考へて居る、甚しきは民族其れ自體さへ、日本は劣等種で、西洋は優良種であると考へて居る人が尠くないやうに見受けられます。歐米人を見るのに、英國人にしろ、瑞典人にしろ、一人として、日本人は自分より優良だ、一段上の人間だと考へて居るものがありましやうか、支那人でさへ、自ら中華と稱へ、日本人を後進國人と考へる優越觀を持つて居る。ユダヤ民族に至つては、他國人はジゥと卑しめては居りますが、自身は、神の選民と確信し、世界最高の民族であるとの誇りを持つて居ります、日本人も此際、自ら先づ「偉大なる使命を持つ神の子孫」であるとの民族的自覺に生きることが、第一に必要である、丈の高

いことや、皮膚の白いことが、何にも民族的優劣の分界でないのであります。

ユダヤ人が、神の民ならば、我々日本人は神の子孫であります、神の家來と神の子孫、どちらが上でありましやう、日本人で自ら蒙古人の子孫であると確信し、自分の先祖は南洋の土人であると喜んで居る人がありましやうか、皆天孫民族であると考へて居るに相違ありません、即ち天孫民族であればこそ、此の天業恢弘の大使命を、天が我々に降されたのである、我が天孫民族は、即ち神の子孫であり、世界最高の民族である。されば神の民は國亡びて流浪して居りますが、開闢以來、神の子孫は榮えて、其の國礎に些の動ぎなく、皇統は連綿として今日に至り、將來永遠に亙らんとして居ります。

然るに現在の日本人中自ら、歐米人は日本人より一段上の人間だなどゝ考へて居るのは、西洋の物質文化に眩惑した一時的現象であると思ひますが、此の考が、今迄日本の有らゆる方面に於て如何に有害であつたでありましやう、併し何時迄も眩惑して居る時ではない、光りは日本より輝き始めた、滿蒙は方に光被せられつゝあるではありませんか。

然しながら、吾々が世界に臨み、皇道を哈く宣布する爲めには、之から先き、更に更に大な

る難關に遭遇し、時に經濟的大パニックを蒙り、時に國を擧げて魔軍の大掃蕩に從はねばならぬことのある可きは勿論であります。之が爲めには、現在のやうな國民の意氣ではどうして行けましやう、それとも之で十分でありましやうか、殊に意氣昂軒なるべき我が靑年が、ユダヤ人の振るタクトに、調子を合せることに專念して居るやうでは、如何のものでありましやう。

故に我々日本人は先づ第一に、此の我が神聖なる大使命、世界人類の爲めの大使命を、深刻に頭に入れて、潑剌たる意氣を以て、各々天分を盡し、大に國力を充實し、以て名實共に、尊き天命に背かないやうにすることが、急務であらうと思ひます、私は斯く申す間も、刻々と幾多難關の、此の大日本帝國に迫りつゝあるを、感得するのであります。ユダヤ民族に關連し、我が日本に就て些か所感を述べて終りと致す次第であります。

ユダヤ民族の世界支配？　をはり

昭和八年十月十五日　印刷
昭和八年十月十八日　發行

ユダヤ民族の世界支配？

定價壹圓五拾錢

著者　安江仙弘

發行者　橋本福松
東京市神田區駿河臺二丁目十番地

印刷者　白井赫太郎
東京市神田區錦町三丁目十七番地

精興社印行

發行所　東京市神田區駿河臺二丁目十番地
古今書院
振替東京三五三四〇番